PoE BOOT nino PoE8M2

(FW:4.20A・4.30A用) 詳細版

■ 取扱説明書 ■

明京電機株式会社

ご購入ありがとうございます

弊社リブーター PoE BOOT nino PoE8M2をご購入いただきありがとうございます。

PoE BOOT nino PoE8M2はネットワーク経由でシステム機器の制御/管理をする遠隔自動電源制御装置です。2個の100V AC電源を個別に遠隔制御/管理できます。また,PoEハブの8個のポートを個別に遠隔 制御/管理できます。

また、NTPサーバーに接続することにより、週間スケジューラーとしてもご利用になれます。

PoE BOOT nino PoE8M2が皆様の所有されるネットワークシステムにおいて有効かつ有用なツールとして機能することを願っております。

この取扱説明書を必ずお読みください。

本書はセットアップ手順と,操作,設置,安全の確保などのための手順が記載されています。

ご使用の前に、必ず本書をお読みください。

付属品一覧

本製品には次の付属品が同梱されています。必ずご確認ください。

1.セットアップガイド 兼 保証書 2.3P/2P変換プラグ

弊社ホームページ <u>https://www.meikyo.co.jp/archive/</u> に,運用に便利なソフト等がありますので

ダウンロードしてご利用ください。

- 1. 取扱説明書(詳細版) PDFファイル(本書)
- 2. RPCサーチソフト
- 3. ネットワーク稼動監視ソフト
- 4. プライベートMIBファイル
- 5.PoEスイッチ連携スクリプト

利用上のご注意

- ●遠隔制御機能について本製品はルーターやハブなどネットワークシステム機器が接続されることを想定して リスクアセスメントを実施しています。他の機器を接続してご利用になる場合、リスクアセスメントを行って くださるようお願いいたします。
- ●各種監視機能を使用する際,監視結果動作対象の負荷機器のコンセントは,設定したアウトレットに必ず接続 してご利用ください。

安全上のご注意

この取扱説明書での表示では、本装置を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。 その表示と意味は以下のようになっています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、正しくご使 用ください。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

▲警告	誤った取り扱いをすると,人が死亡または重傷を負う可能性が 想定される内容を示しています。
▲注意	誤った取り扱いをすると,人が傷害を負う可能性が想定される 内容,および物的損害*の発生が想定される内容を示していま す。

※物的損害とは家屋家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

の 分解・改造禁止	◎は,禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な 禁止内容は ◎の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解・改造の禁止」を示します。
電源プラグを抜く	●は,強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内 容は,●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は 「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。



●万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く! 煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないでください。火災や感電の 原因となります。このようなときは、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店や 弊社にお問い合わせください。	電源プラグを抜く
●AC100V(50または60Hz)以外の電源電圧では使用しない 表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。 特に110Vを越える電圧では製品を破壊するおそれがあり,火災の原因となりますの で,絶対に接続しないでください。	() 交流100V
●本装置の電源アースあるいはFG端子を接地する 本装置の電源プラグのアースあるいはFG端子を接地してください。 感電や故障の原因となります。	ノーフ接地
●本装置後面のACコンセントは10.5Aまで 本装置後面のACコンセントは,供給できる容量の合計は最大で10.5Aです。 合計10.5Aを越えて使用しないでください。火災や故障の原因となります。 最	し 大容量10.5Aまで
●たこ足配線をしない 本装置の電源は,家庭用電源コンセントから直接取ってください。 本装置のACコンセントに,電源用テーブルタップなどを接続して使用しないでくださ い。火災や故障の原因となります。	たこ足配線禁止
●電源コードを大切に コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。コードが 損傷し火災や感電、故障の原因となります。また、コードを加工したり無理に曲げたり 引っ張ったりすることも、火災や感電の原因となるのでおやめください。コードが傷ん だ場合はお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。	-ドを乱暴に扱わない
●極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない 本装置はパソコンおよびパソコン周辺機器と接続する用途に設計されています。 人命に直接関わる医療機器などの極めて高い信頼性または安全性が必要とされる機器には接続しないでください。	

パソコン機器専用

●ぬれた手で本装置や電源プラグにさわらない ぬれた手で本装置の操作を行なわないでください。ぬれた手で電源プラグを抜いた り、差し込んだりしないでください。感電の原因となることがあります。 ぬれた手でさわらない 本装置の上や近くに水などの液体を置かない 本装置に水などの液体が入った場合、火災、感電、故障などの原因になります。 液体を近くに置かない ●異物を入れない 製品に、金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。 万一異物が入った場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買 い上げの販売店、または弊社までご相談ください。 内部に異物を入れない ●ヘアースプレーなどの可燃物を本装置の上や近くに置いたり,使用したりしない スイッチの火花などで引火して火災の原因になることがあります。 可燃物禁止 ■雷が鳴り出したら製品や電源プラグに触れない 感電の原因となります。本装置には、落雷用保護回路がありますが、FG端子を接地し て、アースされた状態でないと十分な効果を発揮しませんのでご注意ください。 雷のときは,触れない ●分解したり改造したりしない 内部には電圧の高い部分がありますので、カバーをはずして内部の部品に触ったり、 製品を改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。 分解·改造禁止 ●製品を落したりして破損した場合は そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、前面 のコネクタをすべて抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。 電源プラグを抜く ●火災・感電・事故・傷害の発生する危険がある機器は,遠隔制御機能を利用しない 遠隔制御機能を利用する場合は、遠隔操作により火災・感電・事故・傷害の発生する危険がある機器は 本装置のアウトレットおよび本装置が制御するPoEインテリジェントハブの給電ポートに接続しないでく ださい。特に、電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは、火災の原因となりますので絶対に接続し ないでください。接続機器が突然動作した時に接続された機器の近傍にいる人が危険になるような機器 を接続しないでください。また、通信回線の故障などにより遠隔制御が行えなくなった場合でも、安全状 態が維持されるように、連続運転可能な機器のみ接続してください。接続される機器の安全性に関して は、接続される機器のUSB,PoE給電ポート、接点出力等のアウトレットにも遠隔操作によって危険がな いことを確認して下さい。本機に接続される機器は、必ず、本機の近傍にあり、本機の近傍にいる人が危

遠隔制御禁止

険を感じた場合、機器の電源プラグを容易に外せるようにしてください。



●湿気やほこりの多いところに置かない 湿気やほこりの多い場所や調理台,加湿器の近くなど,油煙や湯気があたるよう な場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

湿気・ほこり禁止

●逆さまに設置しない

本装置を逆さまに設置しないでください。また、布等でくるんだ状態での使用もおや めください。特に、ビニールやゴム製品が接触している状態での使用はおやめくださ い。火災や故障の原因となることがあります。



●電源プラグとコンセントの定期点検を 電源プラグとコンセントは長時間つないだままでいると,ほこりやちりがたまり,そのま まの状態で使用を続けますと,火災や感電の原因となることがあります。 定期的な清掃をし,接触不良などを点検してください。



- ●DIPスイッチの操作に金属製のもの,鋭利なものを使用しない DIPスイッチのレバーを操作する時には,先端が丸みのある柔らかい木製のもの を使用してください。硬い金属製のもの,鋭利なものを使用すると,レバーを破損 してしまったり,接点部の接触に支障をきたしてしまったりする恐れがあります。 DIPスイッチ操作
- ●本装置は日本国内のみで使用 国外での使用は,電源電圧などの問題により,本装置が故障することがあります。

不安定な場所やお子様の手の届く所には置かない ぐらついた台や本装置より面積が小さいものの上や傾いた所,また衝撃や振動の加 わる所など,不安定な場所やお子様の手の届く所に置かないでください。落ちたり倒 れたりしてけがや故障の原因となります。

- ●ラジオやテレビなどのすぐ近くに置かない ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害を与えることがあります。
- ●データの保存について データの通信を行なう際には,あらかじめデータのバックアップを取るなどの処置を 行なってください。回線や本装置の障害によりデータを消失するおそれがあります。
- ●花びんやコップ,植木鉢,小さな金属物などを本装置の上に置かない 内部に水や異物が入ると,火災や感電の原因となります。万一,水などが内部に 入ったときは,すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

上にものを置かない

●踏み台にしない 本装置の上に乗らないでください。 倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。





国内のみ使用



不安定な場所禁止

ラジオ・テレビの近く禁止



4.100 1		~
利用上	のご注意	2
安全上	のご注意	3
目次		8
第1章	はじめに	. 11
1. 榜	能概要	.12
2.	各部の名称と機能	.13
3.	DIPスイッチの設定	.14
4.	LED表示について	.15
第2章	設置·取付	.16
1. 彭	设置·取付	.17
2.	ラックへの取付	.17
3.	固定方法	.17
第3章	初期設定	.18
1. 初	J期設定	.19
[1]	使用条件の確認と同意	.19
2.	初期化の方法	22
第4章	Webブラウザーでの設定,制御	23
1. ⊑	ログイン	24
[1]	IPアドレスを固定にして利用する場合	24
[2]	RPCサーチソフトを利用する場合	26
2	入力可能な半角文字について	27
 [1]	入力可能な半角文字について	27
З Гт]	PoF機要管理設定	28
ן. נו]	I UD版邮目注放定	20
[1] [2]	NUD 版码成在	20
ل_ك] ۸	105 版始血沉	97 97
4. Г1]	1成品以上	31 27
[1] [0]		31 52
[2]	ホットワーク 設 た	00
[3]		07
[4]	入りンユール	70 70
[5]	ン人ナム情報	18
[6]	間易況明	79
_ [7]	CPUリセット	79
5.	状態表示	80
[1]	簡易状態表示	80
[2]	詳細情報表示	82
6.	制御	87
[1]	電源制御	87
[2]	PoE出力制御	90
第5章	その他の設定	93
1. T	'elnetによる設定	94
[1]	Telnetでの接続方法	94

[2]	Telnetコマンドによる設定	95
第6章	その他の制御	97
1. T	'elnet接続による制御	98
[1]	Telnet接続による制御	98
2.	メールからの制御	100
3.	WEBコマンドからの制御	. 101
4.	MPMPでの制御	102
[1]	リブーター側の設定	102
[2]	MPMPパケット送信	103
第7章	一斉電源制御	104
1	-斉電源制御とは	105
[1]	概要	105
2.	親機として使用する場合	106
[1]	設定	106
[2]	WEBでの制御	106
[3]	Telnetでの制御	108
3.	子機として使用する場合	109
[1]	設定	109
[2]	待受状態時の制御・設定	. 112
第8章	ロギング機能	. 113
1. Ľ	コギング機能の設定・表示	. 114
第9章	SNMPエージェント機能	. 117
1. S	NMPについて	. 118
2.	機器設定	. 118
3.	MIBについて	120
第10章	ネットワーク稼働監視	. 121
1. 核	路設定	122
2.	RPC EYE V4の利用	123
第11章	PoEハブとの接続	124
1. 根	要	125
2.	接続·設定	126
[1]	設定方法	126
3.	制御モード	126
[1]	PoEハブ 制御モードによる相違点	126
4.	受電デバイスの死活監視	128
5.	PoE機器ポート監視	129
[1]	監視方法	129
[2]	結果監視	130
6.	通知	. 131
[1]	ログ	. 131
[2]	メール通知	132
[3]	エラーコード	132
7.	PoEハブ制御用スクリプト	133
[1]	スクリプトについて	133
[2]	スクリプト構成(「一般」モード用)	137

第12章	仕様-	_覧	138
∎変数-	一覧表		139
■ログ-	一覧表。		147
- ■制御ご	コマント	、一覧表	150
■仕様-	一覧表		153
 ■ログー ■制御ご ■仕様ー 	一覧表. コマント 一覧表	~覧表	14 15 15

第1章 はじめに

1. 機能概要

本装置には以下の機能があります。

1)2個の100V AC電源を個別に制御/管理

2)通信による電源制御

・WEBからの電源制御と設定

・Telnetからの電源制御と設定

- スケジュールによる制御
 ・週間スケジュールによる電源制御
- 4)監視機能
 - ・電源状態の監視 ・ICMPによる死活監視(Ping監視) ・ハートビートによる監視
- 5)各デバイスへの遅延電源投入 ・本体電源投入時に,指定した順番,タイミングによる各デバイスの起動
- 6)メールによる制御や通知
- 7)センター通知機能

・電源状態と死活監視状態をセンターへ通知
 ・(MSRP)RPC EYE V4対応
 MSRPは、明京電機独自のプロトコルです。

- 8)SNMPエージェント機能
- 9)通信による遠隔バージョンアップ
- 10)通信中継機能(Telnet通信) ・Telnetクライアントとして通信

11)マジックパケットによる起動

12)PoEハブに接続されている受電デバイスへの給電ON・OFF・REBOOT ・WEB画面からの制御,メールによるコマンド制御,ダイレクトWEBコマンドでの制御 ・受電デバイスに対するPing監視 ・受電デバイスに対するポート監視

☆設定について詳しくは第4章3.PoE機器管理設定をご覧ください。

13)弊社サービス「電源管理クラウド365」との連携による電源状態/監視状態管理, 電源制御

2. 各部の名称と機能

フロントパネル



リアパネル



1) LAN	LANケーブル(8ピンRJ45)を接続します。
② LINK LED	CPU状態を表示します。
③ ACT LED	通信状態を表示します。
④ DIPスイッチ	運用や初期化など各種モードの切替に使用します。
⑤ RESETスイッチ	出力電源へ影響を与えずにCPUを初期化します。
6 PILOT LED	本体に電源が投入されている場合に点灯します。
⑦ OUTLET LED	ACアウトレットの電源出力状態を表示します。
⑧ 電源コード	商用電源,UPS(正弦波出力タイプ)などに接続します。
⑨ ACアウトレット	デバイスの電源コードを接続します。

3.DIPスイッチの設定

DIPスイッチの機能(OFFは「上」, ONは「下」を意味します。)

		-,
NO.	状態	モード
1	OFF	運転モード
1 1	ON	初期化
<u>ົ</u> ງ	OFF	運転モード
2	ON	未使用
0	OFF	運転モード
3	ON	メンテナンスモード、初期化
1	OFF	OFFに固定
4	ON	未使用

DIPスイッチの設定

		1	2	3	4
潘舟温虹中	OFF				
旭市建料时	ON				
如期空中	OFF				
们知道又是时	ON				
如期化時	OFF				
了 了 了 了 了 了 了 了 了 了 了 了 了 了	ON				

注意	DIPスイッチのレバーを操作する時には,金属製のものや鋭利なもの を使用せず,先端が丸みを帯びている木製のものを使用してくださ い。
	DIPスイッチを操作するときは,本体のACアウトレットから全デバイ スを取り外してください。
	DIPスイッチ操作また設定終了後は,必ず,本体前面のRESETスイ ッチを押してください。誤動作する恐れがあります。
	☆初期設定は,第3章1.初期設定 を参照して設定してください。

4. LED表示について

本体には3種類のLEDが装備されています。

1)LINK LED, ACT LED

CPUの通信状態を表示します。

LED	用途	状態	表 示
LINK	CPU状態	ケーブル抜け LAN正常リンク	0.25秒点灯, 0.25秒消灯 1秒点灯, 1秒消灯
ACT	通信状態	パケット受信時 パケット未受信時	点灯 消灯

2)PILOT LED

本体に電源投入されている場合、オレンジが点灯します。

本体に電源投入され、100BASE-TXリンク時にはグリーンが点灯します。

全アウトレットの死活監視(PING監視,メールサーバー監視)リブート回数の合計が設定値を越えたら赤 色に点灯します。(初期値は12回)

3)OUTLET LED

- ① ACアウトレットの電源出力状態を表示します。
 - ONの場合 : 点灯
 - OFFの場合 : 消灯
- ② OFF遅延中,1秒点滅
- ③ Ping監視
 - 1. [動作]が「リブート」または「ログのみ」の場合
 - (ア)監視異常中(出力ON)は、2秒点灯→0.25秒消灯→2秒点灯
 - (イ)監視スタート後,全てのPing監視対象から応答を確認するまでの間,1秒点灯→0.25秒消 灯を繰り返し,その後点灯します。(出力はON)
 - 2. [動作]が「ON」の場合

(ア)監視異常中(出力ON)は,2秒点灯→0.25秒消灯→2秒点灯

- (イ)監視スタート後,全てのPing監視対象から応答を確認するまでの間,1秒消灯→0.25秒点 灯を繰り返し,その後消灯します。(出力はOFF)
- 3. [動作]が「OFF」の場合
 - (ア)監視スタート後,全てのPing監視対象から応答を確認するまでの間,1秒点灯→0.25秒消 灯を繰り返し,その後点灯します。(出力はON)

Ping監視の「動作」、「ON」「OFF」の設定はブラウザーからは行えません。 変数[debOlWdogAction]を直接変更する必要があります。



1. 設置·取付

以下の手順で設置します。

- 1) 本体を設置場所に置きます。設置場所は、単相100VAC/10.5A以上のコンセントに直接差し込める場所で本体背面に電源プラグが差し込める位置であることを確認します。
- 2) 本体前面のLAN用コネクタにLANケーブルを接続します。
- 3) 本体の電源コードをコンセントに接続します。

注意 本装置を逆さまに設置しないでください。火災や故障の原因となること があります。

2. ラックへの取付

以下の手順でラックに取り付けます。

1)ラック・キャビネットにプレートを取り付けます。 プレートはラックサイズに合った一般市販品をご用意ください。

2) ラック・キャビネットに本装置を設置します。

3)本体前面LAN用コネクタにLANケーブルを接続します。

4)電源コードをコンセントに接続します。

3. 固定方法

本装置固定のため設置用の穴があります。

底面についている設置用の穴(4箇所)を利用して機器を固定します。 取り付け用のねじは, M 3×8 L(MAX)をご利用ください。

注意 壁面に取り付ける場合は、オプションの取付金具ATT02が便利です。 詳細につきましては、弊社ホームページをご覧ください。 <u>https://www.meikyo.co.jp/product/?ca=5</u>

第3章 初期設定

1. 初期設定

[1] 使用条件の確認と同意

本製品の使用にあたっては、初めに使用条件に同意していただくことが必要です。

外部のネットワークから接続するために固定のIPアドレスを設定します。

設定用PCと本装置とは、LAN用コネクタにLANケーブルで接続します。 PCがオートMDI/MDI-X非対応の場合は、クロスのLANケーブルを使用してください。

1)LANやVPN上に192.168.10.1および2のIPアドレスを持つホストがないことを確認します。

2)設定用PCのIPアドレスとサブネットマスクを以下の通り設定します。
 IPアドレス : 192.168.10.2
 サブネットマスク : 255.255.255.0

3)本体前面のDIPスイッチ3をONにします。 (メンテナンスモードになり,IPアドレスが192.168.10.1となります。)

> 注意 メンテナンスモードの場合,LANの通信速度は10BASE-Tでつながる設定 になっている必要があります。

4)本体前面のRESETスイッチを押します。

5)設定用PCのWebブラウザーを起動します。 http://192.168.10.1を指定し、本装置にアクセスします。

注意 ブラウザーはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。 推奨ブラウザーは弊社HP「よくある質問」の「ブラウザーにはどれを使用すれ ばいいですか?」をご覧ください。 <u>https://www.meikyo.co.jp/faq/</u>

- 6)ブラウザー依存のポップアップ画面が表示されます。ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。
 - 注意 ブラウザーによっては、ポップアップ画面がアドレス入力画面の裏に隠れている場合があります。
- 7)「ご確認のお願い」の画面が表示されます。内容を確認の上「上記の内容に同意します。」をチェックし 「次へ」をクリックします。

ご確認のお願い	
以下の文面をお読みになり, 同意される場合のみ 遠隔制御機能を有効化できます。	
PoE8M2	
●気用品安全法により,遠隔操作に伴い感電・事故・傷害の発生する危険がある機器の遠隔操作は 常じられています。 したがって、電気用品の中には、遠隔削御により感電、火災及び傷害の生じる可能性があるものが ありますので、そのような機器を、本装置のアウトレットおよび本装置が削御するPoEインテリジ エンスハブの給電ボートに接続してはなりません。 特に、電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは、火災の原因となりますので絶対に接続しな いでくたさい。 接続機器が突然動作した時に接続された機器の近傍にいる人が危険になるような機器を接続しない でくたさい。 また、通信回議の放陸などにより遠隔削御が行えなくなった場合でも、安全状態が維持されるよう に、遠続運転可能な装置のみを接続してください。	*
□ 上記の内容に同意します。	
次へ	

8)「メンテナンスモード機器設定」画面が表示されます。

メンテナンスモード 機器設定								
モデル名	PoE8M2							
バージョン	4.00A.230112							
MAC アドレス	00:09:EE:02:8C:44							
IP アドレス	192.168.10.1							
サブネットマスク	255.255.255.0							
デフォルトゲートウェイ								
DNS サーバーアドレス								
DHCP 機能	○有効 ◉無効							
HTTP 機能	● 有効 ○ 無効							
HTTP ポート	80							
Telnet 機能	○有効 ◉無効							
Telnet ポート	23							
通信速度	自動接続							
IP フィルター	○有効 ●							
子機グループ	Disabled 🗸							
親機MACアドレス	00:00:00:00:00							
	適用							

9)IPアドレス欄にご利用になるLANに適切なIPアドレスを入力します。 運用時にIPアドレスを固定にして利用する場合、「DHCP機能」を無効にチェックしたままで、IPアドレス欄にご利用になるLANに適切なIPアドレスを入力します。 DHCPを利用して動的にIPアドレスを割り当てる場合は、「DHCP機能」を有効にチェックして「適用」 をクリックします。

10)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

- 11)その他、「Telnet機能」など必要に応じて設定を行います。設定が終了しましたら、「適用」をクリックします。
- 12)本体前面のDIPスイッチ3をOFFにします。(運用モードにします。)
- 13)本体前面のRESETスイッチを押します。
- 14)Webブラウザーを閉じます。

15)設定用PCのIPアドレスを元に戻します。

注意 設定後は,必ず「適用」をクリックし,「RESETスイッチ」を押してください。 「RESETスイッチ」を押さないと設定が反映されません。

2. 初期化の方法

本装置を初期化して出荷状態に戻します。

(まだ電源コードをコンセントに接続しないでください。)

1)本体前面のDIPスイッチ1と3のみON(下)にします。

2) 電源コードをコンセントに接続し, 電源を供給します。

- 3)本体前面のLINK LEDが5秒間点灯します。 点灯中に本体前面のRESETスイッチを1秒程度,押します。
- 4)初期化が成功するとLINK LEDとACT LEDが点灯します。
- 5)RESETスイッチを押す前にLINK LEDが消灯してしまった場合は一旦電源コードを抜き,電源を供給からやり直してください。
- 6)初期化後は、DIPスイッチ3のみON(下)にし、再度電源を供給してからご使用ください。
- 7)初期化後は再度,使用条件の確認と同意が必要になりますので,「第3章1.初期設定」から 実行してください。

注意初期化中は本体の電源を切らないで下さい。

第4章 WEBブラウザーでの 設定,制御

. ログイン

[1] IPアドレスを固定にして利用する場合

インターネットでアクセスする場合は,通信機器の設定が必要です。通信機器の設定などは通信機器の マニュアルに従ってください。 (PROXY経由ではご利用になれません)

(FILOA1)経由しばこ利用になれるとん)

注意 ブラウザーはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。

推奨ブラウザーは弊社HP「よくある質問」をご覧ください。 https://www.meikyo.co.jp/faq/

1) Webブラウザーを起動し,本装置に設定されたIPアドレスを指定してアクセスします。

- 例 IPアドレス : 192.168.10.1 HTTPポート番号「80」デフォルトの場合:http://192.168.10.1 HTTPポート番号「500」に設定した場合:http://192.168.10.1:500
- 2) ブラウザー依存のユーザー名/パスワード入力用のポップアップ画面が表示されます。

注意 ブラウザーによっては,ポップアップ画面がアドレス入力画面の裏に隠れている場合があ ります。

3) ユーザーIDとパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

ユーザーID	: admin(デフォルト)
パスワード	: magic (デフォルト)

4) 簡易情報表示画面が表示されます。

PoE BOOT nino PoE8M2	÷					簡易状	態表	7	_		-	(
状態表示						機器	情報						
簡易状態表示		機器	名称		Nona	ime							
詳細状態表示		設置	場所		Now	nere							
イベントログ						PoEtt	急計會	92					
制御				Î	Da - D -						DeeD		
電源制御	1	NA	ON	2	NA	w2 细 効	3	NA	ev3 無効	4	NA	ev4 毎効	
PoE出力制御		PoeDe	eDev5 F		PoeDev6		PoeDev7		ev7	PoeD		Dev8	
PoE機器管理設定	5	NA	無効	6	NA	無効	7	NA	無効	8	NA	無効	
HUB・機器設定						ፖ러トレ	wh	七日の				-	
PoE 機器監視		1				1.01.0	914		_		10		
*** 39 50.00	No.			名称				設定		状態	by .	電源	
開始設定	1	Out	tlet1									ON	
システム設定	2	Out	tlet2									ON	
ネットワーク設定													
監視設定													
スケジュール													

注意	簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御すること は出来ません。
	「排他制御方式」選択時,電源制御可能な他のユーザーがログイン中の場合, 当該方法にて新たにログインすることはできません。ただし, Ident, Supervisor権限ではログインすることが可能です。
	☆ユーザーアカウントの設定については,第4章4.[1](5)セキュリティ をご 確認ください。
	●「ガードタイム方式」選択時,多重ログインが可能です。(ただし,同時接続 可能数は本装置の仕様で,HTTP通信では4端末,Telnet通信では2端末ま でとなります。)
	スマートフォンでご使用の場合,「横向き」が標準仕様となります。(「縦向き」で ご使用になると,横スクロールの必要が生じます。)
	リブーターの画面をWEBブラウザーで開いている際,セキュリティの観点か ら別タブにて別ページを閲覧しないようにしてください。

[2] RPCサーチソフトを利用する場合

RPCサーチソフトを利用すれば同一セグメント上の本装置を検索し接続することができます。DHCP機能を利用した本装置を検索し接続するのに役立ちます。RPCサーチソフトは弊社ホームページ https://www.meikyo.co.jp/archive/#rpcsearch よりダウンロードしてください。

設定用PCと本装置を,DHCPサーバーの存在するLANに接続します。

1) RPCサーチソフトを起動し、「検索」ボタンをクリックします。

2) 機器一覧にある本装置を選択し、「WEB接続」ボタンをクリックします。

RPC search Ver 3.01								
────────────────────────────────────								
No.	型番	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	稼働時間	機器名称		
1	POE-8M2	192.168.001.138	00:09:EE:01:17:02	0.05A 171212	00000 - 00:00:05	Noname		
2	PoE-8M2	192.168.001.059	00:09:EE:00:F9:3A	0.05A 171212	00000 - 00:08:59	Noname		
3	RPC-M5CS	192.168.001.222	00:09:EE:01:45:F6	1.00B 170317	00000 - 07:14:52	RPC-M5CS		
4	RSC-MT4H	192.168.001.217	00:09:EE:00:09:98	1.32A 170713	00008 - 03:59:33	Noname		
5	RSC-MT4H	192.168.001.044	00:09:EE:00:4A:D1	1.30A 140818	00022 - 08:01:55	-		
6	SE10-8A7B1	192.168.001.048	00:09:EE:01:20:24	1.10A 160108	00023 - 05:04:38	-		
7	RSC-MT8FP	192.168.001.142	00:09:EE:00:81:31	1.30A 141006	00028 - 13:19:02	-		
8	RPC-M4L	192.168.001.099	00:09:EE:00:31:3D	1.45A 140317	00820 - 22:38:06	-		
9	RPC-M4L	192.168.001.102	00:09:EE:00:31:73	1.45A 140317	02599 - 12:13:01	-		
10	RSC-MT8FP	192.168.001.062	00:09:EE:00:81:0D	1.30A 141006	03790 - 03:30:28	-		
11	RPC-M4L	192.168.001.068	00:09:EE:00:31:41	1.45A 140317	06308 - 02:33:20	-		
12	RPC-M5C	192.168.001.252	00:09:EE:00:97:F5	1.43B 130330	09101 - 08:24:48	-		
<						>		
	🌏 WEB接続	t 📰 TEL	NET接続	家働時間	•	🔍 検索		

- 3) ユーザー名(デフォルト: admin)とパスワード(デフォルト: magic)を入力します。
- 注意:「WEB接続」の場合はブラウザー依存のユーザー名/パスワード入力用のポップアップ画面が表示されます。
- 4) 簡易情報表示画面が表示されます。

注意 「LINK」LED/「ACT」LED/「PILOT」LEDが、いつまでも交互に点滅して いる時は、DHCPによるアドレス取得ができない状態です。DHCPサーバー を確認するか、IPアドレスを固定にしてご利用ください。

2.入力可能な半角文字について

[1] 入力可能な半角文字について

WEB画面の各種設定項目にて「半角英数記号」字以内」となっている項目については 下記の図のとおりとなります。

									下	1桁							
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Α	В	С	D	Е	F
	20	space	!	п	#	\$	%	&	T	()	*	+	,	-		/
	30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	۷	?
上	40	@	Α	В	С	D	Е	F	G	Н	I	J	к	L	М	Ν	0
」 桁	50	Р	Q	R	S	Т	U	V	w	Х	Y	z	[¥]	^	
	60		а	b	С	d	е	f	g	h	i	j	k	I	m	n	0
	70	р	q	r	S	t	u	v	v	x	У	z	{	I	}	2	
			2			2			2								

→使える文字 →使えない文字 →各種権限ログインID,パスワードには使用不可

そして、「半角__字以内」となっている項目は、上記の表の文字に加えて、半角カナも使用可能です。

ただし,

・「ネットワーク設定」-「メール設定」-「メールサーバー設定」の「パスワード」 に関しては、

			下1桁														
	S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	А	В	С	D	Е	F
	20	space	!	ш	#	\$	%	&	,	()	*	+	,	-	-	/
	30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	۷	=	٧	?
上	40	@	Α	В	С	D	E	F	G	н	Ι	J	к	L	м	N	0
析	50	Р	Q	R	S	Т	U	V	w	х	Y	Z]	¥]	>	-
	60	•	а	b	C	d	е	f	g	h	i	j	k	I	m	n	0
	70	р	q	r	s	t	u	v	w	x	У	z	{	I	}	2	

→使える文字 →使えない文字

となります。

3. PoE機器管理設定

[1] HUB·機器設定

(1) HUB·機器設定

画面左側設定項目の「HUB・機器設定」をクリックします。

「システム設定」-「詳細設定」-「PoE HUB接続」とクリックした場合と同じ画面となります。

〈1〉 PoE 制御モード

接続するPoEハブのメーカーに合わせてモードを選択後、「変更」をクリックします。

PoE HUB接続
PoE 制御モード
制御モード パナソニックLSネットワークス製品 ▼ 変更
制御モードを変更される場合は、設定変更後「変更」ボタンをクリックし、 まずCPUリセットを実行してから、他の設定項目を変更してください。

制御モード : パナソニックLSネットワークス製品

一般

APRESIA SNMP制御

画面左側,設定項目の「CPUリセット」ボタンをクリックします。

注意 「PoE HUB設定」を行う前にモードの変更を行ってください。 「制御モード」の設定によって,「電源制御/PoE出力制御」の画面表示が変わります。 ☆詳しくは,本項に続く〈2〉PoE HUB接続,〈3〉PoE HUB設定(パナソニックLSネットワー クス製品・一般),〈4〉PoE HUB設定(APRESIA SNMP制御),第11章3[1]PoEハブ 制御モードによる相違点をご覧ください。

> 「制御モード」を変更するには、[変更]クリック後、「CPUリセット」を行う必要があります。 画面下部の「適用」ボタンではモード変更されません。

〈2〉 PoE HUB接続

「パナソニックLSネットワークス製品」モード,「一般」モードでの場合,接続するPoEハブに合わせてスクリプトを編集,登録します。

PoE HUB 接続							
	スクリプト1編集						
	スクリプト2編集						
接続スクリノト	スクリプト3編集						
	スクリプト4編集						

「スクリプト1」には、パナソニックLSネットワークス株式会社製MNOシリーズPoEハブ用のスクリ プトが入っています。

「スクリプト2~4」はデフォルトでスクリプトファイルが入っていません。他社製PoEハブ用のスクリ

プトを読み込んで使用していただくことができます。

弊社ホームページ <u>https://www.meikyo.co.jp/archive/</u>から、いくつかのサンプルスクリプトを入手することが可能です。

☆スクリプト関数に関しては第11章7.PoEハブ制御用スクリプトをご覧ください。

〈3〉 PoE HUB設定(パナソニックLSネットワークス製品・一般)

「パナソニックLSネットワークス製品」モード、「一般」モードでのメニューです。

		PoE HUB設定
	名称	PoeHub1
	IPアドレス	
	TELNETポート	23
1	ログインID	manager
	パスワード	manager
	スクリプト番号	1
	名称	PoeHub2
	IPアドレス	
-	TELNETポート	23
2	ログインID	
	パスワード	
	スクリプト番号	1
	名称	PoeHub3
	IPアドレス	
2	TELNETポート	23
5	ログインID	
	パスワード	
	スクリプト番号	1
	名称	PoeHub4

【各HUB設定項目】

名称	: PoEハブの名称を設定します。(全角10文字,半角20文字以内)
IPアドレス	: PoEハブのIPアドレスを設定します
Telnetポート	: 23(デフォルト)※1
ログインID・パスワード	 PoEハブにTelnet接続しログインする際に使用するIDを設定します(各最大半角16文字)※1,※3
スクリプト番号	: PoEハブを制御するためのスクリプトを選択します。※2 (デフォルト:1)

※1 本装置はデフォルトで, PoEハブ 1番にパナソニックLSネットワークス社製MNOシリーズ(ギ ガ対応) 用のTelnetポート番号, ログインID, パスワード, スクリプト番号を設定しています。ま た, スクリプト1番にMNOシリーズ(ギガ対応)制御用のスクリプトをデフォルトで設定していま す。これらの設定は必要に応じて調整してください。

- ※2 MNOシリーズの非ギガ対応機については専用のスクリプトを使用します。(スクリプトファイル を弊社ウェブサイト <u>https://www.meikyo.co.jp/archive/</u> からダウンロードできます。)
- ※3 一般モードを使用する場合は、使用されるPoEハブの設定にしたがって、ログインID、パスワードを指定してください。また、PoEハブの制御用のスクリプトファイルを設定し、「スクリプト番号」を合わせてください。

【HUB共通設定項目】

以下はモードによって内容が異なります。

【パナソニックLSネットワーク製品モード】

状態取得間隔		5 分	
リブートOFF/ON間隔		10 秒	
設定状態確認時間		5 秒	
設定強制確認時間		15 秒	
Ping制御モード		NONE状態でも有効 ~	
状態取得間隔	:	PoEハブに接続されている受電デバイン 定します。(デフォルト:5分)	スの状態を取得する間隔を設
リブートOFF/ON間隔	:	受電デバイスに対して「REBOOT」コマ てからONになるまでの間隔を設定しま	マンドを発した時,OFFになっ す。(デフォルト:10秒)
設定状態確認時間	:	受電デバイスに対して「ON・OFF・REE その状態を確認するまでの遅延時間を言	3OOT」コマンドを発してから 没定します。(デフォルト:5秒)
設定強制確認時間	:	設定状態確認時間を過ぎても,他に実行 ていて状態確認をする間がないときに引 の時間を設定します。(デフォルト:15秒)	テコマンドがキューイングされ 歯制的に確認を実行するまで
Ping制御モード	:	受電デバイスの給電設定/給電状態が 視を行うか行わないかを設定します。(有効)	NONE」「不明」時にPing監 デフォルト:NONE状態でも

【一般モード】

リブートOFF/ON間隔		10 秒	
Ping制御モード		NONE状態でも有効 ~	
リブートOFF/ON間隔	:	受電デバイスに対して「REBOOT」コマ てからONになるまでの間隔を設定しま	マンドを発した時,OFFになっ す。(デフォルト:10秒)
Ping制御モード	:	受電デバイスの給電設定/給電状態が 視を行うか行わないかを設定します。(有効)	「NONE」「不明」時にPing監 デフォルト:NONE状態でも

〈4〉PoE HUB設定(APRESIA SNMP制御)

「APRESIA SNMP制御」モードのメニューです。

	Po	bE HUB設定 (SNMP)
	名称	PoeHub1
	IPアドレス	
1	SNMPポート	161
	コミュニティー名	private
	名称	PoeHub2
2	IPアドレス	
2	SNMPポート	161
	コミュニティー名	
	名称	PoeHub3
-	IPアドレス	
3	SNMPポート	161
	コミュニティー名	
	名称	PoeHub4
	IPアドレス	
4	SNMPポート	161
	コミュニティー名	

【各HUB設定項目】

名称 : PoEハブの名称を設定します。(全角10文字,半角20文字以内)

IPアドレス : PoEハブのIPアドレスを設定します。

SNMPポート :161(デフォルト)

コミュニティー名 :SNMP制御用コミュニティー名を設定します。 (全角16文字,半角32文字以内) 給電制御の権限があるコミュニティー名を指定してください。 (デフォルト private)

【HUB共通設定項目】

リブートOFF/ON間隔	10 秒
給電制御用OID	1.3.6.1.4.1.278.108.1.27.2.1.1.3.0
ステータス用OID	1.3.6.1.4.1.278.108.1.27.2.1.1.10.0
給電制御用OID名称	poePortAdminState
ステータス用OID名称	poePortStatus
給電ON用設定値	1
給電OFF用設定值	2
Ping制御モード	NONE状態でも有効 ~

リブートOFF/ON間隔	:	受電デバイスに対して「REBOOT」コマンドを発した時,OFFになっ てからONになるまでの間隔を設定します。(デフォルト:10秒)
給電制御用OID	:	1.3.6.1.4.1.278.108.1.27.2.1.1.3.0(デフォルト)
ステータス用OID	:	1.3.6.1.4.1.278.108.1.27.2.1.1.10.0(デフォルト)
給電制御用OID名称	:	給電制御用OID名称を設定します。(全角10文字,半角20文字以内) (デフォルト poePortAdminState)
ステータス用OID名称	:	給電ステータス参照用OID名称を設定します。(全角10文字,半角 20文字以内) (デフォルト poePortStatus)
給電ON用設定值	:	1(デフォルト)
給電OFF用設定值	:	2(デフォルト)
Ping制御モード	:	受電デバイスの給電設定/給電状態が「NONE」「不明」時にPing監 視を行うか行わないかを設定します。(デフォルト:NONE状態でも 有効)

〈5〉 PoE 機器設定

「システム設定」-「基本設定」で表示される「PoE機器設定」と同じ内容となります。

PoE機器設定								
No.	PoE機器名称	制御	HUB番号	ポート番号				
1	PoeDev1	無効✔	1 🗸	0				
2	PoeDev2	無効✔	1 🗸	0				
3	PoeDev3	無効✔	1 🗸	0				
4	PoeDev4	無効✔	1 🗸	0				
5	PoeDev5	無効✔	1 🗸	0				
6	PoeDev6	無効✔	1 🗸	0				
7	PoeDev7	無効✔	1 🗸	0				
8	PoeDev8	無効✔	1 🗸	0				

PoEハブに接続された受電デバイスに関する設定をします。

PoE機器名称	: 受電デバイス名称を設定します。(全角10文字,半角20文字以内)
制御	: 受電デバイスへの給電制御の有効/無効を設定します。
HUB番号	: 先の〈3〉または〈4〉で設定した番号を設定します。
ポート番号	: 受電デバイスが接続されている,PoEハブのポート番号を設定します。



図のように機器の接続を行う場合、設定は以下となります。

	PoE 機器設定								
No.	PoE機器名称	制御	HUB番号	ポート番号					
1	PoeDev1	有効 ~	2 ~	1					
2	PoeDev2	有効 ~	1 ~	3					
		L							

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

[2] PoE 機器監視

(1) PoE機器Ping監視

「PoE 機器監視」をクリックします。

_				
	PoE機器Ping監視	Po	E機器ボート	監視
	PoE棋	機器Ping監視設定		
	機器名称	送信	無	塔
	PoeDev1	10	10	
1	監視先アドレス	動作	回数	間隔
		無動作 🗸	1	1
	機器名称	送信	無	镕
	PoeDev2	10	10	
2	監視先アドレス	動作	回数	間隔
		無動作 🗸	1	1
	機器名称	送信	魚	孫
	PoeDev3	10	10	

受電デバイスにIPアドレスが設定されている場合,そのIPアドレスにPingを送信して監視し,異常を検知したときにはリブートを行うことができます。

本装置では8個の受電デバイスに対してPing監視を行うことができます。

機器名称	:	設定されている受電デバイスの名称が表示されます。
送信	:	Ping監視送信回数を設定します。(範囲:1~100)※
無答	:	Ping監視無応答回数を設定します。(範囲:1~100)※
監視先アドレス	:	受電デバイスに割り当てられているIPアドレスを入力します。
動作	:	Ping監視によって「異常」と判断された時に実行する動作を指定します。 [無動作][Logのみ] [Reboot] なお,「無動作」を指定した場合は,Ping送信は実施しません。
回数	:	再Reboot回数を設定します。(範囲:1~100)
間隔	:	再Reboot間隔(分)を設定します。(範囲:1~60)

※ 異常状態を定義するための設定です。Pingの「送信」回数あたりに「無答」回数のPing無応答を検出 した場合に異常と判断します。

☆Ping監視の仕組みと動作につきましては、第4章4.[3](1)Ping監視の資料をご覧ください。 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。 オプションとして、「PoE機器管理設定」の「HUB・機器設定」画面で「Ping制御モード」が設定できます。

Ping制御モード	NONE状態では無効 ✔

Ping制御モード :受電デバイスの給電設定/給電状態が「NONE」「不明」時に Ping監視を行うか行わないかを設定します。

注意	Pingの送信間隔は「機器設定」-「監視設定」-「Ping監視」にて設定を行う, 「Ping送信間隔」と同じ間隔になります。 ☆第4章4.[3](1)Ping監視をご覧ください。
	受電デバイスへの「PoE機器Ping監視」では「約1時間後の再リブート」は実行され ません。
	PoE機器ポート監視が有効設定されている場合は,PoE機器Ping監視は実行されません。

(2) PoE機器ポート監視

画面左側設定項目の「PoE 機器監視」-「PoE機器ポート監視」をクリックします。

-			5	_	
	PoE機器Ping監視	Po	oE機器ポート	監視	
	PoE桥	機器Ping監視設定			
	機器名称	送信	#	. 答	
	PoeDev1	10	10		
1	監視先アドレス	動作	回数	間隔	
		無動作 🗸	1	1	
	機器名称	送信	#	無答	
	PoeDev2	10	10		
2	監視先アドレス	動作	回数	間隔	
		──────────────────────────────	1	1	
	機器名称	送信	#	€答	
	PoeDev3	10	10		
3	監視先アドレス	動作	回数	間隔	
		無動作 🗸	1	1	
	機器名称	送信	(晤	
	PoeDev4	10	10		
	監想失アドレス	重力化生	回数	R.S.R.R.	

受電デバイスに対応するIPアドレス,ポートに対してポート監視(SYNスキャン)を実施し,ポートが稼働 しているかどうかを定期的にチェックします。通信途絶や異常を検出したときにリブートを行うこともで きます。 本装置では8個の受電デバイスに対してポート監視を行うことができます。

機器名称	:	設定されている受電デバイスの名称を表示します。
送信	:	判断を行うためのSYN送信回数を設定します。(範囲:1~100)
無効	:	「送信」回数内で『異常』と判断するNG回数数を設定します。(範囲:1~100)
監視先アドレス	:	SYN送信先IPアドレスを入力します。
ポート	:	SYN送信先ポート番号を入力します。
動作	:	ポート監視によって「異常」と判断された時に実行する動作を指定します。 [無動作][Reboot]
回数	:	「動作」が[Reboot]時の再Reboot回数を設定します。(範囲:1~100)
間隔	:	「動作」が[Reboot]時の実行間隔(分)を設定します。(範囲:1~60)

ポート監視実行間隔(分)	1
装置側ポート番号	19100
タイムアウト確認時間(秒)	15
応答判定モード	SYN+ACKのみ有効 V
ポート監視実行間隔(分): 装置側ポート番号 : タイムアウト確認時間(秒):	ポート監視実行間隔(デフォルト:1分) ポート監視(SYNスキャン)送信ポート(デフォルト:19100) 設定した「タイムアウト確認時間」経過後に「正常」「異常」の判断を行 います。 (デフォルト:15秒)
応答判定モード :	SYN-SENT状態での応答に関して「SYN+ACKのみ」を『正常』と みなすか,「SYN+ACK以外」も『正常』とみなすか設定します。 [SYN+ACKのみ有効] [SYN+ACK以外も有効]

☆詳しくは第11章 5. PoE機器ポート監視をご覧ください。

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 PoE機器ポート監視が有効設定されている場合は、PoE機器Ping監視は実行されません。
4.機器設定

[1] システム設定

(1) 基本設定

画面左側設定項目の「システム設定」をクリックします。

※特殊記号は利用不可									
機器情報									
	機器名称	Nonam	ne]		
	設置場所	Nowhe	ere						
		Po	E機器	器設定		_	_	_	
No.	PoE機器名	占称		制征	卸	HUB	番号	ポー	- 卜番号
1	PoeDev1			無効	~	1.	~	0	
2	PoeDev2			無効	~	1 •	~	0	
3	PoeDev3			無効	~	1 •	~	0	
4	PoeDev4			無効	~	1 •	~	0	
5	PoeDev5			無効	~	1.	~	0	
6	PoeDev6			無効	~	1	~	0	
7	PoeDev7			無効	~	1 •	~	0	
8	PoeDev8			無効	~	1 •	~	0	
	アウトレット設定								
No.	アウトレットネ	名称	(OFF	REE	воот	0	N	START
1	Outlet1		0		10		1		1
2	Outlet2		0		10		2		2
	全アウトレット	REBOOT	時間	(秒)			10		
	電源制御	肺の動作	確認				あ	50 ~]
OFF;	を「-1」にするとOFI	F操作を使	用不可	可にしま	ます。		,		
STA	ビー1」にすると金ア RTを「-1」にすると	シトレッ 「 本体起動時	NON 新に電	時(こ竜) 源出力	源出, しま	りしま せん。	せん。		
				L \+ #L=	n.+				
アウトレット連動設定									
No.		ア	ッウト	レット	連動				
1	- •								
2	- 🗸								
		702	ィトハ	ペル設	定				
F	VILOT, OUTLET LED	D点滅	0)有効	0	無効			

〈1〉機器設定

機器に関する設定をします。

: 機器名称を設定します。(全角10文字,半角20文字以内) 機器名称 設置場所 : 設置場所を設定します。(全角31文字,半角63文字以内)

〈2〉PoE機器設定

「PoE機器管理設定」-「PoE HUB設定」-「PoE 機器設定」と共通の内容となり、どちらのメニュー から設定を行っても設定結果は同じとなります。

☆詳細につきましては本章の3.[1]〈5〉PoE 機器設定をご参照ください。

〈3〉 アウトレット設定

アウトレット名称 : 個別アウトレットの名称を設定します。(全角10文字,半角20文字以内)

OFF : 個別アウトレットの電源出力を停止する際のOFF遅延時間を設定します。

「 -1 」設定は、電源OFF操作を禁止にし、リブート操作のみ有効とします。ルーターやハブな ど誤操作による電源OFFを避けたい場合に便利です。(電源切断により、ネットワークへアクセ スできなくなるケースを回避します。)

遅延時間は以下の操作を行う際に適用されます。

・個別アウトレット制御のOFF操作

・全アウトレット制御のOFF操作

0

デフォルト	:	0
設定可能値	:	-1 ~ 3600(秒)
-1	:	アウトレット制御のOFF操作を使用不可にします。リブート操
		作のみ可能です。

- : 即座に電源出力を停止します。
- 1~3600 : 指定した時間遅延させた後、電源出力を停止します。
- REBOOT: 個別アウトレットの電源出力を停止してから開始するまでの時間を設定します。 この設定により、接続された任意のデバイスに最適なリブート時間を確保でき ます。

再投入時間は以下の操作を行う際に適用されます。

・個別アウトレット制御のリブート操作

デフォルト : 10

設定可能值 : 8 ~ 3600(秒)

- ON 「All Outlets」に対して「ON」ボタンを押した時に、個別アウトレットの電源出力 を開始するまでの時間(秒数)を設定します。この設定により,指定した順番に, 指定したタイミングで個別アウトレットの電源出力を開始させることができます。
 - 遅延時間は以下の操作を行う際に適用されます。

・全アウトレット制御のON操作

± 1 / 1	・全アウトレット	制御のリブー	ト操作(関連は「	「全アウトレッ	FREBOO	Γ時間 で
---	----------	--------	----------	---------	---------------	--------------

デフォルト	:	No.1-1 No.2-2
設定可能値	:	-1 ~ 3600(秒)
-1	:	自動で電源出力を開始しません。
0	:	即座に電源出力を開始します。

1~3600 : 指定した時間遅延させた後、電源出力を開始します。

START: 起動時の電源出力を開始するまでの時間を設定します。 設定方法は前項目「ON」と同様です。

全アウトレットREBOOT時間(秒) : 全アウトレットの電源出力を停止してから電源出力を開始するまでの時間を設定します。この設定時間は以下の操作を行う際に適用されます。

・全アウトレット制御のリブート操作

注)個別アウトレットの「REBOOT」時間は反映されません。

- デフォルト : 10
- 設定可能值 : 8~3600(秒)



電源制御時の動作確認 : あり なし (デフォルト あり)

「電源制御」項目下の「電源制御」「仮想制御」において,各アウトレット,仮想アウトレットに制御コマンドボタンを押下した際,デフォルトでは下図のような確認のポップアップが表示され,[OK]を押下後,制御コマンドが実行されます。

192.168.	の内容
outlet1 (Powe	き のいたたいますか?
outienterome	1 ON 211 V & 9 17 :

この項目を[なし]に設定すると、各アウトレット、仮想アウトレットに制御コマンドボタンを押下時、(許可を求めるポップアップが表示されることなく)すぐに制御コマンドが実行されます。

〈4〉 アウトレット連動設定

選択したアウトレットの動作[ON, OFF, REBOOT]に連動します。

〈5〉 フロントパネル設定

「PILOT, OUTLET LED点滅」

有効:各LEDの状態表示が動作します。

無効: PILOT LED, OUTLET LEDの点滅動作はなくなり, 点灯または消灯となります。

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

(2) 時刻設定

「システム設定」→基本設定の下の「時刻設定」をクリックします。

÷	システム設定 / 基本設定 / 時刻設定						
	基本設定	詳細設定 セキュリティ					
		時刻内容					
	PC時刻	2017/12/12 16:12:08					
	機器時刻						
		時刻設定					
	PC時刻と同期	2017/12/12 16:12:24 同期					
		NTP 設定					
	NTPサーバーアドレス NTPサーバー同期間隔	道用 6 (1=10分) 道用					

〈1〉時刻内容

PC内蔵時計の時刻と本装置の時刻を表示します。 (本装置には内蔵時計がないため,主電源がOFFになると機器時刻は消去されます)

〈2〉時刻設定

「同期」をクリックすると接続されたPCの時刻と同じ時刻に設定できます。

〈3〉NTP設定

NTPサーバーアドレス : NTPサーバーアドレスを入力します。
 NTPサーバー同期間隔 : NTPサーバーと何分おきに同期するかを設定します。
 ([入力数]×10分,となります)

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 NTPサーバーの接続に失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。 (失敗した時点でエラーログが表示されます。その後、接続に成功しなければ、 24時間置きにエラーログが表示されます。)

(3) 詳細設定

「システム設定」→「詳細設定」をクリックします。

レジストリ リスト							
	レジストリ リス	Text リスト					
	機器制御						
	ファームウェア管理ファームウェア更新						
ファームウェア書き換え設定 有効 ・							
アウトレット連動送信 Wake on LAN							
No. アウトレット名称 MACアドレス							
1	Outlet1	00:00:00:00:00:00					
2	Outlet2	00					
仮想アウトレット設定 [Wake on LAN]							
		MAG 71					
No.	仮想アワトレット名称	MAC // r	ドレス 遅延(秒)				
No.	仮想アワトレット名称	00:00:00:00:00	ビレス 遅延(秒) 0:00 0				
1 2	仮想アワトレット名称	00:00:00:00:00	ジェレス 遅延(秒) 0::00 0 0::00 0				
No.	仮想アワトレット名称 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」	MAC 27 1 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:	ジェレス 遅延(秒) 0::00 0 0::00 0 0::00 0				
No. 1 2 3 4	仮想アワトレット名称 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」	MAC 27 1 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:	ジェンス 遅延(秒) 0::00 0 0::00 0 0::00 0 0::00 0				
No. 1 2 3 4 5	収想アワトレット名称 [[[[[MAC P 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00	ジェレス 遅延(秒) 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0				
No. 1 2 3 4 5 6	仮想アワトレット名称 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 」 」	MAC P 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00	ビス 遅延(秒) 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0				
No. 1 2 3 4 5 6 7		MAC P 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00 00:00:00:00:00 00	ビス 遅延(秒) 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0				
No. 1 2 3 4 5 6 7 8		MAC P 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00	ビス 遅延(秒) 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0				
No. 1 2 3 4 5 6 7 8		MAC P r 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00 Vake on LAN 00:00:00:00	ビス 遅延(秒) 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0				
No. 1 2 3 4 5 6 7 8	1仮想アワトレット名称	MAC P r 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 Vake on LAN 2	ジレス 遅延(秒) 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0 0:00 0				

〈1〉 レジストリリスト

「Textリスト」をクリックすると、WEB画面上に全変数が表示されます。

〈2〉機器制御

ファームウェア管理 : 「ファームウェア更新」をクリックし、ファームウェア更新を行います。 ファームウェア書き換え設定 (デフォルト 有効)

無効	:ファームウェア更新機能を無効にします。
ファイルのみ	:ファームウェア更新をローカルからのみ有効にします。
オンラインのみ	:ファームウェア更新を明京サーバーからのみ有効にします。
有効	:ファームウェア更新をローカル/明京サーバーの両方から有効にします。

ファームウェア更新をクリックすると、以下のメニューが開きます。

現在のファーム情報					
バージョン					
モデル名 PoE8M2					
バージョンアップ方法の選択					
オンラインアップデート 開始					
ローカルファイバ	ファイル選択				

1) 現在のファーム情報

現在のバージョンとモデル名が表示されます。

2) バージョンアップ方法の選択

オンラインアップデート :弊社サーバーに接続してアップグレードします。 ローカルファイルの選択 :コンピュータに保存したアップグレード用のファイルを選択してアップ グレードします。

★何かのアクシデントでバージョンアップに失敗した場合★

本装置は,バージョンアップに失敗しても,「データ再送」画面が表示されるか,バージョンアップ前のファームウェアで動作する仕様となっています。アップデートの途中で停電や通信途絶が発生し,バージョンアップに失敗した場合,以下の手順でデータ再送を行ってください。

この時に、本装置のRESETボタンを押さないようにしてください。

通信途絶/回復の頻度とタイミングによっては、RESETボタンを押すとお客様の手元での再書き込みが 不可能な状態になってしまうおそれがあります。(不可能状態に陥った場合、弊社カスタマーサポートに ご連絡ください。)

発生した状況に合わせて,以下の対応を行ってください。

●通信途絶したが、WEBブラウザーが待機中となっている場合



↑待機中はそのままお待ちください。

●通信途絶の時間が長く、WEBブラウザーからHTTPリクエストが途絶えた場合 例)Chromeの場合



↑「再読込」ボタンをクリック(その後、[続行]やそれに類するボタンをクリック)してください。

●停電やコンセント抜けでリブーターの電源がOFFとなった場合 一度WEBブラウザーを閉じてから,再度WEBブラウザーを開いてリブーターにアクセスしてくだ さい。ログアウト画面が表示された場合は,ログインボタンをクリックしてください。

●更新中にWEBブラウザーを閉じた場合 WEBブラウザーを開き,リブーターにアクセスしてください。

そうしますと、WEB画面に以下のいずれかの画面が表示されます。

●ログイン画面が表示され、ログイン後はメニューと簡易情報表示画面になる そのままご使用いただけますが、使用前にシステム情報を開き、バージョンを確認してください。旧 バージョンの場合は、再度バージョンアップを行ってください。

●WEB画面に以下の表示が出る



この場合は「ローカルファイル選択によるアップデート」を実施する必要があります。

バージョンアップファイルは明京電機株式会社ホームページにあります。 <u>https://www.meikyo.co.jp/archive/</u>の,「アップデート(ファームウェア &ソフトウェア)」のセク ションから該当機種のバージョンアップファイルをダウンロードしてください。

WEB画面の「ファイルを選択」をクリックし,用意したバージョンアップファイルを選択します。 その後,「Update」をクリックし,アップデートを実施します。 「Update」クリック後は,しばらくお待ちください。

↓ Webブラウザーにて「待機中」になっている間はそのままお待ちください。



1分以上経過しても表示が変わらない場合のみ、本体RESETボタンを押して再び実行してください。 (初期化は絶対にしないでください。正常稼働しなくなります。)

成功すると,



と表示されます。この後、リブーターのIPアドレスにアクセスし、「CPUリセット」を実行します。

〈3〉アウトレット連動送信 Wake on LAN

Wake on LAN機能について

```
Wake on LAN対応の機器を電源出力開始と同時にマジックパケットを送信し、
ブートアップさせることができます。
```

注意 アウトレットの電源状態がOFFからONになるときにマジックパケットが送出 されます。そのため、アウトレットがONの状態時に「電源ONコマンド」を実 行してもWoLは実行されません。「電源REBOOTコマンド」であれば、 WoLを実行できます。または、仮想アウトレット制御をご使用ください。

アウトレット1~2 MACアドレス: 00:00:00:00:00 (デフォルト)

- * パケット送信回数は仮想アウトレットと共用です。
- * パケット送信間隔は仮想アウトレットと共用です。
- * アウトレットがONした時,マジックパケットを送出します。



〈4〉仮想アウトレット設定 [Wake on LAN]

仮想アウトレットについて

仮想アウトレットとは実際には存在しないアウトレットです。MACアドレスを指定してマジックパケットを送出し、Wake on LAN 対応機器の電源をONにする機能です。仮想アウトレットを使用して対象機器の電源をOFFにすることはできません。

仮想アウトレット名称 : 仮想アウトレット名称を設定します。



注意 本装置の仕様で、本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが 発報されます。(「イベントログ」記録前なので、ログには表示されません。)

●(※)「ON遅延」について●

「電源制御-仮想アウトレット制御」で「<u>全</u>仮想アウトレット」を[電源ON]にしたときに,このON 遅延が発生します。



(5) Wake on LAN

「アウトレット連動送信Wake on LAN」「仮想アウトレット設定[Wake on LAN]」双方に関わる 設定をします。

WoL送出数: 2 (デフォルト)WoL送出間隔(秒): 15 (デフォルト)

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

(4) PoE HUB接続

「システム設定」→「詳細設定」→「PoE HUB接続」をクリックします。

「PoE機器管理設定」-「PoE HUB設定」と共通の内容となり、どちらのメニューから設定を行っても設定結果は同じとなります。

☆詳細につきましては本章の 3.[1]HUB・機器設定をご参照ください。

(5) セキュリティ

「システム設定」→「セキュリティ」をクリックします。

÷	-	ŝ	システム設定 /	セキュリティ	,	_	¢			
		基本設定	詳細調	守定		リティ				
				フィル		19-				
	共通設定									
	電源制御方式 排他制御方式 マ 変更									
	http Ident (表示のみ)									
	No.	ユーザーID)	パスワード						
	1									
	2									
	3									
	4									
		http	Control (表示	- & 電源制御	のみ)		,			
	No.	ユーザーID)	J	ペスワード					
	1									
	2									
	3									
	4									
	http Admin									
	No.	ユーザーID)	J	ペスワード					
	1	admin	•	••••						
	2									
	3									
	4									
			nttp Sup	er VISOF						
	No.	ユーザーID))	パスワード					
	1	super		•••••						
	2									
	3									
	4		MPMP	ンド制御						
	No	7_+£		- 1 100 (MP)	パフロード		,			
	1	<u> </u>	10		7,29-1					
	2									
	2									
	4									

- 〈1〉 共通設定
 - 電源制御方式 : [排他制御方式]と[ガードタイム方式]を選択します。 (デフォルト 「排他制御方式])

ンを許可しません。

- ★[排他制御方式]: 電源制御できる権限(Admin, Control権限)で同時にログインできるのを 一者のみに限定します。
 WEB画面, (有効ならば)Telnetいずれかで, 一者が電源制御を行いログ インし続けている状態の時には,(他の通信手段であっても)他者のログイ
- ★[ガードタイム方式]: 電源制御できる権限(Admin, Control権限)で同時にログインできるのを 一者に限定せず,多重ログインを許可します。(同一通信方式にて最大2接 続まで。)

「メール制御」「ダイレクトWEBコマンド」は[ガードタイム方式]設定時の み実行可能です。(MPMPによる電源制御も[ガードタイム方式]の時に しか実行できません)

ー者が電源制御を行った場合,他者もログインしてWEB画面を見たり Telnetなどで通信を行うことはできますが,別の電源制御コマンドをガー ドタイム経過せずに送信しても無効となります。ガードタイム経過後であれ ば,他者からの電源制御コマンドも実行できます。 ガードタイムには2種類あり、「電源ON/REBOOTコマンド後」と「電源

OFFコマンド後」のガードタイムを個別に設定できます。

●方式の切替時, [変更]ボタンを押下すると次の警告文が表示されます。 警告の内容に同意の上, [OK]を押し, ふさわしいガードタイムを設定してください。

192.168.10.1 の内容						
以下の文面をお読みになり、同意される場合にのみ電源制御方式を変更できま す。【PoE8M2】 排他制御方式では多重ログインは不許可、ガードタイム方式では許可となりま す。ガードタイム方式の場合、他の操作者により、ご自身の意図とは異なる思わ ぬ動作が生じるおそれがあるため、リスクを考慮し適切なガードタイムを設定してく ださい。						
【 同意しますか? 】						
	ОК	キャンセル				

[ガードタイム方式]に切り替えると、ガードタイムを設定できるようになります。

共通設定	
電源制御方式 ガードタイム方式 >	変更
ON/REBOOT後, ガードタイム(秒)	10
OFF後, ガードタイム(秒)	10

ON/REBOOT後,ガードタイム(秒) : 10 (デフォルト)

(WEB画面での入力可能値:1~9999)

●「PONn」「MPON」「PORn」「MPOR」,現状OFFになっているアウトレットへの「PSRn」コマンド 実行後に適用されます。 OFF後,ガードタイム(秒)

: 10(デフォルト)

(WEB画面での入力可能値:1~9999)

●「POFn」「MPOF」,現状ONになっているアウトレットへの「PSRn」コマンド実行後に適用されます。

●ガードタイム仕様●

- ・「ON/REBOOT後,ガードタイム」「OFF後,ガードタイム」ともに,設定値は各アウトレット共通となります。(アウトレット個別に,異なる長さのガードタイムを設定することはできません。)
- ・「ON/REBOOT後,ガードタイム」の間は、OFFコマンド、REBOOTコマンドがブロックされます。
- ・「OFF後,ガードタイム」の間は、ONコマンド、REBOOTコマンドがブロックされます。

・1つのアウトレットが

「ON/REBOOT後,ガードタイム」中に,MPOF,MPORコマンドが または「OFF後,ガードタイム」中に,MPON,MPORコマンドが

実行されても,そのコマンドは無効とされ,ガードタイムがかかっていないアウトレットの電源状態 は変化しません。

・各種監視(Ping,メールサーバー,ハートビート),スケジュールによるアウトレット操作はガードタイムの対象外となります。

・ガードタイム発動時,接続している全てのユーザーからの電源制御が制限を受けます。

■「ON/REBOOT後, ガードタイム」「OFF後, ガードタイム」と電源ON/OFFコマンド



■ガードタイム中の全アウトレットへのコマンド,リブートとガードタイム



〈2〉 各種権限

【すべて「HTTP接続	開」で	ごす。】			
http Ident	:	システム情報の参照のみ		(※ :	最大10件登録)
http Control	:	システム情報参照と電源の制御	のみ	(※ :	最大10件登録)
http Admin	: ユ-	全ての権限 -ザーID(デフォルト:admin)	パスワー	(※ : -ド(デ	最大5件登録) フォルト: magic)
http Superviso	or : ユ-	システム情報の参照とCPUリセ -ザーID(デフォルト:super)	ット機能のみ パスワー	ぃ(※量 -ド(デ	曼大 5件登録) フォルト: illusion)
ユーザーID	:	最大半角8文字(重複不	下可) (@に	は不可)

ユーサーID	•	取入干用8义子	(里假个り)	(@177
パスワード	:	最大半角16文字	(重複可)	

	Ident	Control	Admin	Supervisor
簡易状態表示	0	0	0	0
監視状態表示	0	0	0	0
イベントログ	×	×	0	0
電源制御	×	0	0	×
各種設定	×	×	0	×
CPUリセット	×	×	0	0

注意 セキュリティ対策として,admin権限のユーザーID,パスワードを変更するよう推奨します。デフォルトのまま使用するとセキュリティホールになる危険があります。

☆Telnet接続で使用するID,パスワードに関しては、 第6章1.Telnet接続による制御をご覧ください。

<3>MPMPコマンド制御

明京オリジナルプロトコル MPMP(Meikyo Products Management Protcol)を使用して, 電源制御,仮想アウトレット制御,CPUリセットを実行させることができます。 MPMPによる制御に使用するID,PASSを3セット,設定することができます。

ユーザーID: 半角英数記号5文字以内 パスワード: 半角英数記号7文字以内

注意 ☆MPMPコマンド制御につきましては,第6章4.MPMPでの制御をご確 認ください。

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

(6) フィルター

「システム設定」→「セキュリティ」→「フィルター」をクリックします。

IP フィルター設定						
IP フィルター機能	○有効 ◉無効					
アドレス1	192.168.10.0					
アドレス2						
アドレス3						
アドレス4						
アドレス5						
アドレス6						
アドレスフ						
アドレス8						
アドレス9						
アドレス10						

Ident / Control ユーザー 表示設定						
詳細状態表示	〇隠す	◎ 表示				
仮想アウトレット制御	○隠す	◉ 表示				
電源制御 ON ボタン	○隠す	◉ 表示				
電源制御 OFF ボタン	○隠す	◉ 表示				
電源制御 REBOOT ボタン	○隠す	◉ 表示				
アウトレット1 関連	○隠す	◉ 表示				
アウトレット2 関連	○隠す	◉ 表示				
全アウトレット制御ボタン	○隠す	◎表示				

〈1〉IPフィルター設定

IPフィルター機能	
アドレス	

: 有効 無効 (デフォルト 無効)
: 192.168.10.0(デフォルト)
(最大10アドレス)

■IPフィルターについて

細かに設定する場合, Telnetで変数を用いて設定する必要が出てきます。

関係する変数名

IPフィルターアドレス	:	ipFilterAddr	(WEB画面でも設定可能)
IPフィルターマスク	:	ipFilterMask	(WEB画面には項目がない)

IPフィルター機能はビット単位のマスク機能です。(IPv4のサブネットマスク) 基本的にマスクを「<u>255</u>」にすると「<u>必ずその値でなければならない</u>」となり, 「<u>0</u>」にすると「その部分は<u>あらゆる数値</u>をとれる」となります。 ですので, ipFilterMask=<u>255.255.255.0</u> ipFilterAddr=192.168.10.<u>0</u> とすると, 「192.168.10.1~192.168.10.254」から接続可能になります。

(1)指定のIPアドレスからのみアクセスできるようにする場合

例:「192.168.1.119」「10.149.15.12」「10.46.48.111」の3つのアドレスからのアク セスのみ受け付けたい。

ipFilterMask=255.255.255.255 にすることで、そのアドレスのみ可能にできます。

Telnetで、次の変数を書き込みます。

.ipFilterAddr=192.168.1.119,10.149.15.12,10.46.48.111

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

(2)ある範囲のIPアドレスからのみアクセスできるようにする場合

例1 「192.168.10.1~192.168.10.150」まで接続可能にしたい場合

まず「192.168.10.」の部分は「必ずその値であるべき」なのでマスクは「255.255.255.」で始めま す。最後の一枠に関して2進法を使って設定していきます。

「150」を2進法で表すと「10010110」となります。つまり、128+16+4+2です。【2進法の「1」に注目しています。】

このとき「128」,「128+16=144」,「128+16+4=148」,「128+16+4+2=150」の4つを区切りとして考えます。

[ipFilterMaskルール]

	x=0,1どちらでも	ipFilterMask	ipFilterAddr		ipFilterMask ipFilterAddr
	網掛け=固定	2進法	2進法		10進法 10進法
1~127	0xxxxxxx	10000000	0 0 0 0 0 0 0 0	\rightarrow	128 0
128~143	1000xxxx	1 1 1 1 0 0 0 0	1 0 0 0 0 0 0 0	\rightarrow	240 128
$144 \sim 147$	100100xx	1 1 1 1 1 1 0 0	1 0 0 1 0 0 0 0	\rightarrow	252 144
<u>148</u> ~149	1001010x	1 1 1 1 1 1 1 0	1 0 0 1 0 1 0 0	\rightarrow	254 148
150	10010110	1 1 1 1 1 1 1 1	1 0 0 1 0 1 1 0	\rightarrow	255 150

2進法にして「0」→「0,1両方可」,「1」→「固定部分」とマスクをかける。

となるので、Telnetで次の変数を書き込みます。

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

例2「192.168.10.151~192.168.10.254」まで接続可能にしたい場合

これも最後の一枠だけ考えます。

「151」を2進法で表すと「10010111」となります。この数字から255を目指すので、今度は2進法の 「0」に注目すると、あと「8+32+64」あれば255になります。(IPアドレスで255は使用しません。 ただフィルターのマスクを考えるにあたっては便宜上255をイメージします) このとき「151」、「151+8=159」、「151+8+32=191」、「151+8+32+64=255」の4つで考え ます。

【ipFilterMaskルール】

2進法にして 0 →	0,1両方可 , 1 -	→固定部分に、	マスクをかける。

	x=0,1どちらでも	ipFilterMask	ipFilterAddr		ipFilterMask	ipFilterAddr
	網掛け=固定	2進法	2進法		10進法	10進法
151	10010111	1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 0 0 1 0 1 1 1	\rightarrow	255	151
152~159	10011xxx	1 1 1 1 1 0 0 0	1 0 0 1 1 0 0 0	\rightarrow	248	152
160~191	101xxxxx	1 1 1 0 0 0 0 0	1 0 1 0 0 0 0 0	\rightarrow	224	160
192~255	11xxxxxx	1 1 0 0 0 0 0 0	1 1 0 0 0 0 0 0	\rightarrow	192	192

となるので、Telnetで、次の変数を書き込みます。

(変数なので,初めに「.(ピリオド)」が必要です。)(区切りに「,(コンマ)」を使っています)

.ipFilterAddr=192.168.10.151,192.168.10.152,192.168.10.160,192.168.10.192

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

これで「192.168.10.151~192.168.10.254」だけが接続できるようになりました。

〈2〉Ident/Controlユーザー表示設定

監視状態表示	:	隠す	表示
仮想アウトレット制御	:	隠す	表示
電源ONボタン	:	隠す	表示
電源OFFボタン	:	隠す	表示
電源リブートボタン	:	隠す	表示
アウトレット1-2関連	:	隠す	表示
全アウトレット制御ボタン	:	隠す	表示

デフォルトではすべて表示となっています。

「隠す」にチェックするとIdent/Control権限でログインした時,各表示を隠すことが出来ます。

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

[2] ネットワーク設定

(1) 基本設定

「ネットワーク設定」をクリックします。

	半角英数のみ				
ネット	ワーク基本設定				
IP アドレス	192.168.10.1				
サブネットマスク	255.255.255.0				
デフォルトゲートウェイ					
DNS サーバーアドレス					
DHCP	○ 有効 ◎ 無効				
HTTP	◉ 有効 ○ 無効				
HTTP ポート	80				
HTTP 認証方式	Digest 🗸				
Realm 名	PoE8M2				
Nonce 時間 (秒)	180				
Telnet	○ 有効 ◎ 無効				
Teinet ポート	23				
リモート Telnet IP					
リモート Telnet ポート	23				
通信速度	自動接続				
RPCサーチ	◉ 有効 ○ 無効				
自動ログアウト	◉ 有効 ○ 無効				
HT	ML 表示設定				
ログインタイムアウト (利	少) 600				
自動ページ更新設定	○ 有効 ● 無効				
自動ページ更新時間 (秒) 30				
ダイレクトWEBコマンド設定					
ダイレクトWEBコマンド様	&能[?] ○有効 ◎ 無効				
★「ガードタイム方式」かつ「電源制御時の動作確認:なし」設定時のみ電源 制御が可能です。 <u>[システム設定]-[セキュリティ</u>]及び <u>[システム設定]-[基本設</u> <u>定]-[アウトレット設定</u>]から設定してください。					

〈1〉ネットワーク基本設定

注意

IP アドレス	:	192.168.10.1
サブネットマスク	:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	:	0.0.0
DNS サーバーアドレス	:	0.0.0
DHCP	:	有効 無効(デフォルト無効)
HTTP	:	有効 有効(デフォルト有効)
HTTP ポート	:	80
HTTP 認証方式	:	None Basic Digest (デフォルトDigest)
Realm 名	:	PoE8M2 (半角20文字以内)
Nonce 時間(秒)	:	180 設定可能値 30 ~ 30000
Telnet	:	有効 無効(デフォルト無効)
Telnet ポート	:	23
リモート Telnet IP	:	0.0.0
リモート Telnet ポート	:	23
通信速度	:	100Mbps Full Duplex 100Mbps Half Duplex 10Mbps Full Duplex 10Mbps Half Duplex 自動接続 (デフォルト 自動接続)
RPCサーチ	:	有効 無効(デフォルト 有効)
自動ログアウト	:	有効 無効(デフォルト 有効)
		※特に記載の無い数値等はデフォルト値となります。

HTTP認証を「None」に設定するとブラウザーでアクセス時にログイン 画面が表示されます。

「Basic」または「Digest」に設定するとブラウザー依存のポップアップ 画面にIDとパスワードを入力する方式になります。

外部のネットワークから接続するため、IPアドレスを固定にしてルーターのポートフォワーディング機能を利用する場合は、DHCPを無効にしてください。

注意 DHCP利用中,IPアドレスの取り直しが行われると本装置は自動的にCPU リセットを行います。

〈2〉HTML表示設定

ログインタイムアウト(秒)	: 自動ログアウトまでの時	間を設定します。
	デフォルト 600	設定可能値 30 ~ 30000
★画面右上に"自動頭	更新間隔(*秒)"の表示があ	<u>ک</u>
る画面を開いてい	る場合は自動ログアウトされ	
ません。		自動更新間隔 (30秒)
自動ページ更新設定	: 簡易状態表示画面,詳細 有無を設定します。	耿伏態表示画面について、自動更新の

- 有効: 自動更新を行う
- 無効: 自動更新を行わない(デフォルト 無効)

★「無効」にしていても、電源制御画面・PoE出力制御面だけは必ず自動更新されます。

自動ページ更新時間(秒) : WEBと電源制御画面の自動更新間隔時間を設定します。 デフォルト 30

〈3〉 ダイレクトWEBコマンド

ダイレクトWEBコマンド : 有効 無効 (デフォルト 無効)

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

注意 ☆ダイレクト WEB コマンドについては, 第6章3.

WEB コマンドからの制御をご確認ください。 ダイレクトWEBコマンドで「電源制御」するには ●ガードタイム方式 ●電源制御時の動作確認:なし に設定する必要があります。

(2) 詳細設定

基本設定	詳細設定	メール設定
	ネットワークテスト	
各種送信テストページ		送信テスト

「ネットワーク設定」→「詳細設定」をクリックします。

〈1〉ネットワークテスト

「送信テスト」をクリックすると、送信テスト画面に移動します。

	Wake on LAN 送信テスト		
Outlet1		WoL送信	
Outlet2		WoL送信	
	テストメール		
テストメール送信 送信			
エラーメッセージ		クリア	
	Ping送信テスト		
対象IPアドレス		送信	

1) Wake on LAN送信テスト

設定されているMACアドレスにマジックパケットを送信できます。

2) テストメール

「通知先」に登録しているメールアドレスにテストメールを送信します。 何らかの不具合が生じた場合「エラーメッセージ」が表示されます。 「クリア」を押すとエラーメッセージがクリアされます。

3) Ping送信テスト

「対象IPアドレス」に入力したIPアドレスに対してICMPを送信し、その結果を表示します。 ①[送信]をクリックします。

②測定中は「測定中」と表示されます。

③測定結果が表示されます。

正常	Reply from xxx.xxx.	xxx.xxx time=yyyms
	XXX.XXX.XXX.X	xxx : 測定先アドレス
	ууу	: 応答時間(ミリ秒)
異常	Request timed out.	応答が異常時

異常 :Domain name not found. ドメイン名が存在しない

〈2〉基本SNMP設定

「ネットワーク設定」→「詳細設定」をクリックします。

基本 S	NMP 設定
SET GET 設定	○有効 ④無効
GET Community Name	public
SET Community Name	public
TRAP Community Name	public
Manager Trap	○有効 ●無効
Authentication Trap	○有効 ⑥無効
Trap IP アドレス1	
Trap IP アドレス2	
Trap IP アドレス3	
SET GET設定	: 有効 無効 (デフォルト 無効)
GET Community Name	: public (全角10文字 半角20文字以内)
SET Community Name	: public (全角10文字 半角20文字以内)
TRAP Community Name	: public (全角10文字角20文字以内)
Manager Trap	: 有効 無効 (デフォルト 無効)
AuthenticationTrap	: 有効 無効(デフォルト 無効)
Trap IPアドレス1~8	: 0.0.0.0
	(最大8 IPアドレス)
	※特に記載の無い数値等はデフォルト値と

注意 「SET GET設定」を変更するには、[適用]クリック後、「CPUリセット」を行う必要があり ます。

〈3〉 SNMPフィルター設定

			SN	7-設定	
		SNMP フィ	ルター機能	○ 有効 ● 無効	
		フィルター	IP アドレン	ス	フィルターマスク
	1]	255.255.255.255
	2				255.255.255.255
	3]	255.255.255.255
	4			ן ר	255 255 255 255
SNMPフィルク	マー機能	К К К	:	有効 無	効(デフォルト 無効)
フィルターIPア	ドレス		:	0.0.0.0	
フィルターマス	ク		:	255.25	5.255.255
				(最大10)	アドレス)

〈4〉状態通知機能

		状	態通知	印機箱
봔	、創通知機能	MPMP	~	
	アドレス			
1	ポート	5000		
2	アドレス			
2	ポート	5000		
	アドレス	[
为	態通知機能		:	無効 MPMP RPC EYE(デフォルト 無効)
ア	'ドレス1-3		:	
치	∜−−ト1−3		:	5000
泛	长信間隔(秒)		:	300
				※特に記載の無い数値等はデフォルト値となります。

☆状態通知機能については,第6章4.MPMPでの制御,または第10章ネットワーク稼働監視をご参照ください

●MPMP(Meikyo Products Management Protcol)とは、従来の明京電機状態通知プロトコル を拡張したものです。規模の大きい状態監視システムを構築する時に役立ちます。また、通知だけで なく、制御コマンドも実行できます。対応ソフトウェアについては弊社営業部にご相談ください。 〈5〉【「ガードタイム方式」選択時のみ表示】一斉電源制御受付(子機機能)設定

一斉電源制御受付(子機機能)設定				
子機グループ	Disabled V			
親機MACアドレス	00:00:00:00:00			
子機グループ :	Disabled[デフォルト] Group1~8			

ホスト側MACアドレス: 一斉電源制御コマンドが送られてくる親機のMACアドレスを指定します。

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有 注意 効になりません。

(3) メール設定

「ネットワーク設定」→「メール設定」をクリックします。

〈1〉 メールサーバー設定

ユーザー名,パスワード,メールアドレス,受信サーバー,受信ポート,送信サーバー,送信ポートは プロバイダからの資料に基づき設定します。

	半角英数のみ
	メールサーバー設定
ユーザー名	
パスワード	
メールアドレス	
受信サーバー	
受信ポート	110
送信サーバー	
送信ポート	25
メール確認間隔(分)	3
再接続時間(秒)	10
形式	OIMAP
SMTP Auth	○ 有効 ● 無効 ☑ CRAM-MD5 ☑ LOGIN ☑ PLAIN
IMAP Auth	☑ CRAM-MD5 ☑ LOGIN

注意 本製品はSSL/TLS通信に対応しておりません。そのため、この「メールサーバ ー設定」(リブーター側に設定するメールアドレス)にGmailなどのSSL/TLSを 用いたメールを設定することはできません。

> ただし、「通知先アドレス」には、SSL/TLSを用いたメールを設定することが できます。

:	3
:	10
した!	回数送信します。デフォルト:3回)
:	IMAP POP3(デフォルトPOP3)
:	有効 無効(デフォルト 無効)
	認証方法を選択
	CRAM-MD5
	LOGIN
	PLAIN
:	認証方法を選択
	CRAM-MD5
	LOGIN
	: : : :

〈2〉 メール制御設定

メール制御設定				
メール制御コマンド [?] 〇有効 ⑧無効			
★「ガードタイム方式」時のみ [<u>セキュリティ</u>]から設定してく ★「通知先アドレス」に登録さ す。				
メール制御ユーザー名				
メール制御パスワード				
送信メール 件名	機器名称			
送信メール 本文1行目	日時又は積算時間			
送信メール 本文2行目	設置場所 ✓			
送信メール 本文3行目	IPアドレス			
送信メール 本文4行目	MACアドレス 🗸			
送信メール 本文5行目	ユーザー任意1 🗸			
送信メール 本文6行目	イベント内容 🗸			
送信メール 本文7行目	表示無し ・			
送信メール 本文8行目	表示無し ・			
ユーザー任意1	\r\n			
ユーザー任意2				
ユーザー任意3				

メール制御コマンド : 有効 無効(デフォルト 無効)

☆「メールサーバー監視」(第4章4[3](2)メールサーバー)を行うには「有効」を選択してください。 ★メール制御は(3)の「通知先設定」に設定したメールアドレスからのみ制御できます。 ★メール制御で「電源制御」を行う場合、「ガードタイム方式」を選択する必要があります。

- メール制御ユーザー名 : 半角英数字63文字以内
- メール制御パスワード : 半角英数字63文字以内

☆使用可能な文字は「第4章」2.[1]入力可能な半角文字について参照。

[表示無し][機器名称][設置場所][IPアドレス] 送信メール 件名 : [MACアドレス][イベント内容][ユーザー任意1~3]… …(*)より選択します。 日時又は積算時間 送信メール 本文1行目 送信メール 本文2行目 送信メール 本文3行目 送信メール 本文4行目 -上記(*)9点から選択 送信メール 本文5行目 送信メール 本文6行目 送信メール 本文7行目 送信メール 本文8行目 ユーザー任意1~3 任意のメール通知文を設定 : (全角21文字,半角43文字以内)

〈3〉通知先設定

		通知先設定
No.	種類	通知先アドレス
アドレス1	T0 🗸	
アドレス2	TO 🗸	
アドレス3	TO 🗸	
アドレス4	TO 🗸	
アドレス5	TO 🗸	
アドレス6	TO 🗸	
アドレス7	TO 🗸	
アドレス8	TO 🗸	

通知するメールアドレスを設定します。最大8件設定できます。
 種類 : TO CC BCC (デフォルト TO)
 通知先アドレス : 通知するメールアドレスを設定します。

★メール制御は,ここに登録されているメールアドレスからしか実行できません。 ●「通知先アドレス」には,SSL/TLSを用いたメールを設定することができます

〈4〉送信条件フラグ

	送信	条件フ	ラグ					
No.	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8
アドレス1		-		-	-	-		
アドレス2		-		-	-	-		
アドレス3		-		-	-	-		
アドレス4		-		-	-	-		
アドレス5		-		-	-	-		
アドレス6		-		-	-	-		
アドレス7		-		-	-	-		
アドレス8		-		-	-	-		
ログ送信回数	0	-	-					
F1 Ping,Mail,ポート F2	F3 スケジュール F4							
F5 F6			F7 ノ	- ht	ニート	F8 🗆	グ	

4種類([Ping,Mail,ポート][スケジュール][ハートビート][ログ])から選択できます。 チェックしたフラグに連動してメールが送信されます。たとえば, [Ping]では死活監視が[異常]または [回復]に変化した時にメールを送信します。

ログ送信回数 : 設定した数だけログが更新されると通知先アドレスにログを送信します。 (MAX:20)(デフォルト 0の時は送信しません。)

設定が終了しましたら[適用]をクリックします。

注意 設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有 効になりません。 リブーターの仕様上、「ユーザー名」「パスワード」が空欄の場合、リブーターか らのメール送信は実行されません。そのため、メール制御は実行しないがメ ール通知は実行したい場合は、「ユーザー名」「パスワード」にダミーデータを 設定する必要があります。 リブーター側に設定したメールアドレスのメールサーバー内のメールは、 メールチェック間隔でメールサーバー内のメールをチェックした後、削除され ます。ですので、リブーターに設定するメールアドレスは専用のものを1つ ご用意ください。 〈5〉 メールサーバーエラーメッセージ

メールサーバーエラーメッセージ	
エラーメッセージ	
	クリアロ

メールに失敗したエラー情報を表示します。

クリアにチェックして[適用]をクリックすると消去できます。 <メールサーバーのチェックは「ネットワーク設定」→「詳細設定」→「ネットワークテスト」 の「送信テスト」からできます。>

(4) サーバー連携

こちらのメニューは 電源管理クラウド365連携 をご契約された方向けのメニューとなります。 「ネットワーク設定」→「サーバー連携」をクリックします。

基本設定	詳細設定	メール設定	サーバー連携		
	排他制御/ガート	ドタイム方式切替			
電源制御方式	排他制御方	式 🗸	変更		
	NTF	設定			
NTPサーバー:	NTPサーバーアドレス				
NTPサーバー[司期間隔 6	(1=10 分	(1		
	電源管理クラ	ウド365連携			
サーバー連携	携 ○有刻	助 🔍 無効			
	遊	i用			

〈1〉排他制御/ガードタイム方式切替

こちらの項目は本章の4.[1](5)(1)共通設定 と共通の内容となります。

- 電源制御方式 : [排他制御方式]と[ガードタイム方式]を選択します。 (デフォルト [排他制御方式])
- ★[排他制御方式] : 電源制御できる権限(Admin, Control権限)で同時にログインできるのを 一者のみに限定します。 WEB画面, (有効ならば)Telnetいずれかで, 一者が電源制御を行いログ インし続けている状態の時には, (他の通信手段であっても)他者のログイ ンを許可しません。
- ★[ガードタイム方式]: 電源制御できる権限(Admin, Control権限)で同時にログインできるのを 一者に限定せず,多重ログインを許可します。(同一通信方式にて最大2接 続まで。)

サーバー連携機能を有効にするには[ガードタイム方式]を選択する必 要があります。(「メール制御」「ダイレクトWEBコマンド」、MPMPによ る電源制御も[ガードタイム方式]の時のみ実行できます)

一者が電源制御を行った場合,他者もログインしてWEB画面を見たり Telnetなどで通信は行えたりしますが、別の電源制御コマンドをガードタ イム経過せずに送信しても無効となります。ガードタイム経過後であれば、 他者からの電源制御コマンドも実行できます。 ガードタイムには2種類あり、「電源ON/REBOOTコマンド後」と「電源

OFFコマンド後」のガードタイムを個別に設定できます。

●方式の切替時, [変更]ボタンを押下すると次の警告文が表示されます。 警告の内容に同意の上,[OK]を押し,ふさわしいガードタイムを設定してください。

192.168.10.1 の内容	
以下の文面をお読みになり、同意される場合にのみ電源制御方式を変更でき す。【POE8M2】 排他制御方式では多重ログインは不許可、ガードタイム方式では許可となりま す。ガードタイム方式の場合、他の操作者により、ご自身の意図とは異なる思 ぬ動作が生じるおそれがあるため、リスクを考慮し適切なガードタイムを設定して ださい。	きま ミ しわ てく
【 同意しますか? 】	
OK キャンセノ	ŀ

[ガードタイム方式]に切り替えると、ガードタイムを設定できるようになります。

共通設定	
電源制御方式 ガードタイム方式	変更
ON/REBOOT後, ガードタイム(秒)	10
OFF後, ガードタイム(秒)	10

ON/REBOOT後、ガードタイム(秒) : 10 (デフォルト)

(WEB画面での入力可能値:1~9999))

●「PONn」「MPON」「PORn」「MPOR」,現状OFFになっているアウトレットへの「PSRn」コマンド 実行後に適用されます。

OFF後,ガードタイム(秒) : 10 (デフォルト)

(WEB画面での入力可能値:1~9999))

●「POFn」「MPOF」,現状ONになっているアウトレットへの「PSRn」コマンド実行後に適用されます。

〈2〉NTP設定

こちらの項目は本章の4.[1](2)(3)NTP設定共通設定と共通の内容となります。

NTPサーバーアドレス : NTPサーバーアドレスを入力します。 NTPサーバー同期間隔 : NTPサーバーと何分おきに同期するかを設定します。 (「入力数]×10分,となります)

〈3〉 電源管理クラウド365連携

サーバー連携 : 有効 無効 (デフォルト 無効)

★実際に電源管理クラウド365を使用される時には,電源管理クラウド365の取扱説明書の手順に 沿って設定してください。

[3] 監視設定

(1)Ping監視

「監視設定」をクリックします。

			Ping	9 監視設定			
		監視先アドレス	DG	送信	無答	対	象
	1	192.168.1.232		10	10	1	~
	2						
1	3			動	作	回数	間隔
	4			Rebo	ot 🗸	1	1
_							
		監視先アドレス	DG	送信	無答	対	象
	1			10	10	1	~
2	2						
2	3			動	作	回数	間隔
	4			無動作	乍 🗸	1	1
		Ping 送信間隔(分)		1		
		死活監視リブートによる	5警告	告(回)	12	2	
	回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限 (回)						
	1 0 2 0						

〈1〉Ping監視設定

監視先アドレス	 : 監視するIPアドレスまたはドメイン名を設定します。 各アウトレットに最大4ヶ所設定できます。 例 IPアドレス : 192.168.0.1 例 ドメイン名 : www.meikyo.co.jp
DG	: チェックでデフォルトゲートウェイを監視先に指定します。 (デフォルト チェック無し)
送信	: 判断するための送信する回数を設定します。(デフォルト 10) 設定可能値 :1~100 (回)
無答	: 送信回数内で異常と判断する無応答回数を設定します。(デフォルト 10) 設定可能値 :1~100(回)
対象	: 動作を実行させるための異常な監視先アドレスの数を設定します。(デフォルト 1) プルダウンメニューで選択 1~4
動作	: 動作を選択します。(デフォルト 無動作) 無動作 : Ping監視を行いません。 Logのみ : ログに記録します。電源は制御しません。

Reboot : ログに記録し,電源出力をOFF→ONします。

回数 : 再Reboot回数を設定します。

間隔 : 再Reboot間隔(分)を設定します。

☆「再Reboot」について詳しくは次ページの【Ping監視の仕組みと動作】Ping監視の仕組 みと動作をご覧ください。

Ping送信間隔(分): ICMPエコー要求パケットの送信間隔を設定します。

設定可能值:1~60

死活監視リブートによる警告(回): 全アウトレットの死活監視リブート回数が設定値を超えると, PILOT LEDを赤色点滅させます。(デフォルト 12)

〈2〉回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)

デフォルト : 0(無制限)

★「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)」で「1回目」とカウントされるのは,Ping監 視で異常検知されて最初に行われるRebootとなります。

(「回数」(再Reboot回数)を複数回設定している場合は、この複数回のRebootで1回となります)

そのため,「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)」を「1」と設定すると,異常検知時に最初に実行したReboot(再Reboot設定時は1セット)だけを実行し,その後は繰り返されないことになります。

詳細は、次ページの【Ping監視の仕組みと動作】をご覧ください。

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

Ping監視が正常な場合は監視番号の背景色が「緑色」に変わり,異常が発生している場合は「赤色」, 回復中は「黄色」に変わります。

> 指定したアウトレットが電源OFF状態の時はPing監視を行いません。(ICMPエコ ー要求パケットも送信しません)

注意 応答のない状態が続いた場合は,約1時間ごとに設定された動作を実行します。再 度,条件が成立しても動作は1時間に1度しか実行しません。 (詳しくは次ページのPing監視の仕組みと動作をご覧ください。)

ハートビートが有効設定されている場合は、Ping監視は実行されません。

【Ping監視の仕組みと動作】

監視先アドレスに対して[Ping送信間隔]で設定した間隔でICMPエコー要求パケットを1個送出し、 応答を待ちます。

設定した[送信]回数内で設定した[無答]回数,無応答であるとその監視先を「異常」と判断します。 「異常」と判断された監視先が[対象」数に達すると,そのアウトレットを異常と判定し,設定した[動作] を実行します。

[動作]が[Reboot]の場合,「再Reboot間隔(分)」ごとに「再Reboot回数」だけリブートを繰り返します。

(例)「Ping送信間隔」を「2(分)」,

「死活監視リブートによる警告」を「5(回)」, 「送信」を「5(回)」, 「無答」を「3(回)」, 「動作」を「Reboot」, 「回数」を「3(回)」, 「間隔」を「6(分)」に設定した場合。

		監視先アドレス	DG	送信	無答	対	象
	1	192.168.1 xxx		5	3	1	\sim
2	2						
2	3			動	作	回数	間隔
	4			Rebo	ot V	3	6
	PING 送信間隔 (分) 2						
	死活監視リブートによる警告(回) 5						



通信途絶状態が続いている場合,デフォルトでは設定した「回数」分のリブートを 1時間ごとに無制限に繰り返します。制限を行う場合は 「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限」を設定してください。

- ★「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)」が「1」のとき, Reboot●~⑧だけを行い, その後は 繰り返しません。
- ★「回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)」が「2」のとき, Reboot❶~③, ④~⑥を行い, その後は繰り返しません。

(2) メールサーバー

「監視設定」→「メールサーバー」をクリックします。

	メールサーバー監視設定	
	メールサーバー	
1	接続エラー回数 0	動作 (無動作 ~
	メールサーバー	
2	接続エラー回数 0	動作 無動作 ~
_		
	メールサーバー状態表示	
	エラー回数	0
	メールサーバー確認間隔 (分)	1

〈1〉メールサーバー監視設定

接続エラー回数	:	メールサーバーを異常と判断する回数を設定します。
動作	:	動作を選択します。(デフォルト 無動作)
		無動作 : 監視を行いません。
		Logのみ : ログに記録します。電源は制御しません。
		Reboot : ログに記録し,電源出力をOFF→ONします。
~		

動作はPing監視と共通の設定になります。

〈2〉 メールサーバー状態表示

エラー回数	:	メール受信サーバー接続障害回数を表示します。
メールチェック間隔(分)	:	メールサーバーのチェック間隔が表示されます。
		(デフォルト 3分)
(「ネットワー	- ク言	設定-メール設定」の「メール確認問隔(分)」の設定が反映され

(「ネットワーク設定-メール設定」の「メール確認間隔(分)」の設定が反映されます) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 メールサーバー監視を行う場合は「メールサーバー設定」で**受信サーバーを正しく** 設定する必要があります。また「メール制御設定」でメール制御コマンドを有効に しておく必要があります。(「通知先設定」のメールアドレスは空白でも構いませ ん。) メールサーバー監視とPing監視の両方を設定すると、いずれかが異常になった時 点で動作を実行します。 ハートビート監視を有効にしたアウトレットでは、Ping監視・メールサーバー監視は 実行されません。

(3) ハートビート

「監視設定」→「ハートビート」をクリックします。

ハートビート設定					
ハートビート	○ 有効 ◎ 無効				
監視IPアドレス制限 (空欄→全て受信)					
受信ポート	9100				
送信ポート	9100				
リブート後, 無監視時間(秒)	30				
ハートビート監視間隔(秒)	8				
TimeOut判定数	3				
動作最大回数	3				
電源供給アウトレット	なし 🗸				
監視条件設定					
1					
ハートビート監視設定					
2	<u>動作</u> 〔無動作 ∨ 〕				
ハートビートパケット状態					
ハートピート無効					

〈1〉 ハートビート設定

ハートビート	:	有効 無効(デフォルト 無効)
監視IPアドレス制限 (空欄→全て受信)	:	ハートビートパケットが送られてくるIPアドレスを制限します。 ★空欄のまま→すべてパケットを受け付ける
受信ポート	:	リブーター側のパケット待ち受けポート(デフォルト 9100) (推奨値:9100~9199)
送信ポート	:	PC側(HB側)の送信ポート(デフォルト 9100) (推奨値:9100~9199)
リブート後, 無監視時間(秒)	:	TimeOut判定によって「リブート」動作実行になった時点からハ ートビートパケットを待ち受ける間隔(デフォルト 30) (設定可能値:1~999)

ハートビート監視間隔(秒)	:	ハートビートパケットを受ける間隔(デフォルト 8)
		(設定可能值:1~99)
TimeOut判定数	:	「TimeOut」と判定する「 未受信カウント(※)」 数。
		(デフォルト 3) (設定可能値 1~99(回))

(※)未受信カウント:「ハートビート監視間隔」で設定した秒数内にハートビートパケットが受信でき なかった時、「未受信カウント」が1つ上がります。ハートビートパケットを受信すると、「未受信カウン ト」は「0」に戻ります。

動作最大回数	:	動作が「リブート」の場合の実行回数限度
		(デフォルト 3 設定可能値 1~99(回))
電源供給アウトレット(※)	:	ハートビートパケットを送出してくるPCなどが接続されているア
		リトレットを指定します。(アフオルト なし)
		なし Outlet1 Outlet2

※スケジュールでのOFF等,意図的な電源OFF時のハートビート監視一時停止を行います。詳細 は以下をご覧ください。

★意図的な電源OFF時のハートビート監視一時停止★

PCなどハートビートパケット送出元の電源が接続されているアウトレットに、使用者が意図して「電源 OFF」コマンドを投げ(またはスケジュール機能で「電源OFF」し)、そのまま「電源OFF」を維持してほし い場合、「ハートビートパケットが送られてこなくても、それは正常である」と認識させる必要があります。 【もし設定しないと】意図的な「電源OFF」を行った後、そのアウトレットに接続されたPCからハートビ ートパケットが送られてこないためTimeOut判定になり、そのアウトレットがリブートされ、意図的に OFFを行ったPCの電源がONになります。

【設定方法】

ハートビート送出元のPCなどの電源がとられているアウトレットに関して、

1)「電源供給アウトレット」で、そのアウトレット番号を指定する。

2)そのアウトレットのハートビート監視「動作」を[ON] [Reboot]に設定する

この状態で,該当アウトレットが(ハートビート監視での動作以外で)「電源OFF」となった後は,監 視状態は「監視一時停止(Pause)」となり,ハートビート監視を一時停止します。(「未受信カウント」も そこで停止になります)

そして、そのアウトレットが「電源ON」になった時にハートビート監視を再開します。

注意 ハートビートを利用するには「ハートビート」を「有効」にし[適用]をクリックします。その後、「CPUリセット」を行う必要があります。
〈2〉 監視条件設定

アウトレットごとの動作を選択します。

	パケットを受信	タイムアウト発生中
無動作	無変化	無変化
On	無変化	On に 変化
On追従	On→Offへ	Off→Onへ
Off	無変化	Offに変化
Off追従	Off→Onへ	On→Offへ
Reboot	無変化	Reboot
Logのみ	無変化(ログを残す)	無変化(ログを残す)

〈3〉 ハートビートパケット状態

状態: 待機中/タイムアウト発生中/パケットを受信/動作停止中送信IPアドレス: ハートビートパケットが送られてきたIPアドレスを表示します。タイムアウト回数: 未受信カウントを表示します。

【ハートビートに必要なパケット形式】

UDPパケットのデータ"xxxxxHB"+CRLFの9文字を受け、"xxxxxACK"の8文字を返します。(xxxxx は任意)

★「ハートビート監視間隔」「TimeOut判定数」「リブート判定後,無監視時間」の設定がどのよう に連関しているかは次ページの図をご覧ください。 図中では変数名で表記されています。 変数 hbInterval → 「ハートビート監視間隔」 hbRebootTime → 「リブート後,無監視時間」

IDIVEDOOLITII		「リノー」「夜,無面1元时间」
hbTimeoutMax	\rightarrow	「TimeOut判定数」



●ハートビートパケットが受信できない状態が続くようになった時



●次ページに、ハートビートパケット受信状況との連関図を載せます。

Webブラウザーでの設定,制御 機器設定

[4] スケジュール

「スケジュール」をクリックします。

スケジュールリスト						
No.	有効	アウトレット	曜日	時	分	動作
1		全アウトレット 、	全て 	0	0	無動作 🗸
2		全アウトレット 、	全て 	0	0	無動作 🗸
3		全アウトレット 、	全て 	0	0	無動作 🗸
4		全アウトレット 、	全て 	0	0	無動作 🗸
5		全アウトレット 、	全て 	0	0	無動作 🗸
6		全アウトレット 、	全て 	0	0	無動作 🗸
7		全アウトレット 🔹	✔ 全て ✔	0	0	無動作 🗸
8		全アウトレット 、	全て 	0	0	無動作 🖌
9		全アウトレット 🔹	全て 	0	0	無動作 🗸
10		全アウトレット	全て 	0	0	無動作 🖌
11		全アウトレット 、	✔ 全て ✔	0	0	無動作 🖌
12		全アウトレット 、	✓ 全て ∨	0	0	無動作 🖌
13		全アウトレット 、	✓ 全て ∨	0	0	無動作 🗸
14		全アウトレット 、	全て 	0	0	無動作 🖌
15		全アウトレット 、	✔ 全て ✔	0	0	無動作 🖌
16		全アウトレット 、	✔ 全て ✔	0	0	無動作 🖌
17		全アウトレット 🔹	全て 	0	0	無動作 🗸
18		全アウトレット 🔹	全て ~	0	0	無動作 🖌
19		全アウトレット 🔹	全て 	0	0	無動作 🖌
20		全アウトレット 🔹	全て 	0	0	無動作 🗸
動化	※仮想アウトレットは「ON」のみスケジュール動作します。 動作にて「メール」設定時, <u>[詳細設定]-[メール設定</u>]の送信条件フラグにて [F3 スケジュール]をチェックしてください。					
		適用		リセット	`	

本装置のスケジュールに関する設定をします。最大20件登録できます。

有効	•	設定したスケジュールの有効/無効 チェックしたNo.が有効になります。
アウトレット	:	制御するアウトレットNo.を選択します。 [全アウトレット][アウトレット1~2][PoE接続機器1~8] [全仮想アウトレット][仮想アウトレット1~8]
曜日	:	実行する曜日(毎日または指定曜日)を選択します。 [全て][日][月][火][木][金][土]
時	:	実行する時間を入力します。(入力可能値:0~23)

- 分: 実行する分を入力します。(入力可能値:0~59)
- 動作 : 実行する動作を選択します。
 [無動作][Reboot][ON][OFF][メール]
 (仮想アウトレットでは[ON]のみ有効)

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

★「動作」にて[メール](定時メール)を設定した場合, [ネットワーク設定]-[メール設定]-[送信条件 フラグ]にて,送信したいメールアドレス番号の[F3 スケジュール]にチェックを入れてください。 (チェックを入れ忘れると, [イベントログ]には「定時メール」とログが残るものの, 実際のメール送信 がなされないことになります。)

スケジュール設定を使う場合はNTPサーバーの設定が必要になります。 注意 基本設定で設定してください。 NTPサーバーの接続に失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。

[5] システム情報

本装置に設定された各項目の概要情報を一覧で確認できます。

基本システム情報				
機器名称	Noname			
バージョン	4.00A.230112/PoE.230113			
モデル名称	PoE8M2			
アウトレット数	2			
アウトレット1名称	Outlet1			
アウトレット2名称	Outlet2			
PoE接続名称1	PoeDev1			
PoE接続名称2	PoeDev2			
PoE接続名称3	PoeDev3			
PoE接続名称4	PoeDev4			
PoE接続名称5	PoeDev5			
PoE接続名称6	PoeDev6			
PoE接続名称7	PoeDev7			
PoE接続名称8	PoeDev8			
仮想アウトレット1名称				
仮想アウトレット2名称				
仮想アウトレット3名称				
仮想アウトレット4名称				
仮想アウトレット5名称				
仮想アウトレット6名称				
仮想アウトレット7名称				
仮想アウトレット8名称				
MACアドレス	00:09:EE:02:89:A6			
IPアドレス	192.168.10.1			
サブネットマスク	255.255.255.0			
デフォルトゲートウェイ				
機器内部時間				
NTPサーバーアドレス				
HTTP機能	有効			
HTTPポート	80			
Telnetサーバー機能	無効			
Telnetポート	23			
LAN速度	100.0Mbps			
DIP-SW	1:OFF 2:OFF 3:OFF 4:固定			

[6] 簡易説明

本装置の簡易説明が確認できます。



E-mail又はWEBコマンド制御の説明 メールを利用して電源制御 WEBによるコマンドの送信方法

コマンドリスト一覧

[7] CPUリセット

画面左側にある,設定メニューの「CPUリセット」をクリックします。

÷	CPUリセット	Ċ
	ネットワーク設定に加えられた変更は CPUリセット後に適用されます。	
	CPU リセット	

画面中央の「CPUリセット」をクリックします。 本装置の設定変更が有効となります。



5. 状態表示

[1] 簡易状態表示

(1) 簡易状態表示

現在の受電デバイスの電源状態、本装置の電源情報を表示します。 画面左側設定項目の「状態表示」-「簡易状態表示」をクリックします。

〈1〉機器情報

機器情報						
機器名称	Noname					
設置場所	Nowhere					
	-					

機器名称 : 現在設定されている機器名称を表示します。

設置場所 : 現在設定されている設置場所名称を表示します。

〈2〉PoE対象状態

	PoE対象状態										
D -	•	PoeDe	ev1		PoeDe	ev2		PoeDe	v3		Po
•	1	NA	更新	2	NA	無効	3	NA	無効	4	1
(2)	(3 (4								

- ①「PoE HUB設定」-「PoE機器設定」で設定したPoE機器名称が表示されます。
- ②「PoE HUB設定」-「PoE機器設定」のNo.を示します。

PoE機器Ping監視の結果を色で表示します。

- 正常 : 緑
- 異常 : 赤
- 回復中 : 黄色
- 未設定 : 灰色
- ③ PoE機器ポート監視の判定結果を表示します。
 - OK : 異常な監視先が対象数未満 背景 緑
 - NG : 異常な監視先が対象数以上 背景 赤
 - NA : 未設定
- ④現在の電源状態を表示します。
 - ON : 電源ON
 - OFF : 電源OFF
 - 更新 : Reboot中
 - NONE: 信号未送信
 - 無効 : 未設定

注意 制御モードによって表示が示す状態が異なります。 ☆詳細につきましては第11章3. 制御モードをご覧ください。

〈3〉 アウトレット状態

	アウトレット状態							
No. 名称 設定 状態 電源								
1	Outlet1	Ping監視	正常	ON				
2	Outlet2	Ping監視	異常	ON				

名称 : 現在設定されているアウトレット名称を表示します。

- 設定 : 現在設定されている監視設定を表示します。
- 状態 : 「Ping監視」「メールサーバー監視」、「ハートビート監視」の判定結果を表示します。 【Ping監視、メールサーバー監視】
 - 正常 : 異常な監視先が対象数未満,かつメールサーバー正常。
 - 異常 : 異常な監視先が対象数以上,あるいはメールサーバー異常。
 - 回復中 : 動作後,異常な監視先が対象数未満だが,異常な監視先が残っている。 メールサーバーは正常。

【ハートビート監視】

- Standby : ハートビート監視開始後,パケット受信待ちの状態。
- Receive : ハートビートパケットを受信中,または、ハートビートパケットを受信できてい ないが、未受信カウントがTimeOut判定数を超えていない状態。
- TimeOut : ハートビートパケットが受信できなくなってから,未受信カウントがTimeOut 判定数を超えた状態。
- Pause : 「電源供給アウトレット」として設定されたアウトレットが(ハートビート監視以 外の要因で意図的に)電源OFFになり,ハートビート監視での動作を停止して いる状態。

注意 簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは出来 ません。

電源 : 現在の電源状態を表示します。

⁽画面右上の更新ボタンをクリックすることで最新の表示になります)

[2] 詳細情報表示

(1) 電源詳細情報

現在の本装置の電源情報,監視情報を表示します。 画面左側設定項目の「状態表示」-「詳細状態表示」をクリックします。

機器情報							
機器名称 Noname							
設置場所 Nowhere							
	アウトレ	ット状態					
No. 名称 監視状態 実行回数 電源状態							
Outlet1			0	ON			
Outlet2			0	ON			
	機器名称 設置場所 名和 Outlet1 Outlet2	機器 機器名称 Noname 設置場所 Nowhere アウトレ 名称 Outlet1 Outlet2	機器情報 機器名称 Noname 設置場所 Nowhere アウトレット状態 名称	機器情報 機器名称 Noname 設置場所 Nowhere			

	監視設定內容						
No. 送信数 無応答 対象 動作							
1	3	3	1	無動作			
2	10	10	1	無動作			

				監視状	嵣			
	\$	彖1	Ż	付象2	¢	1象3	Ż	寸象4
No.	状態	無応答	状態	無応答	状態	無応答	状態	無応答
1								
2								

		PING 応答	時間	
	対象1	対象2	対象3	対象4
No.	応答時間	応答時間	応答時間	応答時間
1				
2				

		ハートピ	ート状態表示
No.	動作	実行回数	パケット
1	無効	0	リートピート毎効
2	無効	0	

メールサーバー監視状態	
エラー回数	0

〈1〉機器情報 機器名称 設置場所	:	現在設定されている機器名称を表示します。 現在設定されている設置場所名称を表示します。
〈2〉 アウトレット状態		
監視状態	:	「Ping監視」および「メールサーバー監視」の判定結果を表示しま す。 正常:異常な監視先が対象数未満,かつメールサーバー正常。 異常:異常な監視先が対象数以上,あるいはメールサーバー異 常。 回復中:動作後,異常な監視先が対象数未満だが,異常な監視 先が残っている。メールサーバーは正常。
実行回数	:	Ping監視とメールサーバー監視の実行された動作の回数を表示 します。
電源状態	:	現在の電源状態を表示します。 (画面右上の更新ボタンをクリックすることで最新の表示になりま す)

(3) 監視設定内容

Ping監視に関する情報を表示します。

送信数	:	Ping監視のICMPエコー要求送信回数設定値を表示します。
無応答	:	Ping監視の無応答回数を表示します。
対象	:	Ping監視の対象数設定値を表示します。
動作	:	Ping監視とメールサーバー監視の動作を表示します。

〈4〉監視状態

状態	:	アウトレットごとに各監視先の応答状態を表示します。
無応答	:	ICMPエコー要求送信に対する無応答回数を表示します。

〈5〉 Ping応答時間

応答時間 : 監視先の応答時間を表示します。

〈6〉 ハートビート状態表示

動作	:	監視条	監視条件設定で指定した動作状態を表示します。						
		無効	ON	ON追従	OFF	OFF追従	Logのみ		
実行回数	:	「動作」の	の実行	数を表示し	ます。				
パケット状態	:	パケット	・状態と	未受信カウ	ント数を	を表示します。			
		待機中	タイ	ムアウト発生	と中 ノ	パケットを受信	動作停止中		

〈7〉 メールサーバー監視状態

エラー回数 : メールサーバーを異常と判断する回数を設定します。

(2) PoE詳細情報

現在の受電デバイスの電源状態,本装置の電源情報,監視情報を表示します。 画面左側設定項目の「状態表示」-「詳細状態表示」-「PoE詳細情報」をクリックします。

		_	機器	情報	_	_	_	
機器名称 Noname								
設罟場所		Nov	here					
_			PoE HUB	最終状態			_	
No.	名称				内容			
1	PoeHub1		(0) 正	常/未実	行			
2	PoeHub2		(0) 正	常/未実	行			
3	PoeHub3		(0) 正	常/未実	行			
4	PoeHub4		(0) 正	常/未実	行			
No	友好		14#8	実行	m rt:	1000	64	2077
1	PoeDev1		1/158	₹1J		0	0	
2	PoeDev2			0	0	0	0	靈効
3	PoeDev3						0	無効
4	PoeDev4						0	無効
5	PoeDev5						0	無効
6	PoeDev6						0	無効
7	PoeDev7						0	無効
8	PoeDev8						0	無効
_		_	PoE機器F	Port監視	_		_	
No.	名称		状態	¥	11日 日本 11日 11日	無効		最近
1	PoeDev1		正常		0	0		NA
2	PoeDev2							
3	PoeDev3							
4	PoeDev4							
5	POEDEV5							
7	PoeDev7							
8	PoeDev8							
-	rocbevo							

〈1〉機器情報

機器名称 : 現在設定されている機器名称を表示します。 設置場所 : 現在設定されている設置場所名称を表示します。

〈2〉 PoE HUB最終状態

名称 : 現在設定されているPoEハブ名称を表示します。

内容 : 最後のコマンド実行結果を表示します。

☆詳しくは第4章3.PoE機器管理設定をご覧ください。

〈3〉PoE機器Ping監視

- 名称 : 現在設定されている受電デバイスの名称を表示します。
- 状態 : PoE機器Ping監視」の判定結果を表示します。 [正常][異常][回復中]
- 実行 : 「PoE機器Ping監視」の実行された動作の回数を表示します。
- 無応 : 「PoE機器Ping監視」の無応答回数を表示します。
- ms : 「PoE機器Ping監視」での監視先の応答時間を表示します。
- St : 各受電デバイスの最後のコマンド実行結果を表示します。

その他の数字:エラーコード

☆詳しくは第4章3[2](1)PoE機器Ping監視をご覧ください。

- 給電 : 受電デバイスの給電状態を表示します。
 - 「システム設定/基本設定/PoE機器設定」で「制御」を「無効」にしていると[無効] と表示されます。
 - 「システム設定/基本設定/PoE機器設定」で「制御」を「有効」にすると[ON] [OFF]状態が表示されます。
 - 受電デバイスに対して給電制御コマンドを発して状態が変化し,その状態が取 得できていない時には[更新]という表示になります。
 - 「制御」が「有効」になっているポートに受電デバイスが接続されていない場合は [NONE]が表示されます。

〈4〉PoE機器ポート監視

- 名称 : 現在設定されている受電デバイスの名称を表示します。
- 状態 : 「PoE機器ポート監視」の判定結果を表示します。
 - [正常][異常][回復中]
- 実行 : 「PoE機器ポート監視」の実行された動作の回数を表示します。
- 無効 : 「PoE機器ポート監視」のNG応答回数を表示します。
- 最近 : 「PoE機器ポート監視」での最近の応答結果を表示します。

[NA](未実行) [正常] [無応答] [期待外]

※「PoE機器ポート監視」の「応答判定モード」も関連します。

☆第4章32PoE機器ポート監視や第11章5.PoE機器ポート監視をご覧ください。

(3) イベントログ

「イベントログ」をクリックします。

通電してから現在までのイベントログを表示します。

「システム設定/基本設定/時刻設定」で「時刻設定」をしていれば、日時がログに残されます。「時刻設定」 がされていない時は「通電してからの秒数」が表示されています。

ログリスト	
1 2017/12/19 15:50:52 ログ間始 2 2017/12/19 15:50:53 NTP サーパー決続 15:50:53 3 2017/12/19 15:50:55 WEB アクセス 192.168.1 4 2017/12/19 15:50:55 WEB アクセス 192.168.1 5 2017/12/19 15:50:56 WEB ログイン 70.1% 6 2017/12/19 15:55:56 WEB ログイン 70.1% 9 2017/12/19 15:55:56 PUE ス りリブト実行 90.1% 9 2017/12/19 15:55:56 PUE ス りリブト実行 90.1% 9 2017/12/19 15:55:14 UTY ログイン サブリ 20:168.1.1 10 2017/12/19 15:57:22 PUE ス りブト支行 90.1% 90 2017/12/19 15:57:22 PUE ス り ブト支行 90.1% 11 2017/12/19 16:00:57 PUE ス り ブト支行 90.1% 12 2017/12/19 16:00:57 PUE ス り リ ナ 支行 90.1% 12 2017/12/19 16:03:15 PUE エ り ブ ム シ リ ブト 支行 90.1% 12 2017/	129 129 admin 12 admin 12 admin 133 admin 13 admin 1 admin 1 admin 133 admin 133 admin 133 admin 1 admin 1 admin
表示領域	機器時刻
1 - 30 (総数 30)	2017/12/19 16:14:15
前ページ 次ページ	た頭ページ 最終ページ
Text 表示 全ログクリア	
前ページ : 前ページを表 次ページ : 次ページを表 先頭ページ : 先頭ページを 最終ページ : 最終ページを	示します。 示します。 注表示します。 注表示します。

- Text 表示 : WEB画面にイベントログを表示します。
- 全ログクリア : ログを消去します。

注意	1ページは100項目単位で表示します。
	最大10ページ,1000項目のログを表示可能です。

注意	本製品の仕様で、本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが
	発報されます。(「イベントログ」記録開始前に実行されるため,ログには記録
	されずに実行されます。)



本装置に接続されたデバイスの電源制御をします。

[1] 電源制御

(1) 電源制御

電源制御をクリックします。

機器情報								
	機器名称	Noname						
	設置場所	Nowhere	•					
		고습	KL av Kl	통송교				
アワトレット情報								
No.	名称			制御		電源状態		
No.	名称 Outlet1			制御 OFF	Reboot	電源状態 ON		
No. 1 2	名称 Outlet1 Outlet2			制御 OFF OFF	Reboot	電源状態 ON ON		

〈1〉 アウトレット情報

「制御」

名称	:	設定されているアウトレット名称を表示します。
ON	:	電源出力を開始します。
OFF	:	電源出力を停止します。
Reboot	:	電源出力をOFF→ONします。
[All Outlets]		
ON	:	全アウトレットの電源出力を開始します。
OFF	:	全アウトレットの電源出力を停止します。
Reboot	:	全アウトレットの電源出力をOFF→ONします。

「更新」をクリックすると最新の電源状態を取得します。

注意 電源制御画面は「ネットワーク設定」「基本設定」「HTML表示設定」で「自動 ページ更新設定」が「無効」であっても「自動ページ更新時間(秒)」に基づき 自動で更新されます。

(2) 仮想制御

仮想アウトレットとは実際には存在しないアウトレットです。MACアドレスを指定してマジックパケットを送出し、Wake on LAN 対応機器の電源をONにする機能です。仮想アウトレットを使用して対象機器の電源をOFFにすることはできません。

「電源制御」→「仮想制御」をクリックします。

	機器情報						
	機器名称	Noname					
	設置場所	Nowhere					
		仮想アウトレット (W	/oL)				
No.	仮想ア	ウトレット名称	WoL 送信				
1			ON				
2			ON				
3			ON				
4			ON				
5			ON				
6			ON				
7			ON				
8			ON				
	全仮想アウトレ	אע	ON				

〈1〉仮想アウトレット(WoL)

仮想アウトレット名称	:	現在設定されている仮想アウトレット名称を表示します。
WoL送信	:	指定の仮想アウトレットにマジックパケットを送出します。
全仮想アウトレット	:	全仮想アウトレットにマジックパケットを送出します。

注意 本製品の仕様で、本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが 発報されます。(「イベントログ」記録開始前に実行されるため、ログには記録 されずに実行されます。)

(3) 一斉制御

ー斉電源制御とは,複数の本装置を子機として最大8グループに分け,親機から各グループ単位で一斉 制御コマンドを送り,電源を制御することができる機能です。制御には,ブロードキャストパケットを利用 しています。(操作した電源制御の結果,負荷機器が動作したことを視認[直に,もしくは監視カメラなど 越しに]できる状態でこの機能をご使用ください。)

1グループにつき,10台まででご使用ください。

「電源制御」→「一斉制御」をクリックします。

電源制御	仮想制御 一斉制御
-¥	制御コマンド
グループ指定	Group 1 🗸
制御	PowerON V
	送信

〈1〉 一斉制御コマンド

本装置を一斉制御の親機として制御を行う場合は、こちらのメニューを使用します。

グループ指定	:	制御するグループを選択します。	
		Group 1~Group 8	
		デフォルト Group 1	

制御	:	実行する動作	を選択します。	
		PowerON	PowerOFF	Reboot
		デフォルト	PowerON	

送信 : クリックで一斉制御コマンドを送信します。 クリック後,一度カウント画面に遷移した後,結果表示されます。

【返答情報】

「--- waiting response --- [IPアドレス]--- command executed」

- →該当IPアドレスのリブーターにて,コマンドを受信した。
 - ※ 子機を複数台接続している場合は、コマンド実行された台数分の [IPアドレス]--- command executed」が表示されます。 表示されない子機がある場合は、対象リブーターの通信状況を確認してく ださい。

[--- waiting response ---]

- →コマンドを受信しなかった。3秒内で返答パケットが届かなかった。 (対象リブーターの通信状況を確認してください)
- ★本装置を,子機として一斉電源制御を受け付ける状態に設定したい場合は,メンテナンスモード(DIPス イッチ3がON)にてグループ設定をする必要があります。

「排他制御方式」選択時,一斉電源制御を受け付ける状態になると,WEB画面での操作はできなくなります。Telnet通信においてSupervisor権限でのログインは可能です。(「ガードタイム方式」であればWEB画面にもアクセスできます。)

☆一斉電源制御については,第7章一斉電源制御に詳細がございますのでご覧ください。

[2] PoE出力制御

「PoE出力制御」をクリックします。 制御モードによって表示される画面は異なります。

機器情報								
機器名称 Noname								
	設置場所	Nowhe	re					
		PoE	接続機	器情報				
Ро	E HUB 最新状態						更	新
現	在 0 個のコマンドが行	寺機中です	•				詳	細
Ро	E HUB 設定状態						参	照
		PoE	接続機	器制御	_	_	_	
No.	名称			制御			St	給電
1	apr						0	不明
2	pana		ON	OFF	Reb	oot	0	ON
3	PoeDev3						0	無効
4	PoeDev4						0	無効
5	PoeDev5						0	無効
6	PoeDev6						0	無効
7	PoeDev7						0	無効

【パナソニックLSネットワーク製品モード】 【一般モード】・【APRESIA SNMP制御】

機器情報						
機器名称	Noname					
設置場所	Nowhere					
	PoE 接続機器制御					
PoE 出力制御	Device01 ~ ON ~ 実行 NONE					
	PoE HUB 設定情報					
PoE 接続機器指定	Device 1 ~ 取得					
PoE HUB指定	Hub 1 ~ (※ページ数:2) 取得					
Dev 1, Hub 2/Port 1, S						
Port: 1 2 3 4 5 6 7 Dev.: 1	7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 2.					
show poe ports 1						
Port State Priority Class Power(m Status 1 Enabled Low 0 2100 4 ON : 802.3af-cor	Power Limit(mW) W) Voltage(decivolt) Current(mA) ====================================					

☆具体的な使用方法については,第4章3.PoE機器管理設定,10章 PoEハブとの接続をご覧くだ さい。

(1) PoE接続機器情報

【パナソニックLSネットワーク製品モード】のみ

PoE 接続機器情報	
PoE HUB 最新状態	更新
現在 0 個のコマンドが待機中です。	詳細
PoE HUB 設定状態	参照

「更新」ボタンを押すことで、PoEハブの最新状態を取得することができます。

「現在 * 個のコマンドが待機中です。」の * 部分の数値が更新されます。

★1回押すことで取得しようとします。何度も連続してボタンを押さないようにしてください。

「詳細」ボタンを押すと、「待機中コマンドリスト」の画面に切り替わり、待機中のコマンドを表示させることができます。

待機中コマンドリスト							
1	1 6 PoE GetSTS by Update						
	実行・待機中コマンド数機器時刻						
		2022/04/05 16:38:57					

「参照」ボタンを押すと,「PoE HUB設定情報」画面に切り替わります。→(3)参照

(2) PoE接続機器制御

【パナソニックLSネットワーク製品モード】

PoE 接続機器制御						
No.	名称	制御	St	給電		
1	apr		0	不明		
2	pana	ON OFF Reboot	0	ON		
3	PoeDev3		0	無効		
4	PoeDev4		0	無効		

名称 : 現在設定されている受電デバイス名称を表示します。

制御 : [ON][OFF][Reboot]コマンドが出せます。
 受電デバイスが接続されていない時はコマンドボタンが表示されません。
 St : 正常であれば「0」

異常があればそのエラーコードが表示されます。

●数字をクリックするとエラー内容が表示されます。

給電 : 受電デバイスの給電状態を表示します。☆表示に関しては,第11章3.制御モードをご覧ください。

【一般モード】・【APRESIA SNMP制御】

PoE出力制御	:	現在設定されている受電デバイス名称を表示します。
制御	:	受電デバイス,[ON][OFF][Reboot]コマンドを プルダウンメニューで切り替えて「実行」をクリックします。

(3) PoE HUB設定情報

PoE HUB 設定情報					
PoE 接続機器指定	Device 1 🗸		取得		
PoE HUB指定	Hub 1 🗸 (%/	ページ数:1_)	取得		
Dev 1, Hub 1/Port 2, Sts=0 Hub 1, port configuration	。[10 秒経過 (2022	/04/07 10:35:56)]	^		
Port: 1 2 3 4 5 6 Dev.: - 1	7 8 9 10 11 12 13 14	15 16 17 18 19 20	21 22 23 24		
<			>		
show power inline giO/2 Available:67.0(w) Used:7.	0(w) Remaining:60.0(w)	~		
Interface Admin Oper	Power Device (Watts)	Class Max			
Gi0/2 auto on	7.0 Ieee PD	2 30.0			
Interface AdminPowerMax (Watts)	AdminConsumption (Watts)				
Gi0/2 30.0 meikyo#	15.4				

「PoE 接続機器指定」,「PoE HUB指定」で、情報を取得したい機器をプルダウンメニューで選択後, 「取得」をクリックします。

取得した情報を表示させるには、画面の自動更新を待つか、画面左上の更新ボタンを押してください。

第5章 その他の設定

1. Telnetによる設定

[1] Telnetでの接続方法

1)PCの「スタート」を右クリックして「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。 「初期設定」で設定したIPアドレスを以下のように指定し、本装置にアクセスします。

192.168.10.1の場合

IPアドレス:192.168.10.1Telnetポート番号: 23

「telnet_192.168.10.1_23」 ※_はスペースを表します。

2)プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。 「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

220 PoE8M2 (Noname) server ready

3)任意のキーを入力します。IDとパスワードが要求されます。

4)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで実行 します。「OK」の応答があります。

デフォルト: Admin権限

ID: admin PW: magic Supervisor権限 ID: super PW: illusion

注意 ブラウザー接続時のIDとパスワードはTelnet接続時のIDとパスワードとは 別になります。 デフォルトのままですとセキュリティホールになる危険があります。 ★コマンド(ID, PASS)により変更して利用することをおすすめします。

> 「排他制御方式」選択時は,電源制御可能な他のユーザーがログイン中の場合,当該方法で新たにログインすることはできません。ただし,Supervisor 権限ではログインすることが可能です。

> 「ガードタイム方式」選択時は、Telnet通信でも多重ログインが可能になります。(Telnetサーバーとしては最大接続数2)

[2] Telnetコマンドによる設定

「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「初期設定」で設定したIPアドレスを指定し、Telnetで本装置にログインします。
 【「telnet [IPアドレス]」と入力してください。】

2)コマンドや変数などを入力し<Enter>キーで実行します。 (IPアドレスなど一部の設定はCPUリセット後に反映されます。)

コマンド	内容
LIST	全ての変数の値を表示します。
WRITE	変数の設定をFROMに書き込みます。
&SAVE	設定された変数の待避・復元ができるデータを出力します。
LOAD_BEGIN	設定データの読み込みを始めます。
LOAD_END	設定データの読み込みを終了します。
?変数名	変数の値を表示します。
.変数名=値	変数を設定し,設定された変数を表示します。
CPURESET	CPUをリセットします。(電源状態は変化しません。)
☆変数については「	■変数一覧表」を参照ください。

■ Telnet通信の設定関係コマンド

■「&SAVE」コマンドについて

環境(変数全体)を一括して待避・復元するためのコマンドです。

「&SAVE」を実行すると、「LOAD_BEGIN」から始まり、変数設定コマンド、「LOAD_END」まで をテキストデータとして出力します。このテキストデータをテキストドキュメントなどに設定データと して保存しTelnetで送信すると、保存された設定が復元されます。

Telnet用のパスワードなど、いくつかの変数は保存されません(※下記参照)のでご注意ください。

設定データをテキストエディタで変更して利用することもできます。

なお、「&SAVE」には、エコーバックがありません。

変数設定コマンドでは、エラーがあっても無くても表示しません。

長いコマンドは分割されます。(最後にハイフンがあると,次に継続することを意味します。)

ファイルからのコマンドを実行するときは、「promptMode」を0または1としてください。

※保存されないもの

・Telnet用のパスワード

・(Read Only)の変数

■ プロンプトやコマンドについて

Telnetからアクセスしたときは、コマンド入力のプロンプトが表示されます。プロンプト表示の有無または表示形式は、コマンドで指定します。

「?」だけのコマンドにより、ヘルプとしてコマンドの一覧を表示します。

どのコマンドでも最初に「&」をつけることによりエコーバックが無くなります。設定の取得,書き込みのときは、「promptMode」を0または1とします。

変数名 : promptMode

値 : 0(プロンプト表示無し)

1(「 > 」のプロンプト表示)

2(「 機器名 > 」のプロンプト表示)

第6章 その他の制御

1. Telnet接続による制御

本装置はTelnetサーバープログラムへ接続して、遠隔から電源制御および状態取得ができます。セキュリティ制御の設定がされている場合はその制限内での操作となります。

[1] Telnet接続による制御

1)PCの「スタート」を右クリックして「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。 「初期設定」で設定したIPアドレスを以下のように指定し、Telnetで本装置にログインします。

192.168.10.1の場合

IPアドレス: 192.168.10.1Telnetポート番号: 23

「telnet_192.168.10.1_23」 ※_はスペースを表します。

2)プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。

「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

220 PoE8M2 (Noname) server ready

3)任意のキーを入力します。IDとパスワードが要求されます。

4)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで実行 します。「OK」の応答があります。

デフォルト: Admin権限

ID: admin PW: magic Supervisor権限 ID: super PW: illusion

5)制御コマンドを入力して、< Enter >キーで実行します。

注意	「排他制御方式」選択時は,電源制御可能な他のユーザーが(WEBブラウザーな どで)ログイン中の場合,当該方法にて新たにログインすることはできません。 ただし,(Telnet接続での)supervisor権限ではログインすることが可能です。 「ガードタイム方式」選択時,Telnet通信でも多重ログインが可能になります。 (Telnetサーバーとしては最大接続数2)
	ブラウザー接続時のIDとパスワードはTelnet接続時のIDとパスワードとは別に なります。デフォルトのままですとセキュリティホールになる危険があります。 ★コマンド(ID, PASS)により変更して利用することをおすすめします。

┃ 応答コマン	ř
---------	---

正常受付	:	Command OK
不正なコマンド	:	Unrecognized command
前コマンドの処理中のため コマンド実行せず	:	Last command is pending. Command failed.
今の権限では実行不可	:	Not have authority.
実行が許可されていない	:	Permission denied.

親機として一斉制御コマンド(BPONx, BPOFx, BPORx)をTelnetで実行の後は、上記の応答に加えて、子機の応答結果が表示されます。

コマンド受信成功 : --- waiting response ---[IPアドレス]--- command executed

> 子機を複数台接続している場合は、コマンド実行された台数分の [IPアドレス]--- command executed」が表示されます。 表示されない子機がある場合は、対象リブーターの通信状況を確認してください。

コマンド受信成功したが,電源制御は実行せず

--- waiting response ---

[IPアドレス]*** command failed

ガードタイム中や遅延時間中にコマンドを実行した場合に表示されます。 ガードタイムや遅延時間によって電源制御コマンドが受け付けられなかったことを表します。

コマンド受信失敗 : --- waiting response ---

未設定のグループへコマンド実行した場合や,通信状態が悪い場合に表示されます。

コマンドが誤っている : --- waiting response ---[IPアドレス]*** invalid command

☆詳細につきましては,第7章2.[3]Telnetでの制御をご覧ください。

2.メールからの制御

メールを利用して電源制御ができます。

メールからのコマンドを利用するには、通信設定ならびにメール設定を正しく行う必要があります。

注意 ●「通信設定-メール設定-通知先設定」の<mark>「通知先アドレス」に設定したメー ルアドレスからのみメール制御</mark>できます。 ●HTMLメールではメール制御できません。必ずテキスト形式メールを ご使用ください。

 本装置に、テキスト形式メールを送信します。 件名(タイトル)は特に必要ありません。
 本文1行目に「メール制御ユーザー名」を入力します。
 本文2行目に「メール制御パスワード」を入力します。
 本文3行目以降にコマンドを入力します。
 コマンドを入力し改行を入れます。
 コマンドの「LIST」と「&SAVE」は使えません。
 ☆使えるコマンドは第12章 ■制御コマンド一覧表をご覧ください。
 本文最終行に「QUIT」コマンドを入力します。
 「Q」または「E」の1文字だけでもログアウトできます。

2.数分後,本装置から結果を知らせるメールが届きます。

注意 ☆メール制御ユーザー名とパスワードについては,第4章4[2](3)<2>メール 制御設定をご確認ください。

メールでの「電源制御」を行う場合、「ガードタイム方式」でなければ実行できません。

3.WEBコマンドからの制御

WEBからダイレクトコマンドで電源制御ができます。

WEBコマンドでの制御方法

WEBコマンドは主に電源制御のためのコマンドであり,設定の変更は出来ません。 cmd.htm の後に下記のフォーマットで記入します。

[「HTTP認証」が「None」の場合]

?userid=[ユーザーID] &password=[パスワード] &command= [利用コマンド] 例:)ユーザーID:admin / パスワード:magic / コマンド:por2 http://192.168.10.1/cmd.htm?userid=admin&password=magic&command=por2 (変数名は省略可能です。「userid」→「i」,「password」→「p」,「command」→「c」) → http://192.168.10.1/cmd.htm?i=admin&p=magic&c=por2

●1回実行するごとに、HTTPのセッションが切れ、ログアウト状態に戻ります。

[「HTTP認証」が「Basic」「Digest」]

?command= [利用コマンド]
 例:)コマンド:por2
 http://192.168.10.1/cmd.htm? command=por2
 (変数名は省略可能です。「userid」→「i」,「password」→「p」,「command」→「c」)
 → http://192.168.10.1/cmd.htm?c=por2
 ●実行時、ポップアップでID, PASSが求められます。実行後もHTTPのセッションを保持します。
 ログアウトする場合、http://[IPアドレス]/logout を実行してください。

利用可能コマンド

利用可能ユーザーLv[ident control admin supervisor]

VER POS XPOS OLS OLSn POEOS POEOU

利用可能ユーザーLv[control admin]

PONn	POFn	PORn	MPON	
MPOF	MPOR	PSRn	PONVn	MPONV
POEONn	POEOFn	POEORn		

WEBからダイレクトコマンドで電源制御すると、結果がテキスト形式で表示されます。

注意 ☆第4章4.1〈3〉アウトレット設定, (5)〈1〉共通設定, [2](1)〈3〉ダイレク トWEBコマンドの各項目を設定してご利用ください。 ★[ガードタイム方式]かつ「電源制御時の動作確認:なし」の時のみ, 電源制 御可能です。

4. MPMPでの制御

明京電機オリジナルプロトコルMPMPパケット(UDP)を使用して,電源やCPUリセットを遠隔で実行できます。

[1] リブーター側の設定

MPMPでの電源制御を行えるようにするためには以下の設定が必要です。

- (1)「電源制御方式」を[ガードタイム方式]に設定する。
- (2) MPMPでの制御に使用する「ID」「PASSWORD」を設定する。
- (3) 結果通知を有効にするため、「状態通知機能」で[MPMP]を選択し、通知を受信する端末のIPアドレスを登録しておく。

(1) ガードタイム方式の設定

「システム設定」-「セキュリティ」-「共通設定」で設定します。

÷	_	システム設定 / セキュリテ-	r 🕐
	基本設定	詳細設定	セキュリティ
			フィルター
		共通設定	
	電源制御方式	排他制御方式 🗸 🖌	変更

「電源制御方式」を[ガードタイム方式]に切り替え、[変更]ボタンをクリックします。

(デフォルトは[排他制御方式])

ポップアップで表示される注意文の内容に同意の上,[OK]をクリックしてください。 変更後はCPUリセットが必要となります。 その後,各種ガードタイムを設定できます。

(2) MPMP制御用ID, パスワード

「システム設定」-「セキュリティ」-「MPMPコマンド制御」で設定します。 ユーザーID: 半角英数記号5字以内

パスワード : 半角英数記号7字以内

★3セット,登録できます。

(3) 結果通知先IPアドレス登録

「ネットワーク設定」-「詳細設定」-「状態通知機能」で設定します。 (2)でID,パスワードを登録した「No.」に各項目を登録します。

状態通知機能:[MPMP]を選択 (デフォルトは[無効])IPアドレス:通知を受信する端末のIPアドレスポート:任意 (デフォルト:5000)

[2] MPMPパケット送信

UDP/IPの設定を以下の通り設定して、MPMPパケットを送信します。

ローカルポート : [1](3)で設定したポート番号(デフォルトであれば,5000) 送信先ポート : 15580 (このポート番号は固定) 送信先IPアドレス : 「ネットワーク設定」-「基本設定」にて設定した本装置のIPアドレス

コマンドで実行できるのは以下となります。

- (1) 電源制御
- (2) CPUリセット
- (3) 仮想アウトレット(WoL)

注意 実際の運用方法をお考えの場合,弊社営業部にお問い合わせください。

★[ガードタイム方式]でなければ制御可能になりません。

第7章 一斉電源制御

1. 一斉電源制御とは

[1] 概要

一斉電源制御とは、複数の本装置を子機として最大8グループに分け、親機から各グループ単位で一斉 制御コマンドを送り、電源を制御することができる機能です。制御には、ブロードキャストパケットを利用し ています。(操作した電源制御の結果、負荷機器が動作したことを視認[直に、もしくは監視カメラなど越し に]できる状態でこの機能をご使用ください。)

1グループにつき,10台まででご使用ください。

親機,子機の組み合わせについては,弊社リブーターで一斉制御機能があるものであれば,機種問わず組み合わせることができます。

子機[一斉電源制御受付状態の機器]の時,「ガードタイム」方式設定時はWEB画面でログインすることができますが,「排他制御」設定時はWEB画面にアクセスすることができなくなります。その場合は Telnet通信にてsupervisor権限でログインして設定を行います。

☆「ガードタイム」「排他制御」については第4章4.[1](5)セキュリティをご覧ください。

一斉制御のコマンドを実行すると、親機から以下の2種の応答があります。

- 親機側の応答 : 親機から子機へ一斉制御コマンドを送信した
- 子機側の応答 : 一斉制御コマンドを受信した

応答通知は親機の制御方法(WEB, Telnet)により異なります。 次に続く,各制御方法の応答内容をご確認ください。 2. 親機として使用する場合

[1] 設定

(1) MACアドレスの確認

本装置のMACアドレスを確認し、メモ等に控えます。

MACアドレスは,製品底面に貼付されたシリアルラベルの記載内容を確認するか,「機器設定」の「システム情報」から確認することができます。

グループの設定と、MACアドレスの入力は子機側で行います。

☆次に続く3. 子機をご参照ください。 (子機側の機種,バージョンによって画面構成,項目名が異なり ます。該当機種の詳細取説をご確認ください。)

[2] WEBでの制御

(1) 一斉制御コマンド

「電源制御」→「一斉制御」をクリックします。

電源制御	仮想制御 一斉制御				
一斉制御コマンド					
グループ指定	Group 1 🗸				
制御	PowerON V				
	送信				

本装置を一斉制御の親機として制御を行う場合は、こちらのメニューを使用します。

グループ指定	:	制御するグループを選択します。
		Group 1~Group 8
		デフォルト Group 1

制御	:	実行する動作を選択します。			
		PowerON	PowerOFF	Reboot	
		デフォルト	PowerON		

送信 : クリックで一斉制御コマンドを送信します。 クリック後,一度カウント画面に遷移した後,結果表示されます。

(2) 返答情報

応答結果は返答情報として画面表示されます。

・コマンド受信成功	

電源前御	仮想制御 一斉制御
	一斉制御コマンド
グループ指定	Group 1 🗸
制御	PowerON V
	送信
	迈怒情起

--- waiting response --- [IPアドレス]--- command executed ※子機を複数台接続している場合は、コマンド実行された台数分の [IPアドレス]--- command executed」が表示されます。 表示されない子機がある場合は、対象リブーターの通信状況を確認してください。

・コマンド受信失敗,またはコマンド受信成功したが,電源制御は実行せず

	10+841/40	
電源利仰	1汉忠利仰	一斉制仰
	一斉制御コマンド	
グループ指定	Group 1 🗸	
制御	PowerON V	
	送信	
	返答情報	

--- waiting response ---

※親機からのコマンドは届いているが,ガードタイム中や遅延時間中などでコマンド実行を行わなか った場合や,子機から3秒内で返答パケットが届かなかった場合もこの表示となります。 実行に時間を置くか,通信状況の確認を行ってください。

[3] Telnetでの制御

(1) コマンド実行

Telnetで一斉制御を行う際,使用するコマンドは以下のものです。(x=1~8, xはグループ番号を示します)

- BPONx : 該当グループ全アウトレットの電源出力開始
- BPOFx : 該当グループ全アウトレットの電源出力停止
- BPORx : 該当グループ全アウトレットのリブート(電源リブート)

(2) 返答情報

親機として一斉制御コマンド(BPONx, BPOFx, BPORx)をTelnetで実行の後は, 親機のコマンド実 行結果応答に加えて, 子機の応答結果が表示されます。 以下は、グループ1に2台設定した場合の例となります。

・コマンド受信成功

Noname> BPON1 220 Command	d OK		
waiting response			
Noname> 192.168.1.100		command	executed
Noname> 192.168.1.110		command	executed

--- waiting response ---

[IPアドレス]--- command executed

※子機を複数台接続している場合は,コマンド受信した台数分の

[IPアドレス]--- command executed」が表示されます。

表示されない子機がある場合は、対象リブーターの通信状況を確認してください。

・コマンド受信成功したが、電源制御は実行せず

Noname> BPON1 220 Comman	nd OK.	
waiting response		
Noname> 192.168.1.100	*** command failed	
Noname> 192.168.1.110	*** command failed	

--- waiting response ---

[IPアドレス]*** command failed

ガードタイム中や遅延時間中にコマンドを実行した場合に表示されます。

ガードタイムや遅延時間によって電源制御コマンドが受け付けられなかったことを表します。

・コマンド受信失敗

Noname> BPON3 220 Command OK.

--- waiting response ---

未設定のグループへコマンド実行した場合や、通信状態が悪い場合に表示されます。

・コマンドが誤っている

--- waiting response ---

[IPアドレス]*** invalid command
3. 子機として使用する場合

[1] 設定

- (1) 受付状態設定方法
 - 〈1〉 メンテナンスモードのWEB画面にて設定を行う方法

1)本体起動後,本体前面のDIPスイッチ3のみON(下)にし,RESETボタンを押します。これで「メンテ ナンスモード」になります。

「メンテナンスモード」はIPアドレスが192.168.10.1固定です。

アクセスする機器のIPアドレスを192.168.10.2などに設定する必要があります。

2)メンテナンスモード機器設定画面の下部(赤の枠)で以下の項目を設定します。

メンテナンスモード 機器設定				
モデル名	PoE8M2			
バージョン	4.00A.230112			
MAC アドレス	00:09:EE:02:8C:44			
IP アドレス	192.168.10.1			
サブネットマスク	255.255.255.0			
デフォルトゲートウェイ				
DNS サーバーアドレス				
DHCP 機能	○ 有効 ● 無効			
HTTP 機能	● 有効 ○ 無効			
HTTP ポート	80			
Telnet 機能	○ 有効 ● 無効			
Telnet ポート	23			
通信速度	自動接続			
IP フィルター	○ 有効 ● 無効			
子機グループ	Disabled 🗸			
親機MACアドレス	00:00:00:00:00			
	適用			
- ス継グループ ・ Di	soblod[=">+1/b]			
丁版ノル·ノ · DISADIEU[リノオルト]				
Gr	roupl~8			

親機MACアドレス: 一斉電源制御コマンドが送られてくる親機のMACアドレスを指定します。

3)「適用」を押し、DIPスイッチをすべてOFF(上)にして、RESETボタンを押すと一斉電源制御受付状態になります。

〈2〉「ガートタイム方式」選択時、(運用モード)WEB画面にて設定する方法

「ネットワーク設定」-「詳細設定」をクリックします。

一斉電源制御受付(子機機能)設定メニューで,以下の項目を設定します。

一斉電源制御受付(子機機能)設定					
子機グループ	Disabled V				
親機MACアドレス	00:00:00:00:00				
	適用				
子機グループ	: Disabled Group1~8 デフォルト Disabled				
親機MACアドレス	: 一斉電源制御コマンドが送られてくる新				

適用をクリックし、CPUリセットを行います。

〈3〉 Telnet通信にて設定を行う方法

1)Telnet通信でログインしてください。

2)ログイン後、「.broadGroup=1」と入力し、エコーが返ってきたなら、「write」コマンドで書き込みます。

3)「cpureset」と入力しEnterキーを押してください。

(2) 受付状態解除方法

〈1〉「排他制御」選択時、WEB画面にて解除を行う方法

1)本体起動後、本体前面のDIPスイッチ3のみON(下)にし、RESETボタンを押します。これで「メンテ ナンスモード」になります。

「メンテナンスモード」はIPアドレスが192.168.10.1固定です。

アクセスする機器のIPアドレスを192.168.10.2などに設定する必要があります。

2)メンテナンスモード機器設定画面の下部(赤の枠)で子機グループをDisabledにします。

メンテ	メンテナンスモード 機器設定				
モデル名	PoE8M2				
バージョン	4.00A.230112				
MAC アドレス	00:09:EE:02:8C:44				
IP アドレス	192.168.10.1				
サブネットマスク	255.255.255.0				
デフォルトゲートウェイ					
DNS サーバーアドレス					
DHCP 機能	○有効 ◎無効				
HTTP 機能	●有効 ○無効				
HTTP ポート	80				
Telnet 機能	○有効 ◉無効				
Telnet ポート	23				
通信速度	自動接続				
IP フィルター	○有効 ● 無効				
子機グループ	Disabled V				
親機MACアドレス	00:00:00:00:00				
適用					

※親機MACアドレスは入力されたままでも構いません

3)「適用」を押し、DIPスイッチをすべてOFF(上)にして、RESETボタンを押します。

〈2〉「ガートタイム方式」選択時、WEB画面にて解除する方法

- 1)「ネットワーク設定」-「詳細設定」をクリックします。
- 2)一斉電源制御受付(子機機能)設定メニューで,子機グループをDisabledに切り替えます。

一斉電源制御受付(子機機能)設定					
子機グループ	Disabled V				
親機MACアドレス	00:00:00:00:00				
適用					

3)適用をクリックし、CPUリセットを行います。

〈3〉 Telnet通信にて解除する方法 [「排他制御方式」選択時など]

1)Telnet通信において、Supervisor権限でログインしてください。

- 2)ログイン後、「.broadGroup=0」と入力し、エコーが返ってきたなら、「write」コマンドによって受付 状態無効を書き込みます。
- 3)その後、「cpureset」と入力しEnterキーを押してください。

受付状態が無効になったため、WEB画面にアクセスすることが可能になっています。

[2] 待受状態時の制御・設定

「排他制御」設定の場合,一斉制御待受状態時,WEB画面にアクセスできず,電源制御や設定変更な どが行えなくなります。(「ガードタイム方式」設定であればWEBアクセス可能です。) Telnet通信ではsupervisor権限でしかログインができません。(変数による設定変更は可能ですが, 電源制御は行えません。)(「ガードタイム方式」であれば,admin権限でもログインできます。)

注意 子機側の各アウトレットに設定されたリブート時間, ON遅延時間, またガード タイム時間の設定によって, 一斉制御のコマンドが届くタイミングによっては 実行されないことがあります。



1. ロギング機能の設定・表示

デバイスの監視やその他のイベントログを1000件記録します。1000件を超えた場合は古いログから消 去し,新しいログを記録します。記録されたログは,コマンドで表示・確認できます。

1)Telnetによる設定と表示

記録モード・表示モードの設定および記録されたログの表示は,それぞれのコマンドを入力し <Enter>キーで実行します。ログインして制御する方法で操作します。

- ① 記録モードの変数名とコマンド
 - 変数名 : logMode コマンド : .logMode

(2)表示モードの変数名とコマンド

- : 変数名 logDisp コマンド : .logDisp
- ③ 接続中の表示のみを変更するコマンド (通信が終了すると「logDisp」の値に戻ります。) コマンド : LOGDISP
- ログ制御変数のビット構成 値は最下位を0ビットとし、32ビットの構成になっています。

0:無,1:有

ビット

ビット 31 : 不使用 14 : 不使用 30 : 不使用 13 : Telnetログイン・ログアウト 29 : 不使用 12 : Telnet接続·切断 28 : 不使用 11 : Webログイン・ログアウト : 不使用 27 10 : Web接続 : 不使用 26 9 : メールログイン・ログアウト 8 : メール不正アクセス 25 : スクリプト実行/失敗 ※2 : 不使用 24 7 : 不使用 23 : 不使用 : 不使用 6 22 : 不使用 5 : 不使用 : NTPアクセス 21 4 : 電源制御コマンド 3 20 : 不使用 : 不使用 2 : Ping監視によるイベント ※1 19 : PoE制御/状態変化 : 不使用 1 : Ping無応答 ※1 18 17 : 変数設定, write 0 : Ping送信 ※1 16 : サーバー関連イベント 15 : 不使用

※1 PoE機器Ping監視、PoE機器ポート監視に伴うログも含みます

※2 PoE HUB接続スクリプトのログも含みます

Telnet通信による設定例

・全て表示する場合

.logDisp=11111111111111111111111111111(デフォルト)

・接続中に「変数設定」だけ表示とする場合

■ ログ表示コマンド

コマンド	内容
LOG	ログの表示(連番号順)
LOG_n	ログの表示(最新n個)
	e=t ログ開始からの経過秒=現在時刻
LOGTIME	e0 = t0 NTP接続までの経過秒=最初の取得時刻
	NTP無効の場合はeのみ表示
LOGCLEAR	ログのクリア
LOGCLEAR T	ログのクリアおよび記録時間のリセット
A	

ログの表示数は20項目です。

<Enter>キーで続きの20項目を表示します。

■ ログの表示形式

nnn ttt a b xxxxxxx c

nnn :	連番号
ttt :	NTP無効時:記録開始からの時間(秒)
yy.mm.dd hh:mm:ss :	NTP有効時:年月日時分秒
a :	アウトレット番号
b :	Ping送信先番号(1~4番)
xxxxxxx :	イベント
с :	IPアドレス

→記録されるログに関しては「第12章 ■ログ一覧表」をご覧ください。

0	Ping送信	0	1	1	1	
	Ping無応答	0	1	-	1	
2	Ping監視によるイベント	1	1	-	1	
m	不使用	0	1	1	1	
4	電源制御コマンド	1	1		1	
ഹ	不使用	-	1	-	1	
9	不使用	1	1	1	1	
~	不使用	1	1		1	
8	メール不正アクセス	1	1	1	1	
б	メールログイン/アウト	-	1		1	
10	WEB接続	1	1	1	1	
11	WEBログイン/アウト	1	1		1	
12	Telnet接続/切断	1	1		1	
13	Telnetログイン/アウト		1		1	
14	不使用	-	1		1	
15	不使用	1	1	-	1	
16	サーバー関連イベント	1	1		1	
17	変数設定,write		1		1	
18	不使用		1	-	1	
19	PoE制御/状態変化	1	1	-	1	
20	不使用	1	1	-	1	
21	NTPアクセス		1		1	
22	不使用		-		1	
23	不使用	-	1	-	1	
24	不使用	1	1	-	1	
25	スクリプト実行/失敗	1	1	-	1	
26	不使用		-		1	
27	不使用	-	1		1	値)
28	不使用	1	1	-	1	411
29	不使用	1	1	-	1	ľ,
30	不使用	1	1	1	1	₹Md
31	不使用	0	0	0	0	튓
		.logMode	.logDisp	LOGDISP	mailLogDisp	
PoE8M2		ログ記録可否	ログ表示可否	一時的ログ表示可否	メールでのログ表示可否	

第9章 SNMP エージェント機能

1. SNMPについて

本装置はSNMPエージェント機能を装備しています。SNMPマネージャーを利用して,ネットワークシス テムの電源管理を行うことができます。 SNMPでは電源制御は行えません。

2. 機器設定

本装置をTelnet接続にて下記の項目を設定してください。 ☆詳細は,第6章1.Telnet接続による制御をご参照ください。

1	SNMPのSET, GET有効化 変数 デフォルト	:	snmpGetSetEnabled 0 (0:無効 1:有効)
2	SNMP TRAPの有効化 変数 デフォルト	:	snmpTrapEnabled 0 (0:無効 1:有効)
3	SNMP不正アクセス時のTRAP通知 変数 デフォルト	:	snmpAuthenTrapEnabled 2 (1:有効 2:無効)
4	TRAP送信回数 変数 デフォルト	:	snmpTrapSendN 1 (1~9)
5	TRAP送信間隔(秒) 変数 デフォルト	:	snmpTrapSendInterval 1 (1~9)
6	TRAP送信先アドレス 変数 デフォルト	:	snmpTrapAddr 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0,0 0.0.0.0,0.0.0,0.0.0,0.0.0,0.0.0 (8箇所)

⑦ SNMP用フィルターの有効化
 変数
 デフォルト

snmpFilterEnabled
0 (0:無効 1:有効)

0.0.0.0.0.0.0.0

(10箇所)

③ フィルター有効時のMask 変数 デフォルト

③ SNMP GETコミュニティー名
 変数 : getCommunity
 デフォルト : Public

 SNMP SETコミュニティー名 変数 デフォルト

: setCommunity

- : Public
- ② SNMP TRAPコミュニティー名
 変数 : trapCommunity
 デフォルト : Public

3. MIBについて

本機を管理するためのプライベートMIBを準備しています。

当社ホームページ <u>https://www.meikyo.co.jp/archive/#mib</u> よりMEIKYO.MIBをダウンロ ードしご利用ください。

プライベートMIBファイルをNMSにロード・コンパイルすることにより,本機の管理をNMS上で 行うことができます。

注意 MIBのロード・コンパイル使用方法についての詳細は、ご利用される NMSのマニュアルを参照してください。

第10章 ネットワーク 稼動監視

. 機器設定

本装置からUDPのパケットを送出し,電源状態を通知することができます。 「RPC EYE V4」(オプション 有償ソフトウェア)を利用すれば,各機器からのパケットを受信し一元管 理することができます。

下記の変数を設定してください。(①~④はWEB通信詳細画面により設定できます)

\bigcirc	状態通知機能		
	変数	:	syslogEnabled
	デフォルト	:	0
			0:無効
			2: MPMPパケットフォーマットで送信
			3: MSRPパケットフォーマットで送信
RP	C EYE V4を使用するパン	リコンの	のアドレスを設定します。
2	送信先アドレス		
	変数	:	ipAdCenter
	デフォルト	:	
			(3箇所)
RP	C EYE V4を使用するパン	ノコン(のポート番号を設定します。
3	ポート番号		
	変数	:	centerPort
	デフォルト	:	5000
情	服を通知する間隔を設定しる	ます。	
4	定期通知の送信間隔(秒)		
	変数	:	centerSendTimer
	デフォルト	:	300
電波	原変化時は,定期通知間隔る	を待た	ず直ちに通知します。その時の通知回数を設定します。
5	電源変化時の通知回数		
	変数	:	centerChangeSendCount
	デフォルト	:	3
電測	原変化時の通知の2回目以降	奉の通	知間隔を設定します。
6	電源変化時の通知間隔(利	()	

電源変化時の通知間隔	(秒)	
変数	:	centerChangeSendTimer
デフォルト	:	10

2. RPC EYE V4の利用

RPC EYE V4は、RPCシリーズからの送信情報を利用して、各拠点のネットワークの稼動状態をリアルタ イムで監視するネットワーク稼動監視ソフトです。 以下の特長があります。

・死活監視 電源状態の表示と監視

・アイコンによるビジュアルな状態表示

・リアルタイムに見られる詳細な情報ビューア

・受信情報のデータ保存(CSV形式)

・状態変化時にE-mailまたは音による通知機能

・個別の機器への接続機能(HTML or Telnet)

・1本のソフトでPC3台まで利用できます。

・(PRO版のみ)グループ単位での設定書込

・(PRO版のみ)グループ電源制御

詳細,購入方法等は下記のアドレスで確認ください。 https://www.meikyo.co.jp/product/?ca=4

設定前の確認

設定用PCと本装置をLANで確実に接続してください。 RPC EYE V4をPCにインストールしてください。 RPC EYE V4はWindows対応ソフトです。 RPC EYE V4の設定,利用方法は,RPC EYE V4説明書(PDFファイル)をご覧下さい。

注意 RPC EYE V4で本装置のアウトレットの状態は確認できますが、PoEハブに接続された受電デバイスの電源状態は取得することはできません。

第11章 PoEハブとの 接続

1. 概要

- ・PoE給電対応ハブ(以下,PoEハブと呼ぶ)にTelnet接続し,PoEハブの任意のポートの給電ON,OFF を操作することにより,そのポートに接続されている受電デバイス(IPカメラなど)のON,OFF, REBOOT制御を行うことができます。
- ・最大4台のPoEハブを通して、最大8機の受電デバイスの制御が可能です。

・受電デバイスのIPアドレスを設定し、それらに対する死活監視(Ping監視)を行うことができます。



2. 接続·設定

[1] 設定方法

「PoE機器管理設定」の「HUB・機器設定」をクリックし、接続,設定を行います。 ☆詳細につきましては第4章31HUB・機器設定をご覧ください。

3.制御モード

[1] PoEハブ 制御モードによる相違点

	パナソニックLSネットワーク製品	一般,APRESIA SMNP制御
概要	本モードは,パナソニックLSネットワー	一般:本モードは,PoEハブと通信し,
	クス社製MNOシリーズのPoEハブに適	PoEハブから特定の受電デバイスへ
	したモードです。	の〔給電モード〕を制御することが可能
	PoEハブと通信し,PoEハブから特定	ですが,PoEハブからの〔設定情報〕の
	の受電デバイスへの〔給電モード〕を制御	分析は行いません。実際の受電デバイ
	することに加えて,PoEハブからの〔設定	スへの〔給電状態〕については〔設定情
	情報〕を分析し実際の受電デバイスへの	報〕そのものを参照していただくことに
	〔給電状態〕を知ることができるようになっ	なります。
	ています。	APRESIA SMNP制御:
		本モードはAPRESIA Systems社製
		ApresiaLightGSシリーズのPoEハ
		ブに適したモードです。PoEハブと通
		信し,PoEハブから特定の受電デバイ
		スへの〔給電モード〕を制御することが
		可能ですが,PoEハブからの〔設定情
		報〕の分析は行いません。実際の受電
		デバイスへの[給電状態]については
		[設定情報]そのものを参照していただ
		くことになります。
受電デバイスの状態	"ON/OFF" などの状態表示には,実	"ON/OFF" などの状態表示には,
	際の受電デバイスへのし給電状態」が反映	PoEハブに対して行なったし給電モード」
	されます。	制御の結果が反映されます。
		例えば、PoEハブのポートに受電デバ
		イスが接続されていない場合などの動作
		環境によっては、PoEハブの「給電モー
		ド」と実際の受電デバイスへの「給電状
		態」が異なる場合が起こり得ることに注意
		してください。
		実際の受電デバイスへの[給電状態]を
		確認するには、別途〔設定情報〕の取得を
		実施してください。
"ON/OFF"	実際の受電デバイスへの[給電状態]を	PoEハブに対して最後に行なった〔給
	示します。これはPoEハブからの〔設定情	電モード]制御の結果を示します。
	報〕に基づきます。〔設定情報〕は	
	ON/OFF制御の後,または本装置起動	
	時から一定時間間隔で確認されます。	

	パナソニックLSネットワーク製品	一般,APRESIA SMNP制御
"NONE"	PoEハブからの〔設定情報〕において, 〔給電モード〕はONであるにも関わら ず,実際の〔給電状態〕は給電していな い状態を示します。たとえば,PoEハブ のポートに受電デバイスが接続されて いない場合などが含まれます。	本装置起動時からPoEハブに対して〔給 電モード〕制御を行っていない状態を 示します。
"不明"	(給電状態)が不明な状態です。たとえば, 通信設定が不足している,PoEハブと の通信エラー,スクリプトが不当である などのために〔設定情報〕を取得できな い場合が含まれます。	〔給電モード〕制御を行なえない状態で す。たとえば,通信設定が不足してい る,PoEハブとの通信エラー,スクリプ トが不当であるなどのために制御を行 えない場合が含まれます。
史和	しい/OFF 制御を用始してから、「結電状態」を取得するまでの間の状態です。	ON/OFF 制御を用始してから、「結電モード」制御が完了するまでの間の状態です。
"無効"	受電デバイスの制御が無効に設定されて いる状態です。	受電デバイスの制御が無効に設定されて いる状態です。
受電デバイスの制御 方法 (WEB)	「PoE出力制御」画面に受電デバイス(1~ 8)毎に [ON] [OFF] [Reboot] ボ タンが表示されますので,制御の内容 にしたがってボタンを押下します。 受電デバイスの状態が "NONE", "不 明", "無効" の場合はボタンが非表示 となります。	「PoE出力制御」画面の「PoE 接続機器 制御」-「PoE 出力制御」にて,受電デ バイスの種類(1~8)と制御内容 (ON/OFF/Reboot)をプルダウンメ ニューから選択し,その後 [実行] ボ タンを押下します。
PoEハブの〔設定情 報〕の取得(WEB)	「PoE出力制御」画面の「PoE 接続機器 情報」項目にて「PoE HUB設定状態- 参照」ボタンを押下します。 「HUB設定状態」画面に移動しますので, 「PoE HUB設定情報」項目にて,受電 デバイスの種類(1~8)もしくはPoEハ ブの種類(1~4)をプルダウンメニュー からン選択し,その後[実行] ボタンを 押下します。 必要に応じて,〔設定情報〕のページ数を 変更してください。	「PoE出力制御」画面の「PoE 接続機器 指定」項目にて,受電デバイスの種類(1 ~8)もしくは「PoE HUB指定」(1~4) をプルダウンメニューからン選択し,そ の後[実行] ボタンを押下します。 必要に応じて,〔設定情報〕のページ数を 変更してください。

4. 受電デバイスの死活監視



本装置は、受電デバイスのIPアドレスに周期的にPingを送信し、死活監視を行うことができます。

「PoE機器管理設定」の「PoE 機器監視」をクリックし、接続,設定を行います。 詳細につきましては第4章3[2]PoE 機器監視をご覧ください。





5. PoE機器ポート監視

本装置は、PoE給電ポートに対応する任意のIPアドレスとポート(ターゲットは最大8個)に対して、SYNスキャンの仕組みを使ったPoE機器ポート監視を行うことができます。

●Ping監視 →ネットワーク層で動作するICMPを使用。IPレベルの確認までしかできない。

●ポート監視 →トランスポート層でサービスを提供しているポート番号で通信ができているかを確認する。

[1] 監視方法

ターゲットに対してSYNパケットを送信します。

以下の条件下で,ポート監視を実行します。

1)受電デバイスが有効。(変数「poeDevControlEnabled」)
 2)受電デバイスへの給電状態が「ON状態」,または「NONE状態 かつ poePingMode=0」。

受電デバイスから

a)無応答

→最大3回,3秒間隔でリトライを繰り返し,それでも無応答であれば「異常」と判断。 (リトライ回数,間隔は固定)

b)「SYN+ACK」が返ってくる。

→「タイムアウト確認時間」後に「正常」と判断。 ※「タイムアウト確認時間」設定可能値:15~60秒

c)「SYN+ACK以外」が返ってくる

→「タイムアウト確認時間」後に「正常」とするか「異常」とするか、設定可能。

→「SYN+ACKのみ有効」のとき,「異常」判定。

→「SYN+ACK以外も有効」のとき、「正常」判定。

【設定方法:WEB画面上】

ポート監視実行間隔(分)	1
装置側ポート番号	19100
タイムアウト確認時間(秒)	15
応答判定モード	SYN+ACKのみ有効 ~

「監視設定-PoE機器ポート監視-PoE機器ポート監視設定」の下部にある 「応答判定モード」で設定できます。

【設定方法:Telnetにて】

変数「portScanRespMode」で設定します。 0:SYN+ACKのみ有効 1:SYN+ACK以外も有効

[2] 結果監視

設定されたSYN送信回数に対して,何回NG応答があったかを監視します。そして,NG応答が設定値に達したときにログを残したり,PoE給電リブートを実行したりできます。(メール通知-送信条件フラグにて[Ping]を設定しているとき,メール通知もされます。)

PoE ポートスキャン設定					
	機器名称		送信	無効	
	PoeDev1		10	10	
1	監視先アドレス	ポート	動作	回数	間隔
		0	無動作 ~	1	1
	ポート監視実行間隔((分)	1		
	装置側ポート番号	ł	19100		
	タイムアウト確認時間	(秒)	15		
	応答判定モード		SYN+AC	Kのみ有效	h ~

デフォルト値のまま使用した場合,次のようになります。

ポート監視実行間隔(分) 1分

	-/-	
		⇒1分おきにポート監視を実施します。
送信	10回	
無効	10回	
		⇒最近10回中,10回ともNG応答だったとき「動作」実行します。
動作	[無動作]]
	[Logのa	ð]
	[Reboo	t]
		⇒実施する動作を設定します。
		⇒[Reboot]設定の時には次の項目が関係します。
回数	1回	
間隔	1分	
		⇒この設定なら,Rebootを1回しか実行しません。
		「回数」を2以上に設定した時,「間隔」で設定した分間隔で実行 します。

6.通知

[1] ログ

内容	情報	TelnetなどのLOG
PoE給電ON	受電デバイス番号	POEON
PoE給電OFF	受電デバイス番号	POEOF
PoE給電リブート	受電デバイス番号	POEOR
PoE状態確認	9	POEOU
PoE設定情報取得	PoEハブ番号	POESHUB
PoE設定情報取得	受電デバイス番号	POESDEV
Ping送信	受電デバイス番号	PoE ping
Ping無応答	受電デバイス番号	PoE No Echo
死活判定(No Action)	受電デバイス番号	PoE No Action by Ping
死活判定(REBOOT)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Reset by Ping
死活判定(給電ON)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Enabled by Ping
死活判定(給電OFF)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Disabled by Ping
正常/回復	受電デバイス番号	PoE Device Recovered
スケジュール(No Action)	受電デバイス番号	PoE No Action by Schedule
スケジュール(REBOOT)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Reset by Schedule
スケジュール(給電ON)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Enabled by Schedule
スケジュール(給電OFF)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Disabled by Schedule
スケジュール(定時メール)	(なし)	Mail by Schedule
		※通常のアウトレットと同じ
スクリプト実行成功	受電デバイス番号	PoE Script Done, hub=[PoEハブ番号]
	(1-8,9は情報取得)	
スクリプト実行失敗	受電デバイス番号	PoE Script Failed, code= $[\neg - \ddot{r}]$,
	(1-8,9は情報取得)	hub=[PoEハブ番号]
コマンド実行失敗	受電デバイス番号	PoE Command Failed, code=[コード]
(ポート監視)SYN送信	受電デバイス番号	PoE Port Scan Send SYN
(ポート監視)応答なし	受電デバイス番号	PoE Port Scan No Response
(ポート監視期待外の応答	受電デバイス番号	PoE Port Scan Other Response
(ポート監視)『異常』動作なし	受電デバイス番号	PoE No Action by Port Scan
(ポート監視)『異常』Reboot	受電デバイス番号	PoE Power Supply Reset by Port Scan
(ポート監視)回復	受電デバイス番号	PoE Device Recovered

[2] メール通知

内 容	情報	TelnetなどのLOG
死活判定(無動作)	受電デバイス番号	死活監視(PoE: No Action)([受電デバイス名称])
死活判定(REBOOT)	受電デバイス番号	死活監視(PoE: REBOOT)([受電デバイス名称])
死活判定(給電ON)	受電デバイス番号	死活監視(PoE: ON)([受電デバイス名称])
死活判定(給電OFF)	受電デバイス番号	死活監視(PoE: OFF)([受電デバイス名称])
正常/回復	受電デバイス番号	死活監視(PoE: RECOVERED)([受電デバイス名 称])
スケジュール(無動作)	受電デバイス番号	スケジュール(PoE: No Action)([受電デバイス名 称])
スケジュール(REBOOT)	受電デバイス番号	スケジュール(PoE: REBOOT)([受電デバイス名 称])
スケジュール(給電ON)	受電デバイス番号	スケジュール(PoE: ON)([受電デバイス名称])
スケジュール(給電OFF)	受電デバイス番号	スケジュール(PoE: OFF)([受電デバイス名称])
スケジュール(定時メール)	(なし)	定時メール(通常のアウトレットと同じ)
(ポート監視)『異常』動作なし	受電デバイス番号	PORT SCAN(PoE: No Action)([受電デバイス名称])
(ポート監視『異常』Reboot	受電デバイス番号	PORT SCAN(PoE: REBOOT)([受電デバイス名称])
(ポート監視)回復	受電デバイス番号	PORT SCAN(PoE: RECOVERED)([受電デバイス名称])

●ポート監視のメール送信条件フラグ(mailInfoFlag)は「Ping」と共通になります。

[3] エラーコード

Web画面上で通信結果を確認したときに表示される番号と示されている状態は以下のとおりです。

エラーコード	状態
0	正常/未実行
1	受電デバイスの制御が許可されていない。[WEBでは制御がガードされます]
2	受電デバイスの接続先PoEハブが設定されていない。
3	受電デバイスの接続先ポート番号が設定されていない。
7	ポートを給電有効にしたものの給電がなされていない。
8	制御中の受電デバイスに対して制御を指示した。
9	外部・内部の処理によってコマンドキューがいっぱいになった。
10	PoEハブのIPアドレスが設定されていない。
11	PoEハブのスクリプトが設定されていない。
12	スクリプトの変換に失敗した。
50以降	PoEハブスクリプト実行結果
253	Telnet切断
254	Telnet接続エラー

7. PoEハブ制御用スクリプト

[パナソニックLSネットワーク製品」モード,「一般」モードは、PoEハブとの通信をTelnet接続にて行います。 「Telnet接続の確認」「ログイン」から一連の制御を経て「ログアウト」までの一連の処理をスクリプトによって定 義する必要があります。スクリプト終了時、Telnet接続は切断します。

[1] スクリプトについて

画面左側設定項目の「HUB・機器設定」をクリックします。

PoE HUB 接続		
	スクリプト1編集	
	スクリプト2編集	
接続人クリノト	スクリプト3編集	
	スクリプト4編集	

登録を行う番号をクリックします。

		スクリプト ファイル	
スク	リプト番	昏号 No.2	
I	ラー情報	R 10	
		スクリプ	ト説明
		スクリプト ファイル設定	
1	Text	ファイルの選択 ファイルが選…れていません	Load
2	Text	ファイルの選択 ファイルが選…れていません	Load
3	Text	ファイルの選択 ファイルが選…れていません	Load
4	Text	ファイルの選択 ファイルが選…れていません	Load

- Text :各番号に登録されている内容を呼び出します
- Load :「ファイルの選択」で選択したファイルの中身を登録します 登録した内容は上のウィンドウに表示されます

スクリプト1番にMNOシリーズ(ギガ対応)制御用のスクリプトをデフォルトで設定しています。これらの設定は必要に応じて調整してください。

なお, MNOシリーズの非ギガ対応機については専用のスクリプトを使用します。

弊社ホームページ <u>https://www.meikyo.co.jp/archive/</u> にスクリプトの例がございます。必要に応じて修正してご使用ください。

(1) テキスト仕様

・テキストサイズは2キロバイトまでです。

・テキスト行数は250行までです。

・テキストの第1行は「Telnet」とします。

・行の先頭やパラメータの区切りに任意個のタブや空白を入れても構いません。

・スクリプト関数は大文字でも小文字でも可能です。

・2バイト文字にも対応しています。

文字列	二重引用符「"」で囲みます。 CRコードは「¥r」, LFコードは「¥n」で表します。 1個の¥は「¥¥」で, 1個の"は「¥"」で表します。 制御コード等は「¥xnn」でnnは2桁の16進数で表します。 (長さは最大63バイト)
timeout 時間	スクリプトタイムアウト。単位は秒,最大1023まで指定できま す。 時間が来たら強制的にスクリプトを終了します。(終了コードは 255)
delay 時間	一時停止。単位は100ミリ秒,最大1023まで指定できます。
goto ラベル	指定[ラベル]に飛びます。
ラベル	ラベルは1~99までの数字とします。 行の残りにはコメントしか書くことはできません。
exit 終了コード	スクリプト終了。[終了コード]は0~255。省略は0。 変数「debOlShudownExit」に設定されます。
send 文字列	[文字列]を送信します。
recv	データを受信バッファに受信します。
recv 時間 goto ラベル	データを受信バッファに受信し,[時間]以内に受信できない場 合は[ラベル]に飛びます。(時間の単位は秒)
recv 時間 exit 終了コード	データを受信バッファに受信し,[時間]以内に受信できない場 合は終了します。
if 文字列 goto ラベル	受信バッファに [文字列]があれば [ラベル]に飛びます。
if 文字列 exit 終了コード	受信バッファに[文字列]があれば終了します。
unless 文字列 goto ラベル	受信バッファに[文字列]が無ければ[ラベル]に飛びます。
unless 文字列 exit 終了コード	受信バッファに[文字列]が無ければ終了します。

(2) スクリプト関数詳細

/	コメント。各文の終わりにも「/」を置いてコメントを書くことがで きます。
set 文字列	メッセージ変数「debOlShutdownMsg」に文字列を入れます。
sendname	ユーザーIDをCRコード付きで送信します。 「ログイン用ID」設定を参照します。
sendpassword	パスワードをCRコードつきで送信します。 「ログイン用パスワード」設定を参照します。
sendpoeport	PoEハブのポート番号を送信します。 「接続先PoEハブのポート番号」設定を参照します。CRコードは つきません。
sendpoeoncmd	給電有効コマンド文字列をCRコードつきで送信します。 「給電有効設定コマンドの文字列」設定を参照します。
sendpoeoffcmd	給電無効コマンド文字列をCRコードつきで送信します。 「給電無効コマンドの文字列」設定を参照します。
sendpoestscmd	ポート設定参照コマンド文字列をCRコードつきで送信します。 「ポート設定参照コマンドの文字列」設定を参照します。
ifpoeoncmd goto ラベル	スクリプト起動コマンドがONコマンドであれば [ラベル] に飛 びます。
ifpoeoffcmd goto ラベル	スクリプト起動コマンドがOFFコマンドであれば [ラベル] に飛 びます。
ifpoestscmd goto ラベル	スクリプト起動コマンドが状態取得コマンドであれば [ラベル] に飛びます。
ifpoesdevcmd goto ラベル	スクリプト起動コマンドが設定情報取得コマンド(デバイス指定) であれば [ラベル] に飛びます。
ifpoeshubcmd goto ラベル	スクリプト起動コマンドが設定情報取得コマンド(ハブ指定)であ れば [ラベル] に飛びます。
waitpoereboot	Wait時間を待ちます。待ち時間は「PoE給電リセットの OFF/ON間隔」設定を参照します。
getpoeportno goto ラベル	PoE ハブから受信した文字列(行)の先頭からポート番号を取 り込みます。取り込んだポート番号は以下のステータス設定関 数で使用します。 数字で始まらない場合は、ヘッダやコメント行とみなし [ラベル] に飛びます。
setpoestson	getpoeportno関数で取り込んだポートのステータスを「ON」 に設定します。
setpoestsoff	getpoeportno関数で取り込んだポートのステータスを「OFF」 に設定します。
setpoestsnone	getpoeportno関数で取り込んだポートのステータスを 「NONE」に設定します。
save_data	受信バッファ内のデータをメモリに退避します。

if_escstart goto	ラベル受信バッファ内のデータがESC シーケンスで始まる場 合には [ラベル]に飛びます。
init_poecnt	メモリに退避するページ数を設定します。
dec_poecnt goto	ラベルページ数をカウントします。設定されたページ数に達した 場合には [ラベル] に飛びます。

[2] スクリプト構成(「一般」モード用)

各PoEスイッチングハブによって差異はありますが、大きな流れは下記のとおりになります。





■変数一覧表

変数 名	初期値	内容	備考
ipAdEntAddr	192.168.10.1	IPアドレス	
ifPhysAddress	(機器毎)	MACアドレス(ReadOnly)	
serialNo	_	【不使用】	
sysName	Noname	機器名称	全角10文字 半角20文字以内
snmpGetSetEnabled	0	SNMPのSET, GETの有効化	0:無効 1:有効
snmpTrapEnabled	0	SNMP TRAPの有効化	0:無効 1:有効
snmpAuthenTrapEnabled	2	SNMP不正アクセス時のTRAP通知	1:有効 2:無効
snmpTrapSendN	1	TRAP送信回数	1~9
snmpTrapSendInterval	1	TRAP送信間隔(秒)	1~9
snmpTrapAddr		TRAP送信先アドレス	"," 区切りで8箇所まで
snmpFilterEnabled	0	SNMP用フィルターの有効化	0:無効 1:有効
snmpFilterAddr		フィルター有効時許可するアドレス	"," 区切りで10箇所まで
snmpFilterMask	255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255,	フィルター有効時のMask	10箇所
getCommunity	public	SNMP GETコミュニティー名	半角20文字以内
setCommunity	public	SNMP SETコミュニティー名	半角20文字以内
trapCommunity	public	SNMP TRAPコミュニティー名	半角20文字以内
sysDescr	*1 文字列	(ReadOnly)	
sysContact	form@meikyo.co.jp	連絡先	
sysLocation	Nowhere	設置場所	全角31文字 半角63文字以内
ifDescr	*2 文字列	(ReadOnly)	
ipAdEntNetMask	255.255.255.0	ネットマスク	
ipRouteDest		デフォルトゲートウェイ	
netBootpRetry	0	BOOTPリトライ回数	
netRarpRetry	0	RARPリトライ回数	
telnetEnabled	0	Telnetの有効化	0:無効 1:有効
telnetPort	23	Telnetのポート番号	
rshdEnabled	0	リモートシェル(rsh)設定	0:無効 1:有効
rshdPort	514	リモートシェル(rsh)に使用する着信 ポート	
rshErrPort	1000	リモートシェル(rsh)に使用する エラーポート	
utilityPort	9000	UTYのポート番号	
fileLoadPort	9200	HTMLファイルをロードするポート	
httpEnabled	1	HTTPの有効化	0:無効 1:有効
httpPort	80	HTTPのポート番号	
httpRefreshInterval	30	HTTP自動更新間隔(秒)	
httpRefreshEnabled	0	HTTP自動更新の有効化	0:無効 1:有効
httpCommandEnabled	0	HTTPコマンドの有効化	0:無効 1:有効
dhcpEnabled	0	DHCPの有効化	0:無効 1:有効

ipFilterEnabled	0	IPフィルターの有効化	0:無効 1:有効
ipFilterAddr	192.168.10.0	IPフィルターアドレス	"," 区切りで10箇所まで
ipFilterMask	255.255.255.255.0, 255.255.255.255.255, 255.255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255,	IPフィルターマスク	10箇所
model	PoE8M2	モデル名(ReadOnly)	
version		バージョン表示(ReadOnly)	
debTcpInactiveTimer	10	Telnet通信時の無通信タイマー(分)	1~32767
autoLogoutEnabled	1	自動ログアウト監視の有効化	0:無効 1:有効
userLoginTimeout	600	HTTP自動ログアウト時間(秒)	30~30000
debMasterRebootTime	10	全アウトレットリブート時のOFF時間 (秒)	8~3600
debOlMaster	1,2	各アウトレットの連動設定	左→右 1→2アウトレット デフォルト時,連動無し
debOlPowerOnTime	1,2	各アウトレットのON時間	左→右 1→2アウトレット -1~3600
debOlPowerOnSTime	1,2	本体起動時に適用する電源出力ON 遅延時間(単位:秒)	左→右 1→2アウトレット -1~3600
debOlPowerOnTTime	0,0	スケジュールに適用する電源出力 ON遅迎時間(単位:秒)	左→右 1→2アウトレット 0~3600
debOlShutdownTime	0,0	各アウトレットのOFF時間	左→右 1→2アウトレット -1~3600
debOlRebootTime	10,10	各アウトレットのREBOOT時間	左→右 1→2アウトレット 8~3600
debOlWdogAddr		監視先IPアドレス	左→右 1→2アウトレット "," 区切りで2箇所まで
debOlWdogSendMax	10,10	Ping監視 送信回数	左→右 1→2アウトレット 1~100
debOlWdogNoResMax	10,10	Ping監視 無応答回数	左→右 1→2アウトレット 1~100
debOlWdogActCond	1,1	Ping監視 監視対象数	左→右 1→2アウトレット 1~4
debOlWdogAction	0,0	Ping監視 Action	左→右 1→2アウトレット 0:無動作 1:ログのみ 2:リブート 3:On 4:Off
debOlWdogActCount	0,0	Ping監視 Action回数 (ReadOnly)	左→右 1→2アウトレット
debOlWdogStatus	0,0	Ping監視判断(ReadOnly)	左→右 1→2アウトレット 0:未設定 1:正常 2:異常 3:回復中
debOlRebootCount	1,1	Ping監視 再Reboot回数	左→右 1→2アウトレット 1~100
debOlRebootInterval	1,1	Ping監視 再Reboot間隔(分)	左→右 1→2アウトレット 1~60
debOlActionLimit	0,0	Ping監視 異常時の1時間ごとに繰り返すリブート回数	左→右 1→2アウトレット 0:無制限
debOlRecvErrorMax	0,0	メールサーバー監視 接続障害回数	左→右 1→2アウトレット 0:機能無効
debOlWdogLastStatus	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	Ping監視 最終応答(ReadOnly)	左→右 1→2アウトレット 0:未設定 1:正常 2:異常 "," 区切りでアウトレット×4

debOlWdogDefGateway	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	Ping監視 デフォルトゲートウェイ	左→右 1→2アウトレット 0:無効 1:有効 "," 区切りでアウトレット×4
debOlNoResCount	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	Ping監視 無応答回数 (ReadOnly)	左→右 1→2アウトレット "," 区切りでアウトレット×4
debOlRespTime	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	Ping監視 IPアドレスからの応答時 間(ms)	左→右 1→2アウトレット 0:未設定 1:Ping応答の最小値 "," 区切りでアウトレット×4
debOlActionMax	12	Ping監視 異常回数	
debOlNoEchoInterval	5	Ping監視 無応答検出時間(秒)	5~60
debOlPingInterval	1	Ping監視 送信間隔(分)	1~60
pingInterval2	0,0	Ping監視 送信間隔個毎(分)	左→右 1→2アウトレット 0~60 0:未設定
debOlPowerOnTimeV	0,0,0,0,0,0,0,0	仮想アウトレット用のON遅延時間	左→右 1→8アウトレット -1~3600
debOlName	Outlet1, Outlet2,	アウトレット名	全角10文字 半角20文字以内
debOlNameV		仮想アウトレットの名称	全角10文字 半角20文字以内
debOlControlActivated	0	電源制御制限同意フラグ	0:非同意 1:同意
debOlControlSAEnabled	0	WEBからの電源操作時,ポップアップでの確認表示有無	0:あり 1:なし
debOlControlGTEnabled	0	電源制御方式	0:排他制御方式 1:ガードタイム方式
「排他制御方式」では多重ログインは 意図とは異なる思わぬ動作が生じる のみ、電源制御方式を変更してくださ	「許可,「ガードタイム方式」」 おそれがあるため,リスク い。	では許可となります。「ガードタイム方: を考慮し適切なガードタイムを設定し ⁻	式」の場合,他の操作者により,ご自身の てください。この点に同意される場合に
debOlControlOnGuardTime	10	[ガードタイム方式選択時]ON, REBOOT操作後のガードタイム	1~32767
debOlControlOffGuardTime	10	[ガードタイム方式選択時]OFF操作 後のガードタイム	1~32767
portScanInterval	1	ポート監視実行間隔(分)	1~60
portScanMyPort	19100	ポート監視送信ポート ([設定値]~[設定値+99]をインク リメントして使用)	
portScanOpenTimeOut	15	タイムアウト確認時間[OPEN RETRYのリトライアウト確認のため のディレイ(秒)]	15~60
portScanRespMode	0	応答判定モード	0: SYN+ACKのみ有効 1: SYN+ACK以外も有効
poeHubName	PoeHub1,PoeHub2, PoeHub3,PoeHub4	PoEハブ名称	"," 区切りで4箇所 全角10文字 半角20文字以内
poeHubTcpAddr		PoEハブのIPアドレス	"," 区切りで4箇所
poeHubTcpPort	23,23,23,23	PoEハブへの通信用ポート番号	"," 区切りで4箇所
poeHubScript	1,1,1,1	PoEハブへの実行スクリプト番号	"," 区切りで4箇所 1~4
poeHubLoginID	manager	PoEハブへのログイン用ID	"," 区切りで4箇所 半角16文字以内
poeHubPassword	manager	PoEハブへのログイン用パスワード	"," 区切りで4箇所 半角16文字以内
poeHubOnCmdStrings	no peth shutdown	PoEハブ 給電有効設定コマンドの 文字列	半角32文字以内
poeHubOffCmdStrings	peth shutdown	PoEハブ 給電無効設定コマンドの 文字列	半角32文字以内
poeHubStsCmdStrings	show peth-port	PoEハブ ポート設定参照コマンドの 文字列	半角32文字以内
poeDevName	PoeDev1, PoeDev2, PoeDev3, PoeDev4,	PoE給電先デバイス名称	"," 区切りで8箇所 全角10文字 半角20文字以内

	PoeDev5, PoeDev6, PoeDev7, PoeDev8		
poeDevControlEnabled	0,0,0,0,0,0,0,0	PoE給電制御の有効化	"," 区切りで8箇所 0:無効, 1:有効
poeDevConnectedHubNo	1,1,1,1,1,1,1,1,1	PoE給電先デバイスの接続先ハブ番 号	"," 区切りで8箇所 1~4
poeDevConnectedHubPort	0,0,0,0,0,0,0,0	PoE給電先デバイスの接続先ハブ上 のポート番号	"," 区切りで8箇所
poeDevAddress		PoE給電先デバイスのIPアドレス	"," 区切りで8箇所
poeDevWdogSendMax	10,10,10,10, 10,10,10,10	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 送信回数	左→右 1→8 PoE給電デバイス 1~100
poeDevWdogNoResMax	10,10,10,10, 10,10,10,10	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 無応答回数	左→右 1→8 PoE給電デバイス 1~100
poeDevWdogAction	0,0,0,0,0,0,0,0	(PoE給電先デバイス用) Ping監視 Action	左→右 1→8 PoE給電デバイス 0: 無動作,1:ログのみ,2:リブート
poeDevWdogActCount	0,0,0,0,0,0,0,0	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 Action回数 (Read Only)	左→右 1→8 PoE給電デバイス
poeDevWdogStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 監視判断(Read Only)	左→右 1→8 PoE給電デバイス 0: 未設定,1:正常,2:異常,3:回復中
poeDevRebootCount	1,1,1,1,1,1,1,1,1	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 再Reboot回数	左→右 1→8 PoE給電デバイス 1~100
poeDevRebootInterval	1,1,1,1,1,1,1,1,1	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 再Reboot間隔(分)	左→右 1→8 PoE給電デバイス 1~60
poeDevWdogLastStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 最終応答(Read Only)	左→右 1→8 PoE給電デバイス 0: 未設定,1:正常,2:異常
poeDevNoResCount	0,0,0,0,0,0,0,0	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 無応答回数(Read Only)	左→右 1→8 PoE給電デバイス
poeDevRespTime	0,0,0,0,0,0,0,0	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 IPアドレスからの応答時間(ms)	左→右 1→8 PoE給電デバイス 0: 未設定, 1:Ping応答の最小値
poeDevPingInterval2	0,0,0,0,0,0,0,0	(PoE給電先デバイス用)Ping監視 送信間隔個毎(分)	左→右 1→8 PoE給電デバイス 0~60,0: 未設定
poeScriptName		PoEスクリプト名称	","区切りで4箇所 全角10文字 半角20文字以内
poeScriptCnt	2	PoEハブ設定情報読み出しページ数	1~5
poeDevScriptMsg	33 33	(PoE給電先デバイス用)スクリプト の成功失敗ログ	左→右 1→8 PoE給電デバイス ","区切り
poeDevScriptExit	0,0,0,0,0,0,0,0	(PoE給電先デバイス用)スクリプト の成功失敗変数	左→右 1→8 PoE給電デバイス ","区切り
poeUpdateInterval	5	PoE給電設定確認間隔(分)	1~60
poeWaitCmd2Time	10	PoE給電リセットのOFF→ON間隔(秒)	1~60
poeCheckDelay	5	PoE給電設定後の状態確認ディレイ(秒)	1~30
poeForceCheckTime	15	PoE給電設定後の強制状態確認ディ レイ(秒)	5~60
poeCtrlMode	0	PoEハブ制御モード	0:パナソニックLSネットワーク製品モード 1:一般モード 3: APRESIA SNMP制御
poePingMode	0	PoEハブPing制御モード	0:NONE/不明時も監視する 1:NONE/不明時は監視しない
poePtScanAddress		ポート監視:SYNパケット送信先IP アドレス	左→右 1→8 PoE給電デバイス ","区切り
poePtScanPort	0,0,0,0,0,0,0,0	ポート監視:SYNパケット送信先ポー ト番号	左→右 1→8 PoE給電デバイス ","区切り
poePtScanAction	0,0,0,0,0,0,0,0	ポート監視:『異常』時の動作	左→右 1→8 PoE給電デバイス 0:無動作 2:Reboot
poePtScanActCount	0,0,0,0,0,0,0,0	ポート監視:『異常』時の動作実行回数 【Read Only】	左→右 1→8 PoE給電デバイス
poePtScanSendMax	10,10,10,10, 10,10,10,10	ポート監視:『異常』判断のための SYN送信回数	左→右 1→8 PoE給電デバイス 1~100

poePtScanInvalidMax	10,10,10,10, 10,10,10,10	ポート監視:SYN送信回数の中で『異 常』と判断するNG個数	左→右 1→8 PoE給電デバイス 1~100
poePtScanActCond	1,1,1,1,1,1,1,1	ポート監視:監視対象数【固定】	左→右 1→8 PoE給電デバイス 1で固定
poePtScanStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	最近のポート監視結果【Read Only】	左→右 1→8 PoE給電デバイス 0:未設定 1:正常 2:異常
poePtScanRebootCount	1,1,1,1,1,1,1,1	ポート監視:動作が「Reboot」であっ た場合の実行回数	左→右 1→8 PoE給電デバイス 1~100
poePtScanRebootIntv	1,1,1,1,1,1,1,1	ポート監視:動作が「Reboot」であっ た場合の実行間隔(分)	左→右 1→8 PoE給電デバイス 1~60
poePtScanActionLimit	1,1,1,1,1,1,1,1	ポート監視:『異常』時の1時間ごとに 繰り返すリブート回数	左→右 1→8 PoE給電デバイス 0:無制限
poePtScanLastStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	ポート監視:最近の応答結果 【Read Only】	左→右 1→8 PoE給電デバイス 0: 未実行 1: 正常 2: 期待値以外 3: 無応答
poePtScanInvalidCount	0,0,0,0,0,0,0,0	ポート監視:異常応答回数 【Read Only】	左→右 1→8 PoE給電デバイス
poeSnmpAddress		PoE 対応スイッチの IP アドレス	
poeSnmpPort	161,161,161,161	PoE 対応スイッチの SNMP 制御 用ポートアドレス	
poeSnmpCommunity	private	SNMP 制御用コミュニティー名 給電制御の権限があるコミュニティ 一名を指定	
poeSnmpControlOidS	1.3.6.1.4.1.278.108. 1.27.2.1.1.3.0	給電制御用 OID	
poeSnmpStatusOidS	1.3.6.1.4.1.278.108. 1.27.2.1.1.10.0	給電ステータス参照用 OID	
poeSnmpControlOidName	poePortAdminState	給電制御用 OID 名称	全角10文字,半角20文字以内
poeSnmpStatusOidName	poePortStatus	給電ステータス参照用 OID 名称	全角10文字,半角20文字以内
poeSnmpPSEOnValue	1	給電 ON 用設定値	
poeSnmpPSEOffValue	2	給電 OFF 用設定値	
schEnabled	0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,	スケジュールの有効化	0:無効 1:有効
schDay	0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,	スケジュール曜日(全20個)	0:毎日 1:日 2:月 3:火 4:水 5:木 6:金 7:土
schHour	0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,	スケジュール時間(全20個)	0~23
schMinute	0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,	スケジュール分(全20個)	0~59
schOutletNo	0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,	スケジュールアウトレット(全20個)	0:全アウトレット 1~2:アウトレットNo 100:全仮想アウトレット 101~108:仮想アウトレット1~8
schAction	0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,	スケジュールアクション (全20個)	0:無動作 1:リブート 2:電源ON 3:電源OFF 4:定時メール
ipAdDnsServer		DNSサーバーアドレス	
mailUserName		メール ユーザー名	半角63文字以内
mailPassword		メール パスワード	半角40文字以内
mailCommandLoginName		メール コマンドユーザー名	半角63文字以内
mailCommandPassword		メール コマンドパスワード	半角63文字以内
mailLastEvent		最新のイベント内容を保管	
mailContent	sysName, sysLocation, ipAdEntAddr, ifPhysAddress, mailExtraMsg1, mailLastEvent	通知メールの内容	最大8 パターンまで SysName/sysLocation/ipAdEntAddr IfPhysAddress/mailLastEvent mailExtraMsg1/mailExtraMsg2 mailExtraMsg3"

mailAddr		メールアドレス	
mailExtAddr		送信先メールアドレス	8個
mailExtKind	1,1,1,1,1,1,1,1	メール送信の種類	1:To 2:CC 3:BCC
	1,1,1,1,1,1,1,1	①イベント テスト	
	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	②イベント Ping	
	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	③<不使用>	
	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	④イベント スケジュール	
	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	⑤<不使用>	
mailInfoFlag	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	⑥<不使用>	0:無効 1:有効
	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	⑦<不使用>	
	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	⑧<不使用>	
	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	9<不使用>	
	0,0,0,0,0,0,0,0,0,	⑩イベント ハートビート	
	0,0,0,0,0,0,0,0	①イベントログ件数超過	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
mailCommandEnabled	0	メールコマンドの有効化	0:無効 1:有効
mailCommandAddrEnabled	1	<不使用>	<不使用>
mailRecvProtocol	1	メール受信プロトコル	1:POP3 2:IMAP
mailCheckInterval	3	メールチェック間隔(分)	1~60
mailApopEnabled	0	APOPの有効化	0:無効 1:有効
mailSmtpAuthEnabled	0	SMTP AUTHの有効化	0:無効 1:有効
mailSmtpAuthMask	7	SMTP AUTHØMask	
mailImapAuthMask	6	IMAP AUTHØMask	
mailRetryCount	3	メールリトライ回数	1~99
mailRetryInterval	10	メールリトライ間隔(秒)	1~999
mailRecvPort	110	メール受信ポート	0~65535
mailSendPort	25	メール送信ポート	0~65535
mailExtraMsg	¥r¥n	通知メール ユーザー定義文字列	最大3パターンまで 全角21文字 半角40文字以内 (¥r¥nは改行コードの意味)
promptMode	2	Telnetプロンプトモード	0:無し 1:「>」の表示 2:「機器名>」の表示
modemEnabled	0	<不使用>	<不使用>
modemTimeout	10	<不使用>	<不使用>
logMode	0111 1111 1111 1111 1111 1111 1111 0100	ログ記録モード(31ビット)	0:無効 1:有効
logDisp	0111 1111 1111 1111 1111 1111 1111 1111	ログ表示モード(31ビット)	0:無効 1:有効
mailLogCount	0	メールで送信する更新されたログの 数	0:無効 1~20:閾値
mailLogDisp	0111 1111 1111 1111 1111 1111 1111 1111	メールログ表示モード(31ビット)	0:無効 1:有効
ipAdNtpServer		NTPサーバーのIPアドレス	
ntpInterval	6	NTPサーバーへのアクセス間隔 (×10分)	
syslogEnabled	0	状態通知の有効化	0:無効 2: MPMPパケットフォーマットで送信 3: MSRPパケットフォーマットで送信
ipAdCenter		MSRP/MPMP送信先アドレス	3箇所まで 半角63文字以内
centerPort	5000,5000,5000	MSRP/MPMP送信先ポート番号	
centerSendTimer	300	監視情報送信間隔(秒)	
centerChangeSendTimer	10	状態変化時の送信間隔(×100ミリ 秒)	
-----------------------	---	----------------------------------	--
centerChangeSendCount	3	状態変化時の送信回数	
centerCmdHostID		MPMPによるコマンド制御で使用す るID	半角英数5字以内 3箇所まで コンマ区切り
centerCmdPassword		MPMPによるコマンド制御で使用す るパスワード	半角英数7字以内 3箇所まで コンマ区切り
ipAdTelnetT		TelnetからのTelnet中継先アドレ ス	
ipAdTelnetU		UTYからのTelnet中継先アドレス	
remoteTelnetPortT	23	TelnetからのTelnet中継先ポート	
remoteTelnetPortU	23	UTYからのTelnet中継先ポート	
remoteTelnetMyPort	5000	Telnet中継時の発信ポートベース 番号	
discChar		中継中の通信切断キャラクタ	
debWakeupPhysAddr	,	WoL MACアドレス	"," 区切りで2箇所まで
debWakeupMaxCount	2	マジックパケット送信回数	
debWakeupInterval	15	マジックパケット送信間隔(秒)	
debWakeupPhysAddrV	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	仮想アウトレットWoL MACアドレス	"," 区切りで8箇所まで
ipAdMailRecvServer		メール受信サーバーアドレス	
ipAdMailSendServer		メール送信サーバーアドレス	
etherSpeed	2	接続速度	0:接続していない 1:10.0Mbps 2:100.0Mbps
pingPktSize	16	Pingパケットのデータ長	16~1472
resetCause	0	リセット原因表示	
recvErrorCount	0	Ping監視 メールサーバーへのア クセスエラー回数	0:表示のみ
ledBlinkEnabled	1	PILOT, OUTLET LEDの点滅の有 効化	0:無効 1:有効
broadGroup	0	一斉電源制御の有効化	0:無効 1~8:グループ
broadPhysAddr		一斉電源制御則MACアドレス	
hbEnabled	0	ハートビートの有効化	0:無効 1:有効
hbIpAddr		ハートビートの対象IPアドレス	Olt無視
hbPort	9100	ハートビートの待ち受けポート	
hbPcPort	9100	ハートビートの送信側ポート確認	
hbInterval	8	ハートビートのパケットを受ける間 隔(秒)	1~99
hbRebootTime	30	ハートビートのリブート時間(秒)	1~999
hbTimeoutMax	3	ハートビートの動作を行うカウント	1~99
hbActionMax	3	ハートビートのリブート実行限度回数	1~99
hbAction	0,0	ハートビートのアウトレット毎の動作	0:無効 1:ON 2:ON追従 3:OFF 4:OFF追従 5:リブート
hbTimeoutCount	0	タイムアウトの累積回数 (ReadOnly)	
hbActionCount	0,0	アウトレット毎の動作を実行した回数 (ReadOnly)	
hbStat	0	ハートビート状態(ReadOnly)	0:待機中,1:パケットを受信, 2:タイムアウト発生中 3:動作停止中
hbCallingIpAddr		最後にパケットを受信したIPアドレ ス(ReadOnly)	
hbHeartbeatChar	HB	ハートビート文字列	アルファベット2文字
hbHeartbeatSource	0	HB送出元への電源供給アウトレット 番号	0:設定せず 1~2:アウトレット番号 2箇所

httpPageType	0	PC,スマートフォン等端末の種類に あわせて画面を切り替えるための設 定	
scEnabled	0	サーバー制御有効化	1: 有効, 0: 無効
httpAuthMode	2	HTTP認証モード	0:None 1:Basic認証 2:Digest認証
realmName	PoE8M2	認証領域(realm)名	半角英数字20文字以内
nonceTime	180	nonceの有効時間(秒)	30~30000
searchEnabled	1	RPCサーチソフトからの受信設定	0:無効 1:有効
versionupEnabled	3	オンラインアップデートの有効化	0:無効 1:ローカル更新のみ 2:オンライン更新のみ 3:有効
revision	01	ファームウェアバージョンアップ機能 コード	

*1 文字列 Meikyo Remote PoE and Power Controller, PoE8M2 Ver. 4.30A(または4.20A)

*2 文字列 Meikyo 100BASE-TX Driver

■ログ一覧表

表示内容(WEB画面)	情報(WEB画面)	TelnetなどのLOG
ログ開始		Log Start
Ping送信	アウトレット no. Ipaddr no.	〔アウトレット番号〕〔監視先番号〕ping
Ping無応答	アウトレット no. Ipaddr no.	〔アウトレット番号〕 〔監視先番号〕 No Echo
死活判定(無動作)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 No Action by 〔判 定内容〕
死活判定(REBOOT)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Reboot by 〔判定内容〕
死活判定(アウトレットON)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet On by 〔判定 内容〕
死活判定(アウトレットOFF)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Off by 〔判定 内容〕
正常/回復中	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Recovered
スケジュール(REBOOT)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Reboot by Schedule
スケジュール(アウトレット ON)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet On by Schedule
スケジュール(OFF)	アウトレットno.	〔アウトレット番号〕 Outlet Off by Schedule
電源操作(ON)	アウトレットALL(ID)	MPON (ID)
電源操作(OFF)	アウトレットALL ID (ID)	MPOF (ID)
電源操作(REBOOT)	アウトレットALL ID (ID)	MPOR (ID)
電源操作(ON)	アウトレットno.ID (ID)	〔アウトレット番号〕 PON 〔ID〕
電源操作(OFF)	アウトレットno.ID (ID)	〔アウトレット番号〕 POF〔ID〕
電源操作(REBOOT)	アウトレットno.ID (ID)	〔アウトレット番号〕POR〔ID〕
電源操作(ON)	アウトレットno.ID (ID)	MPONV (ID)
電源操作(ON)	アウトレットno.ID (ID)	〔仮想アウトレット番号〕 POR〔ID〕
メールログイン要求	〔通知先アドレス番号〕	>Mail
●「メールログイン要求 0」と 送信があったことを意味しま ことになります。)	長示されている場合, [通知先アドレ ∶す。 (「メールログイン要求」の場((ス]に登録されていないメールアドレスから 合、メール制御コマンドは実行されなかった
メールログイン	〔通知先アドレス番号〕	==>Mail 〔通知先アドレス番号〕
メールログアウト	〔通知先アドレス番号〕	<==Mail 〔通知先アドレス番号〕
Telnet接続	IPaddr	>Telnet IPaddr
Telnet切断	IPaddr	<telnet ipaddr<="" td=""></telnet>
Telnetログイン	IPaddr	==>Telnet IPaddr (ID)
Telnetログアウト	IPaddr	<==Telnet IPaddr (ID)
TELNET多重超接続	IPaddr	>>x Telnet IPaddr
Webアクセス	IPaddr	>Web
Webログイン	IPaddr	==>Web IPaddr (ID)
Webログアウト	IPaddr	<==Web
設定変更	[変数名] 〔ID〕	variable set (〔変数名〕)
設定書込(WRITE)	(ID)	write to FROM
ハートビート監視(無動作)	アウトレットno.	No Action by HeartBeat

いートビート防想(DEPOOT)	マウト Laulanc	〔アウトレット番号〕 Outlet Reboot by			
ハートヒート監祝(REDUUI)	די עיזיע דווט.	HeartBeat			
ハートビート監想(ONI)	701 Jackson	〔アウトレット番号〕 Outlet On by			
バードビード 血院(UN)) 9 10 9 10.	HeartBeat			
ハートビート影相(のFF)	7th laubro	〔アウトレット番号〕 Outlet Off by			
ハートCート 血疣 (OFF)	י אין עיזיע אווט.	HeartBeat			
NTPサーバー接続	hour minute second	NTP hh:mm:ss			
NTPサーバー接続エラー		NTP Server Access Error			
メールエラー		Mail Error			
PoE操作(給電ON)	受電デバイス番号	POEON			
PoE操作(給電OFF)	受電デバイス番号	POEOF			
PoE操作(給電RESET)	受電デバイス番号	POEOR			
POEコマンド失敗	受電デバイス番号	PoE Command Failed, $code = n$			
PoE状態確認	9	POEOU			
PoE設定情報取得	PoEハブ番号	POESHUB			
PoE設定情報取得	受電デバイス番号	POESDEV			
Ping送信	受電デバイス番号	PoE ping			
Ping無応答	受電デバイス番号	PoE No Echo			
死活判定(No Action)	受電デバイス番号	PoE No Action by Ping			
死活判定(REBOOT)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Reset by Ping			
死活判定(給電ON)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Enabled by			
		Ping			
死活判定(給電OFF)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Disabled by			
		Ping			
正常/回復	受電デバイス番号	PoE Device Recovered			
スケジュール(No Action)	受電デバイス番号	PoE No Action by Schedule			
スケジュール(REBOOT)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Reset by			
		Schedule			
スケジュール(給電ON)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Enabled by			
· · · · · · · ·		Schedule			
スケジュール(給電OFF)	受電デバイス番号	PoE Power Supply Disabled by			
		Schedule			
スケシュール(定時メール)	(なし)	Mail by Schedule			
	文明ゴミンコムロ	※通常のアウトレットと同し			
人クリノト美行成切	文電ナハ1人番号 (1.0.0)は使知取組)	POE Script Done, nub=[POEハノ奋			
ったいプレロなた中国	(1-8,9は)(1-8,9)				
スクリノト夫仃大敗	文電ナハ1 人 金 5 (1 9 0)+ (まれ取得)	POE SCIPT Falled, Code=[コート], hub-[DoFハブ釆号]			
马马 入1000/11/11/11/11					
コマント夫仃大敗	反電ナハイ人会亏				
(ポート)を相)SVNI洋信	必需デバイス 米早	PoF Port Scan Send SVN			
	今電デバイス 悉早	PoF Port Scan No Response			
	今電デバイス 悉早	PoF Port Scan Other Response			
	<u> 冬電//・・//田ワ</u> 受雷デバイフ釆早	PoF No Action by Port Scon			
(4) 「 油院// 共市調/「F'&し 又电フハイ A 笛方 POE INO ACUOID by POF		DoF Dowor Supply Poset by Dort			
(4) IIml沈/『共市』NEDUUL	×电//11/借り	Scan			
(ポート監視)回復	受雷デバイス悉号	PoE Device Recovered			
	入宅ノノリハ田ワ				

サーバー接続開始	サーバー接続開始 IPaddr	SC Start IPaddr
サーバー接続終了	サーバー接続終了 IPaddr	SC Stop IPaddr
サーバー接続異常	サーバー接続異常	SC Connection Failure
サーバー接続再開	サーバー接続再開	SC Reconnect

・〔〕で括った内容は、実際の数字や文字等が入ります。

・〔ID〕は操作を行ったユーザーのIDを示します。

・コマンド実行者とログ閲覧者が同じユーザーの場合は,コマンドによってはIDが表示されない場合があります。

■制御コマンドー覧表

「Telnet」欄の「A」:Admin権限 「S」:Supervisor権限

「メール」:メール制御

「ダイレクト」:ダイレクトWEBコマンド A:Admin S:Supervisor C:Control I:Ident

制御コマンド	内容			メール	WEB
MPON	全アウトレットの電源出力開始			\bigcirc	AC
MPOF	全アウトレットの電源出力停止			\bigcirc	AC
MPOR	全アウトレットのリブート(電源リブート)			\bigcirc	AC
PONn	指定されたアウトレットの電源出力開始 n=1~2		А	\bigcirc	AC
POFn	指定されたアウトレット	の電源出力停止 n=1~2	А	\bigcirc	AC
PORn	指定されたアウトレット	のリブート(電源リブート)n=1~2	А	\bigcirc	AC
PSRn	指定されたアウトレット	の電源状態反転 n=1~2	А	\bigcirc	AC
MPONV	全仮想アウトレットにマ	マジックパケットを送信します。	AS	\bigcirc	AC
PONVx	debWakeupInterva (x=1~8, xは仮想ア	al後にマジックパケットを送信します。 ウトレット番号)	AS	0	AC
BPONx	一斉電源制御:該当グ (x=1~8,xはグルー	ループ全アウトレットの電源出力開始 プ番号)	А	×	×
BPOFx	ー斉電源制御:該当グループ全アウトレットの電源出力停止 (x=1~8,xはグループ番号)			×	×
BPORx	一斉電源制御:該当グループ全アウトレットのリブート(電源リブート) (x=1~8,xはグループ番号)			×	×
OLSn	死活監視状態の表示 n=1~2 nを省略すると全てのアウトレットを表示します。 コンマ区切りで表示。 Outlet No. アウトレット番号[1~2] Power 電源状態[0:Off 1: On] Judge 判定[1:正常 2:異常 3:回復中] Action Count Action実行回数 Last Ping1 アドレス1の最後の応答[1:正常 2:異常] NoEchoCount1 アドレス1の未応答回数 NoEchoTime1 アドレス2の最後の応答[1:正常 2:異常] NoEchoCount2 アドレス2の未応答回数 NoEchoTime2 アドレス2の応答時間(ms) [0:未設定 1:応答時間 9999:未応答]		AS	0	ASCI
VER	バージョンの表示		AS	0	ASCI
POS	全アウトレットの電源状態取得 応答:mm 左側からアウトレット1~2 m=0:OFF 1:ON		AS	0	ASCI

XPOS	全アウトレットの電源状態詳細の取得 応答:ABXXXX, ABXXXX 左側からアウトレット1~2 A=0:OFF 1:ON B=0:OFF遅延中 1:ON遅延中 XXXX=Bのタイマー残り時間			ASCI
ID	ユーザーIDの変更 1:Normal Admin権限でのID名を変更します。 2:Supervisor Supervisor権限でのID名を変更します。			×
PASS	パスワードの変更 新しいパスワードを2回入力します。 ※入力を失敗すると変更されません。 1:Normal Admin権限のパスワードを変更します。 2:Supervisor Supervisor権限のパスワードを変更します。	AS	×	×
DATE	年月日設定 例)DATE yy/mm/dd yy:年 mm:月 dd:日	AS	0	×
TELNET	変数「ipAdTelnetT」のアドレス、変数「remoteTelnetPortT」のポートに Telnetクライアントとして接続します。【中継を停止するには、通常と同じくexit やqで切断できます。】一度に受信するデータは、概ね40Kバイト以下でご利用 ください。	AS	×	×
TIME	現在時刻設定(秋は省略可) 例)TIME hh:mm:ss hh:時 mm:分 ss:秒	AS	0	×
PING	ICMPを4回送信します。 例)PING [IPアドレス]			×
IPCONFIG	LANの通信設定を表示します。(例) IpAddress 192.168.10.1 SubnetMask 255.255.255.0 DefaultGateway 192.168.10.254 EhternetSpeed 100.0Mbps			×
CPURESET	CPUをリセットします。 コマンドを実行しても電源状態は変化しません。			×
PROMPT=n	0(プロンプト表示無し) 1(「 > 」のプロンプト表示) 2(「 機器名 > 」のプロンプト表示) *変数「promptMode」により接続直後のモードが決まります。			×
POEOS	受電デバイスのステータスを表示する。 戻り値:mmmmmmm 左側から受電デバイス1→8 m=0:OFF 1:ON			ASCI
POEOU	給電状態の確認を実施し,取得する。 ※制御モードを「一般」にしているときは実行できません。		0	ASCI
POESHUBn	指定したPoEハブの設定情報を取得する。		×	×
POESDEVn	指定した受電デバイスの設定情報を取得する。	AS	×	×
POESDISP	取得した設定情報を表示する。 ・実行状況「有効な情報がない」,「実行中」or「情報取得中」, 「取得済」 ・「取得済」のとき,実行結果「Sts」 PoEハブの構成 (どのポートにどの受電デバイスが紐付けされているか) ・「取得済」「Sts=0」のとき,経過時間 or 実行時刻(時刻設定後のみ) 設定情報			×

POEONn	受電デバイスへの給電開始	А	\bigcirc	AC
POEOFn	受電デバイスへの給電停止	А	0	AC
POEORn	受電デバイスのリブート	А	0	AC
EXIT	回線切断 最初の文字がE, e, Q, qの場合はEXITと認識します。	AS	0	×

■仕様一覧表

	LAN通信仕様		ARP, TCP/IP, UDP/IP, ICMP, POP3, IMAP		
通信仕様			BOOTP, DHCP, Telnet, SMTP, APOP		
			NTP, HTTP, SNMP		
			SNMPマネージャー		
	T.A	N制御方法	Telnet		
			Web		
			E-mail		
			電源ON		
			電源OFF		
	電源	��制御/管理	電源リブート		
			電源状態取得		
			グループ制御		
			給電ON		
	Pol	E給電ポート	給電OFF		
	制御	1/管理			
機能			状態取得		
			週間スケジュール機能(20個)		
	スク	「ジュール機能	NTPによる時刻同期機能		
			スケジュールON/OFF機能		
			ICMP送信		
			通報機能:SNMPトラップ、UDPパケット		
	状態	影監視	Mail通知		
			ハートビート		
	WoL対応機能		あり:マジックパケット送信		
			10Base-T/100Base-TX 1 (B.145)		
	インターフェース		(IEEE802.3に準拠)		
		最大制御出力	AC100V 10.5A (1050W)		
	定	最大消費電力	5.0 W		
	格	入力電源電圧	$AC100V \pm 10\% (50/60Hz)$		
ハード仕様			温度 0~40℃		
	使用	月環境	温度 20~85%(ただ) 結惑かきこと)		
	从形士注				
	(期ブム降く)		160(W) x40(H) x160(D) mm		
	(別)コム(小)		<u>約1.2kg</u>		
	単 ³ 	■ 2雷気田品認証具(領	^ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		
况 恰	衍正电、用品認祉品(电、用品女主法),KOHSZ指令年拠				

明京電機株式会社

〒114-0012 東京都北区田端新町1-1-14 東京フェライトビル4F TEL 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546

ホームページアドレス <u>https://www.meikyo.co.jp</u>



- (1)本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
- (2)本書および製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れ などお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4)本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社および 弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、 責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には,責任を負いかねますのでご了承く ださい。

 PoE BOOT nino
 PoE8M2

 取扱説明書
 2025年 3月 第4.3a版

 版権所有
 明京電機株式会社

※ PoE BOOT nino関連 特許第 6945416 号(令和3年9月16日登録)「電源制御装置、制御方法、制御プログラム、および制御システム」